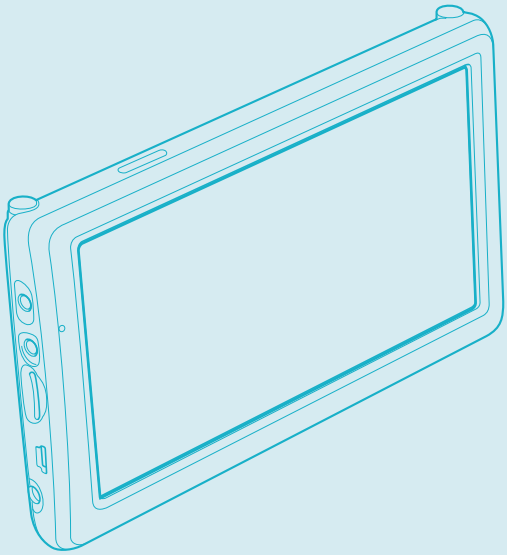
if brand

トライウインスマート
TrywinSmart

DTN-6700

取扱説明書



この取扱説明書は WEB版です。
製品付属の取扱説明書はモノクロで作成されています。

地上 DIGITAL 1seg フルセグ

商標と著作権

①本書の内容の一部または全部を無断で転載する事を禁じます。
②本書の内容および含まれている情報は、予告なく変更される事があります。
③本書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
④本書内で指示されている内容には、必ず従ってください。本書に記載されている内容を無視した行為や誤った操作によって生じた障害および損害については、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。

Microsoft、Windows MediaおよびWindowsのロゴは米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。
「るるぶ」および「るるぶDATA」は、株式会社ジェイティービーの登録商標または商標です。
マップコード、MAPCODEは株式会社デンソーの登録商標です。
microSD、microSDHCは、SD-3C, LLCの商標です。
本書に記載の社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。

※本書内の画面表示は開発中のものです。したがって、実際の画面表示とは異なることがあります。

目　次

免責事項について

〈使用許諾契約書〉 iv

安全上のご注意

絵表示について v
安全上のご注意［本体］ vi
タッチスクリーンについて xi
内蔵GPSアンテナについて xi
取り付けキットについて xii
microSDカードについて xii
miniB-CASカードについて xiii
アンテナについて xiii
テレビの受信状態について xiii
ご使用の前に xiv
タッチスクリーン保護シートについて xiv
電源が入らない場合は xiv

1. はじめに

ナビゲーションの特徴 1
操作説明について 2
その他の特徴 2
別売品 2
パッケージ内容の確認 3
取付キットの使い方 4
吸盤付きステーの取り外し方 6
電源を入れるには 7
車内での使用 7
充電の仕方 8
基本の操作 9
電源の入れ方・切り方 9
タッチスクリーンの操作方法 10
各部の名称 11
各部の動作 12
表示について 14
メインメニュー（検索1メニュー）について 14

2. ナビゲーションの基本操作

ナビゲーションの起動 17
前回、ルート案内中に電源を切った時の地図画面 18
GPS衛星の測位について 18
現在地画面 20
地図スクロール画面 21
地図のスケールを変える 22
地図画面の表示について 23
地図表示の向きについて 23
3D表示について 23
地図画面の配色について 24
登録地・自宅のアイコンについて 24
地図記号一覧 25
地図・メニュー画面の基本操作 26
［メニュー］ 26
［地点］ 27
ビューモードの切替 27
［自宅］ 27
［現在地］ 27
［+］［−］ 28
［マルチメディア］ 28
各設定画面の基本操作 28
文字の入力 28
リスト表示の画面操作 29
タブ表示の画面操作 29
チェックボックス表示の画面操作 30
［現在地］ 30
［もどる］ 30

3. 場所（行き先）を探す

地図画面で探す 31
名称で探す 32
住所で探す 33
電話番号で探す 35
周辺の施設を探す 36
ジャンルで探す 37
るるぶDATAで探す 38
目的から選ぶ 39
場所から選ぶ 40
現在地周辺を探す 42
登録した場所（登録地・自宅）から探す 43
検索履歴から探す 45
マップコードで探す 46
探した場所の地図を見る 47

目次

4. ルート探索

ルートを探索する 48
　自宅までのルートを探索する 49
　登録ルートを使って探索する 49
　探索条件を変更して再探索する 50
　検索結果に立寄地を追加する 51
　検索結果に追加した立寄地を
　変更・削除する 52
　デモ走行する 52
ルートを変更する 53
ルート誘導を開始する 53
ルート誘導中の案内について 54
　交差点近くでは 56
　方面表示モード 56
　ハイウェイモード 57
　音声による誘導 59
オートリルートについて 59
　立寄地が設定されている場合 59
条件を変えてルートを探索する 60
　ルートを再探索する 60
ルートを確認する 61
ルートを登録する 61
ルートを消去する 62

5. 立寄地／登録地／現在地修正

立寄地を設定する 63
　立寄地を追加する 63
　立寄地を削除する 63
　立寄地を並べ替える 64
地図を使って立寄地を設定する 65
地点を登録する（登録地・自宅） 65
地図を使って自宅を登録する 67
登録地を編集する 68
登録地を消去する 69
　登録地を選んで消去する 69
　登録地をすべて消去する 69
登録ルートを編集する 70
登録ルートを消去する 71
　登録ルートを選んで消去する 71
　登録ルートをすべて消去する 71
検索履歴を消去する 72
　検索履歴を選んで消去する 72
　検索履歴をすべて消去する 72
現在地を修正する 73
登録地を本体からmicroSDカードへ
コピーする 74
登録地をmicroSDカードから本体へ
コピーする 75
登録ルートを本体からmicroSDカードへ
コピーする 76
登録ルートをmicroSDカードから本体へ
コピーする 77
microSDカードを使ったデータの移動に
ついて 78
　登録地 78
　登録ルート 78

6. ナビ設定

ナビ設定について 79
ルート探索条件の設定を変更する 79
地図の設定を変更する 80
地図のアイコン表示を変更する 81
走行軌跡設定を変更する 81
走行軌跡を消去する 82
現在地を修正する 82
オービス設定を変更する 83
GPSの測位状態を確認する 84
ソフトウェアのバージョンを確認する 85
設定をご購入時の状態に戻す 85
デモモードでルート誘導の表示方法を
確認する 86
設定を出荷状態に戻す 87

7. ナビゲーションについて

ナビゲーションのしくみ 88
　GPSによる測位について 88
　マップマッチングについて 88
　誤差について 88
収録されている地図情報について 90
　検索のデータについて 90
　アイコン表示について 90
　ルートに関する注意事項 90
　地図データについて 91
　交通規制データについて 94

9. テレビを視聴する

緊急警報放送について 95
　緊急警報放送とは 95
　緊急警報放送受信時の動作 95
視聴するための準備 96
　テレビ操作メニューについて 97

初めてテレビを視聴する..... 100
テレビを視聴する 102
テレビの終了方法 102
音量を設定する..... 102
テレビ放送を見るには..... 103
　テレビ視聴について..... 103
　受信できなくなったときに自動で
　中継局を探す..... 103
　マルチ編成の番組を切り替える 104
　チャンネルリストを使ってチャンネルを
　切り替える..... 104
　番組表を表示する 105
　テレビ操作メニューを切り替える 105
　受信モードを切り替える 106
　字幕の表示／非表示を切り替える 106
　音声を切り替える 107
テレビの応用操作 107
　本機の設定を行う 107
　移動先を設定する 108
　再スキャンを行う 108
　初期スキャンを行う..... 109
　字幕の表示／非表示、言語設定をする.... 109
　中継局サーチの設定をする..... 110
　テレビのバージョンを表示する 110
　miniB-CASカードの情報を表示する..... 111
　テレビの設定内容を初期化する 111
miniB-CASカードの取り付け..... 112
　miniB-CASカード取扱上のご注意..... 112
　miniB-CASカードの取り付けについて .. 112

8. データ再生と設定

データの再生と本機の設定 114
microSDカードの取り扱い..... 115
　microSDカードの取り付け 115
　microSDカードの取り外し 116
再生するデータのダウンロードについて.... 117
音楽を聴く 118
再生する音楽を選ぶ..... 119
曲の再生・停止..... 120
音楽再生時に音量を調整する 120
曲の早送り・早戻し・選曲 120
色々な再生方法..... 121
　再生方法の変更 121
曲の削除 121
音楽の終了 121
お料理を表示する 122
レシピを表示する 123
レシピを探す 124
お気に入りのレシピを見る 124
最近みたレシピを見る..... 125
設定を変更する..... 126
画面の明るさを変更する..... 127
音量を変更する..... 127
タッチパネル補正 128
本機のシステムをアップデートする.....129
本機のシステムを初期化する 130
ユーザーモードを設定する 131
本機のシステム情報を確認する..... 132

9. その他

本機の電源を強制的に切る 133
こんなメッセージが表示されたときは..... 134
故障かなと思ったら 135
サポートセンターへのお問い合わせ方法.... 137
　サポートに必要な情報..... 137
　お問い合わせ先：
　トライウインサポートセンター 137
　無償修理規定..... 137
使用許諾契約書..... 138
仕様 140
　収録地図ソフトの情報..... 140
　動作時間 141
　充電時間 141

免責事項について

- 台風、地震、水害、落雷、火山等の自然災害および火災、塩害、火山性ガス、暴動や騒乱その他第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機は電子機器のため、本機から微弱ながら電磁波ノイズが発生することがあります。この微弱な電磁波ノイズが車両または車両に搭載されている機器に影響を与えないように十分にご検討いただき、本機の取付を行ってください。
  なお、本機のご使用にあたり、車両および搭載機器への影響による直接的および間接的な損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
  また、車両に搭載される電子機器から発生する微弱な電磁波により、GPS信号を受信できないなど本機の機能が阻害される可能性もありますのでご注意ください。
- 当社は、本製品の故障または、使用によりお客様または第三者に生じた特別損害、付随的損害、間接損害、派生的損害またはその他の一切の損害（逸失利益、機密情報もしくはその他の情報の喪失、事業の中断、プライバシーの喪失、誠実または合理的な注意義務を含めた義務の不履行、人身傷害またはその他の金銭的損失を含みますがこれらに限定されず）に関しては一切責任を負いません。
- 本商品の取り扱いについて、記載されている取付方法や使用上の注意事項などから逸脱して使用された場合においては一切の責任を負いかねます。
  正しい取り扱い方法については本取扱説明書を必ずお読みください。
  - 本機の落下による故障や破損および車内部品や家財の故障や破損。
  - 本機の取付や取り外しにおいて本機やダッシュボード、車内の内装部、その他の箇所に変形や破損。
- お客様または第三者が本機の誤使用や、静電気・電磁波・電気的なノイズの影響を受けたとき、本機内や付随する記憶装置の基本プログラム、地図データ、その他お客様が保存されたデータなどが全部または一部消失・変化した場合、または故障・修理のときなどに、本機内や付随する記憶装置に登録されていた情報（登録地点など）やデータが全部または一部変化・消失した場合、その内容の補償や復元はできません。
- 業務用車両（トラック・バス・タクシー・商用車・社用車など）への本機の搭載や本機を業務上使用（配送業のためのバイクや自転車への取付など）した場合や本機を目的外に使用された場合、添付の保証書（クイックガイド内に記載）は、保証の適用対象になりません。
- 本機を廃棄される場合または貸与、転売、譲渡される場合、本機や本機に付随する記憶装置にある自宅や登録地点の個人名、住所や電話番号など個人情報の取り扱いについては、必ずお客様の責任において管理や消去してください。また個人情報が流失した場合におきましても、弊社は一切その責任を負いかねます。

〈使用許諾契約書〉

本使用許諾契約書は、トライウインスマートDTN-6700の使用をお買い上げいただいたお客様との間に締結される法的な契約書です。
本製品を使用する事によって、お客様は本契約書の条項に拘束される事に同意されたものとします。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保証書と共に大切に保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 **この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

⚠注意 **この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害発生が想定される内容を示しています。**

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

安全上のご注意 [本体]

⚠警 告　電源について

- 付属のシガー電源アダプターは、必ずDC 12 V車で使用してください。他の電源で使用すると火災や故障の原因になります。
  本機はDC 12 V車以外には使用できません。

⚠警 告　設置について

- 運転に支障をきたす場所には、絶対に取り付けないでください。運転に支障をきたす場所（ハンドル、シフトレバー、ブレーキペダル付近など）への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。
- エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けないでください。エアバックの動作を妨げる場所への取り付けは、緊急時のエアバックの不動作やエアバックが膨らむ際に本機が外れて交通事故やけがの原因になります。
- 前方・後方の視界やバックミラーを妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所へは取り付けないでください。交通事故やけがの原因になります。
- しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。

⚠警 告　走行中について

- 実際の交通規制に従って走行してください。交通事故やけがなどの原因になります。ルート誘導中でも、必ず道路標識など実際の交通規制に従って運転してください。時間の経過により、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。
  ナビゲーションの画面に表示される情報や建物や道路などの形状は実際と異なる場合があります。
- 運転中や歩行中は画面を見たり、ナビゲーションの操作をしないでください。交通事故やけがの原因となります。運転中は安全な場所に停車し、歩行中は安全な場所に立ち止まってから画面を見てください。

⚠警 告　異常があった場合

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターを抜いてください。煙が出なくなるのを確認してサポートセンターに修理をご依頼ください。
- 万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠警 告　使用について

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

- 雷が鳴り出したら、シガー電源アダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターには触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水濡れ禁止

- 濡れた手でシガー電源アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

濡れ手接触禁止

- シガー電源アダプターをタコ足配線はしないでください。火災や加熱によるやけどの原因となります。

- この機器のキャビネットは絶対外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・設備・修理はサポートセンターにご依頼ください。
- この機器および付属のシガー電源アダプターは、改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- 付属のシガー電源アダプターを他の機器の電源として使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 付属のシガー電源アダプターの電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱しないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

分解禁止

- 指定以外のシガー電源アダプターを使用すると、火災や感電、故障、内蔵電池の発熱・発火・破裂の原因になります。必ず本機指定のものを使用してください。
- シガー電源アダプターのヒューズが切れた場合は、トライウインサポートセンターに修理をご依頼ください。

- 真夏の締め切った車内の様に、非常に高温になる状態で放置しないでください。本体や性能に著しい障害が発生する可能性があります。
  このような場合には本体を取り外して車外に持ち出すか、あまり高温にならない日陰に置くようにしてください。

⚠警 告　破損した場合について

- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、シガー電源アダプターの電源コードが傷ついた場合は、機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠警 告　水・異物が入った場合について

- この機器の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

⚠注 意　電源について

- 付属のシガー電源アダプターは、車のシガープラグに直接接続してください。シガープラグを分岐させたアダプターには、接続しないでください。火災や故障の原因になることがあります。

- シガーライターソケットから充電を行っている場合は、長時間エンジンを停止しないでください。車のバッテリーが上がる恐れがあります。
- 本機をご使用にならないときは、シガー電源アダプターはシガーライターソケットから抜いてください。
  一部車種では、エンジンを切ってもシガーライターソケットの電源が切れない場合があります。また、ACCにした場合エンジンを切っても電源が切れない場合があります。
  その場合、本機の電源も切れず車のバッテリーを消耗し、バッテリーが上がる恐れがあります。
  電源OFF状態でシガー電源アダプター接続時におきましても充電供給されるため、車のバッテリーが上がる恐れがあります。ご使用にならない時は、必ずシガーライターソケットからシガー電源アダプターを抜いてください。

⚠注 意　設置について

- 本機は、道路交通法および関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくダッシュボードにお取り付けください。

⚠注 意　設置について

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 水のかかる場所やほこり、湿気の多い場所および風雨にさらされるような場所には設置しないでください。感電や故障の原因となる事があります。

- 付属のシガー電源アダプターを熱器具に近づけないでください。
  コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは定期的にほこりや汚れを取り除いてください。
  また、シガーソケットは奥まで確実に差し込んでください。感電や発熱による火災の原因になることがあります。
- シガー電源アダプターを取り外す際、ケーブルを引っ張らないでください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
- 禁煙車でシガープラグが装備されていない車の場合には、付属のシガー電源アダプターを使用する事が出来ませんので、お車のご購入先に相談ください。

- 車に取り付ける際には、必ず付属の取り付けキットを使って、指示通りに取り付けを行ってください。本機が正しく取り付けられていなかったり、他の器具にて本機が取り付けられていると、本機が落下して故障やけがの原因となることがあります。
- ETCのアンテナ部分や他の機器のアンテナやセンサー部分を隠すような取り付け方はしないでください。それらの機器が正常に働かない場合があります。
- 車に取り付けられている電装品などの影響で本機が正しく動作しない事がまれにあります。
  その場合は、本体の位置を変えるなどで最適な場所を選んで取り付けてください。

⚠注 意　使用について

- 病院や航空機内では電源を切ってください。電子機器や医用電気機器が誤作動するなどの影響を与える場合があります。
  また、電車内など混雑した場所では電源を切ってください。付近に心臓ペースメーカーを装着した方がいると影響を与える場合があります。
- 低温時には映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きが遅い、画質が悪くなることがあります。
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面が曇ったり、露で正しく動作しないことがあります。1時間位、その温度で放置してからご使用ください。

- シガー電源アダプターを取り付けた状態で、エンジンのセルスターターを動作させた場合、保証電圧範囲を超えた電圧変動が起きる可能性があります。そのためシガー電源アダプターや本体の故障の原因となることも予測されます。エンジンを始動させる際にはシガー電源アダプターをソケットから取り外してから行うようにしてください。

⚠注 意　音量について

- 運転中の音量は、周囲の音が聞こえる程度の音量にしてください。音量が大きくなり過ぎると、交通事故の原因となることがあります。
- 運転中は、イヤフォンでのご使用はおやめください。運転の妨げとなり、違法となる場合があります。
- 本機の電源を入れたら、まず音量を最適なレベルに調節してください。
  突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- イヤフォンやスピーカーなどを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 大音量で長時間音楽を聴き続けると、聴力に支障をきたす場合がありますのでご注意ください。万一、耳鳴がする場合にはご使用を中断してください。

⚠注 意　各部位や付属品について

- タッチスクリーンは市販のスタイラスペンまたは指先を使って操作してください。
  ボールペン・シャープペンシルのペン先、その他先の尖ったものなどでタッチスクリーンに触れると、誤動作やタッチスクリーンの故障の原因となることがあります。
- タッチスクリーン部に強い力を加えたり、鋭利なもので押さないでください。タッチスクリーン部が破損する原因となります。
- 変形したり、傷ついたmicroSDカードやminiB-CASカードを本機に入れないでください。本機の故障や誤動作の原因となることがあります。
- microSDカードやminiB-CASカードには、シールやテープなどを貼りつけないでください。本機に正しく入れられなかったり、取り出せなくなることがあります。
- 万一、microSDカードやminiB-CASカードが取り出せなくなったときは、無理に取り出そうとせずに、サポートセンターにお問い合わせください。無理に取り出そうとすると本機の故障の原因となることがあります。
- テレビアンテナを目や顔に近づけたり、人に向けないでください。アンテナの先端に接触して、事故やけがの原因になる事があります。
  アンテナを伸ばして使用するときは、周囲に十分に注意してください。
- シガーライターソケットやソケット周りの形状によっては、付属のシガー電源アダプターが入らない事があります。

⚠注 意　お子様の安全ついて

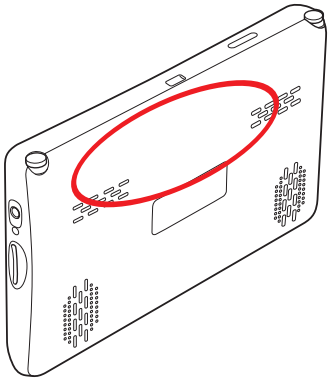
- お子様だけでの操作は行わないでください。特に、走行中の操作は危険ですので行わないでください。
- 取り外したmicroSDカード、miniB-CASカードやスタイラスペン等、お子様が誤って飲み込まないように注意してください。誤って飲み込んでしまった場合は、すぐに医療機関にご相談ください。
- 本機を保存するときは、お子様の手の届かない所に保存してください。
- 本機や付属品の入っていた袋は、お子様の手の届かないところで保管してください。
  袋を誤って口に入れたり、かぶったりしますと窒息する原因となることがあります。

タッチスクリーンについて

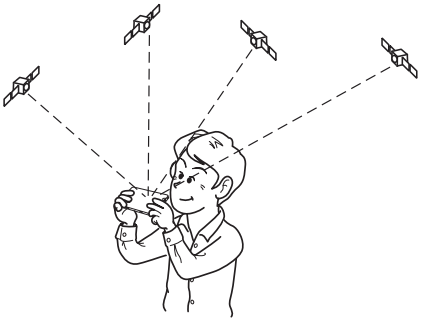
- タッチスクリーンやタッチスクリーン外周を強く押さないでください。タッチスクリーンに強い圧力をかけると、液晶の劣化や液晶の故障の原因となります。お手入れの際にもお気をつけください。タッチスクリーンは液晶を使用しています。この液晶は高い品質管理の元に製造されておりますが、液晶のドット抜けおよび液晶の色むらが出ることがあります。これは液晶を使用したタッチスクリーンの特性によるもので本機の故障ではありません。また、液晶のドット抜けにより赤（または緑、青）色の点が表示されることがありますが、これも液晶パネルの特性によるもので本機の故障ではありません。
- 極端に温度の低い場所や高い場所に、本機を放置しますと液晶の劣化や液晶の故障の原因となります。
- タッチスクリーンを硬いものや先の尖ったもので押さないでください。タッチスクリーンが傷つくおそれがあります。
- タッチスクリーンを固い布や強い力で拭かないでください。液晶の劣化や液晶パネルを傷つける原因となります。
- タッチスクリーンのお手入れは、次のように行ってください。
  - 水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませてください。
  - 布をよく絞ってください。
  - 絞った布で、タッチスクリーンを強く押さないように、軽く拭いてください。
- パネルが破損した場合は、パネル内部には絶対に触れないでください。
- ご使用になる前には、タッチスクリーンの保護シートをはがしてください。また、市販の保護シートは貼らないでください。
  保護シートが貼られていると、タッチスクリーンが正しく動作しない場合があります。

内蔵GPSアンテナについて

- 本機の上部にGPSアンテナが内蔵されています。従って、この部分を何かで覆われていたり、この上に遮蔽物があったりすると、本機の性能を十分に発揮することができません。



- 初めてお使いになるとき、または長期間お使いになっていないときは、見晴らしの良い場所で内蔵GPSアンテナが上になるようにして、GPS衛星から信号を受けて、測位しやすくしてください。詳しくは本取扱説明書の（→P18）「GPS衛星の測位について」を参照してください。



取り付けキットについて

- 取り付けキットは、運転に支障をきたさない位置、またエアバックなどの安全装置の働きを妨げない位置にお取り付けください。また、お取り付けの際には、取り付けようとする場所の強度が十分にあるかをご確認ください。
- 取り付けキットは、その一部だけを使う、または他の器具と組み合わせて使うなどのご使用はおやめください。本機の落下する原因となることがあります。
- 取り付けキットを自動車以外には使用しないでください。
- 吸盤ベースはテープにより固定されます。したがって、一度吸盤ベースを貼り付けると取り外しが困難になりますので、貼り付ける位置は慎重に選んでください。
- 吸盤はフロントガラスのような平らな場所には強力につきますが、道路交通法によりフロントガラスへの取り付けは禁止されていますので、フロントガラスには取り付けないでください。
- 取り付けキットは、しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。

microSDカードについて

- 本機は、音楽をmicroSDカードに入れて使用できます。
- 本機の電源が入っているときに、microSDカードを抜き差ししないでください。本機の故障や誤動作の原因となることがあります。また、microSDカード内のデータを破損や損失する恐れがあります。
- 本機で再生できるファイルを記憶するフォルダの制限はありません。
- ごくまれに、正常にお使いになっていてもmicroSDカード内のデータの一部または全てが読み取れなくなってしまうことがあります。この様な場合に備えて、microSDカード内のデータはバックアップを取っておくようにお願いします。
- microSDカードは付属されていません。市販のmicroSDカードをご購入ください。
- microSDカードには、シールやテープなどを貼りつけないでください。

miniB-CASカードについて

- 付属のminiB-CASカードは地上デジタル放送の受信に必要です。常に本機に挿入してお使いください。
- 破損等によりminiB-CASカードの再発行が必要になった場合は（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにまでご連絡ください。（カスタマーセンター連絡先はB-CASカードにも記載されております。）
- miniB-CASカードについてのお問い合わせは、以下の窓口にお願いします。

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
カスタマーセンター　TEL：0570-000-250

メモ

miniB-CASを正しく装着していないと、本機で地デジテレビは見られません。ワンセグテレビのみの表示となります。

本機は、安全上の配慮から本機が走行中と判断すると警告が表示され、テレビは見られません。走行中は音声のみとなります。走行中に助手席の方がテレビを視聴される際には、システム設定の（→P131）「ユーザーモードを設定する」を参照してユーザーモードを「助手席」に設定してください。

アンテナについて

- 走行中に安定してテレビを受信するために、本機内蔵のロッドアンテナは完全に引き出してお使いください。
- 別売のフィルムアンテナ（発売予定）を取り付けていただければ、より安定した受信状態でテレビを視聴いただけます。（→P2）

テレビの受信状態について

- テレビ（地デジ・ワンセグ）の受信状態が悪い場合は、しばらくそのままでお待ちください。テレビ（地デジ・ワンセグ）は一般の家庭用に比べ受信エリアは狭くなります。また、車の場所、方向、速度などにより受信状態が変化します。

ご使用の前に

お買い上げの直後は、充電されていません。8 ページを参照して、充電してからご使用ください。

タッチスクリーン保護シートについて

- ご使用になる前には、タッチスクリーンの保護シートをはがしてください。
- 保護シートが貼られていると、タッチスクリーンが正しく動作しないことがあります。
- 市販の保護シートは貼らないでください。

電源が入らない場合は

長期間使われなかった、または本機の内蔵バッテリーのみで長時間使用された場合、電池が無くなって、電源が入らない場合があります。
このような場合は、十分に充電をおこなってから電源スイッチを長押ししてください。

注意

本機をお使いにならないときは、必ず電源を切るようにお願いいたします。

1. はじめに

ナビゲーションの特徴

高性能！ルート探索＆誘導！

- カーナビで実績を積んだインクリメントP社製、高性能ルート探索エンジンを搭載！
- 新東名高速道路※対応2012年度版地図データを搭載
  詳しくは（→P140）「仕様」・（→P91 ～ P93）「地図データについて」をご参照ください。
  ※情報が一部未収録となっております。
- 8GBメモリに10mスケールまでの多彩な地図表現を実現
- 有料道路は専用のハイウェイモードで、入口・分岐・ETCレーンをわかりやすくご案内！
- 標準、距離優先、主要道路優先、有料回避などドライブプランに合わせた探索条件でドライブをサポートします。
- 誘導中の交差点では交差点拡大図を表示し、わかりやすく案内します。
  レーン情報や方面看板でドライバーをアシストします。

多彩な地点検索機能！

- 日本全国の番地や号までの住所検索やジャンル、周辺からのスポット検索はもちろん、キーワードによる名称検索や電話番号検索も標準装備。
  検索手段が豊富、だから探しやすい！
- 検索情報は、住所検索が約3,850万件、電話番号検索が約660万件、名称検索が約660万件！

見やすさに実績があるデジタル地図採用！

- 信頼の地図サービス「MapFan」で実績を積んだデジタル地図を採用！
- 日本全国を10m ～ 100kmスケールの13段階でフルカバー！

その他の主な機能

- JTBパブリッシング（観光）監修のるるぶDATA収録（旅行ガイド）
  観光・宿泊情報　約34,500件
  写真データ　約21,000枚
- 全国オービス情報を搭載
- 立寄地を指定するルート探索
- 地点登録機能
- ルート登録機能
- 検索履歴機能
- オートリルート
- ヘディングアップ、ノースアップ、3Dの地図表示方向切替え
- 音声案内（セーフティインフォメーション対応）
- デモ走行
- 到着予想時刻、残距離表示
- 地図上への店舗ロゴマーク表示

操作説明について

ナビゲーション・ソフトは、タッチスクリーンの画面を触れることで操作を行います。この取扱説明書では、画面に触れることを「タッチする」と表現しています。

その他の特徴

- ベターホームのお料理教室が監修したお料理レシピ約1,000件収録。
- 高画質地デジ12セグ＋ワンセグ搭載。
  12セグ/ワンセグ自動切替で広域受信。
- 音楽再生が可能
- 音楽リストからMP3、WMAファイルの再生が可能
- 音楽ファイルは、便利なリスト表示
- 内蔵スピーカー、イヤフォンの自動切り替え可能
- マルチメディアメニュー画面時にて、バッテリー残量表示
- 本体の寸法は（突起物を含まず）（mm）：158（W）×96（H）×20（D）
- 質量（重量）：約280g

別売品［発売予定］

- DTN-6700用ACアダプター
  品番：SP-AC6700
  ご家庭コンセント（交流100V）で充電が出来ます。
- DTN-6700用フィルムアンテナ一式（アンテナコードとフィルムアンテナのセットになります）
  品番：SP-AT6700
  ※接続する際にアンテナコードが必要になりますので、初めてご購入される方はこちらになります。
- DTN-6700用フィルムアンテナ（フィルムアンテナのみになります）
  品番：SP-AE6700

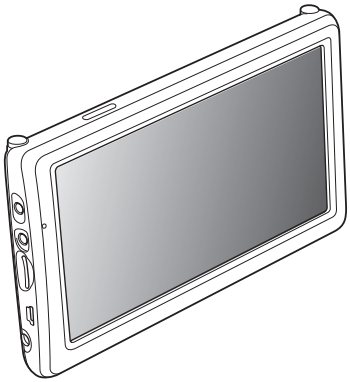
※ご注文、お問い合わせにつきましてはお買い求めいただきました販売店またはトライウインサポートセンターまでお願いします。（P137）

パッケージ内容の確認

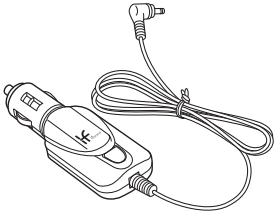
重要

お買い求めになられて、ご使用の前に下記の物が梱包されていることをご確認ください。万一、不足がある場合は、弊社のサポートセンターまでご連絡ください。

- DTN-6700 トライウインスマート本体

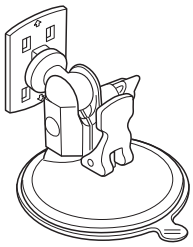


- シガー電源アダプター

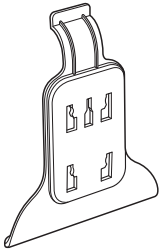


- miniB-CASカード　1枚

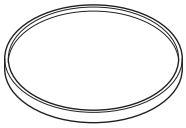
- 取り付けキット（吸盤付きステー、本体固定ホルダー、吸盤ベース）



吸盤付きステー



本体固定ホルダー



吸盤ベース
（両面テープ付き）

- 取扱説明書（本書）
- クイックガイド（保証書付き）

取付キットの使い方

付属の取り付けキット（吸盤付きステー、本体固定ホルダー、吸盤ベース）を使って、自動車に本機を取り付けます。

警告

本機は、道路交通法および関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくダッシュボードにお取り付けください。

吸盤はフロントガラスの様な平らな場所には強力につきますが、道路交通法によりフロントガラスへの取り付けは禁止されてますので、フロントガラスには取り付けないでください。

取り付ける際には、運転に支障となる場所には取り付けないでください。
交通事故やけがの原因となります。

シートベルトやエアバックなどの安全装置の働きを妨げる場所には、取り付けないでください。
事故の際に、安全装置が働かず、けがの原因となります。

一度取り外した吸盤ベースは粘着力が低下しています。再度のご使用は避けてください。
本機が落下して、故障やけがの原因となります。

注意

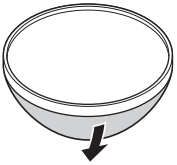
吸盤ベースはテープにより固定されます。したがって、一度吸盤ベースを貼り付けると取り外しが困難になりますので、貼り付ける位置は慎重に選んでください。

取り付けキットは、ダッシュボードの形状や素材によって取り付けできない場合があります。

ダッシュボードに取り付ける際に「しっかりと固定できないところ」や「振動の多いところ」などの場所は避けて取り付けてください。

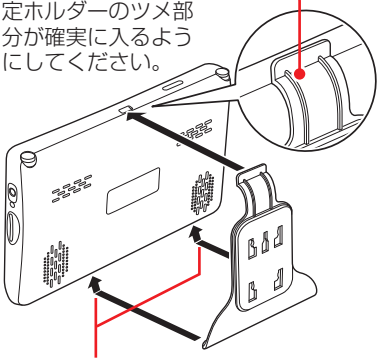
1 吸盤ベースを取り付けられる平らな場所を選び、その場所のホコリや油などをきれいに取り除く

2 吸盤ベースの底に付いているテープを剥がし固定する



3 本機下部から本体固定ホルダーをはめ、次に上部側をはめる

本体の凹部に本体固定ホルダーのツメ部分が確実に入るようにしてください。

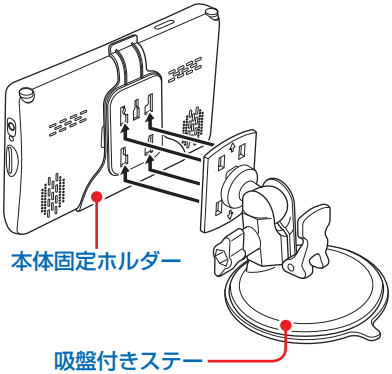


先に、本体の下側をホルダー下部のサポート部分へ確実に入るようにセットしてください。

メモ

本体の下側をホルダーに入れてから上側をホルダーに入れてください。

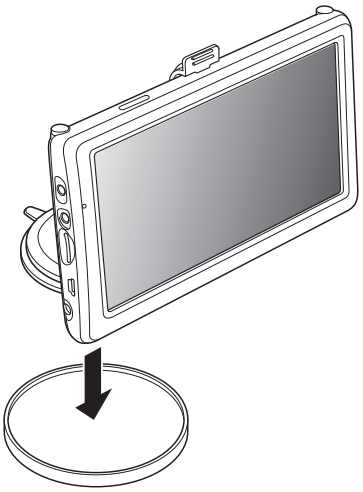
4 吸盤付きステーを本機に取り付けた本体固定ホルダーを上側にスライドし、確実に接続させる



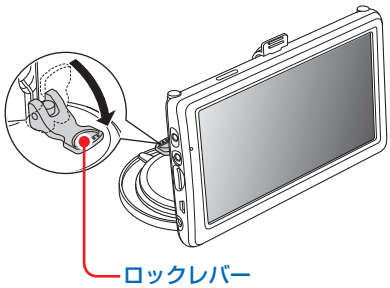
注意

本体固定ホルダーをスライドさせて吸盤付きステーに取り付ける時、強度確保のために非常に堅く取り付けられるように設計されております。
そのため、力を入れてしっかりと固定されるまでスライドさせてください。
また、取り付けの際に手を滑らせて、手や指をけがしないように注意してください。

5 手順2で取り付けた吸盤ベースの上に、吸盤付きステーを置く



6 吸盤付きステーのロックレバーを押し下げる



7 取り付けた各部位がしっかり固定されているか確認する

注意

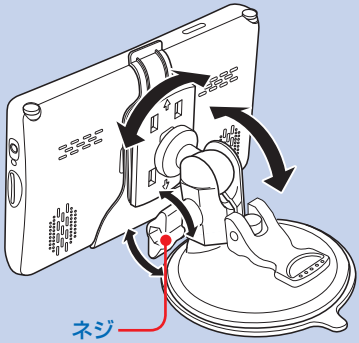
取り付けの際には、必ず付属している器具や部品で取り付けてください。他の器具や部品を使うと、本機の脱落や本機を破損する恐れがあります。

取り付けキットは自動車以外に使用しないでください。

低温時などは吸盤の吸着力が弱くなり、落下の原因になります。車内が適温になってからご使用ください。

メモ

ねじを緩めてお好みの角度と向きになるように調整してください。調整後はねじをしっかり固定してください。



本機を取り付ける際には、十分に安定した状態でご使用ください。

吸盤付きステーの取り外し方

本機を吸盤付きステーから取り外す、さらに吸盤付きステーを取り外す場合は、吸盤の破損及びダッシュボードの変形・破損を防ぐため、以下の手順で行ってください。

重要

ダッシュボード上は非常に温度が高くなる場合があります。
その場合、精密機器のため本機が正しく動作しなくなったり変形や故障が発生する可能性があります。
取り付ける場所の温度には十分にご注意ください。
また、ご使用にならない時は本機を取り外して日の当たらない涼しい場所に保管してください。

本機の取り付けや取り外しにおいて、本機およびダッシュボードやその他の箇所に変形や破損が生じましても、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

注意

吸盤付きステーを外す時は、無理に引っ張ったりしないでください。吸盤ベースごと剥がれるなどによりダッシュボードを破損する原因となる事があります。本書をよくお読みになり、取り付け・取り外しには十分にご注意ください。

お客様の使用環境にもよりますが、できるだけ使用後は、本機および吸盤付きステーを吸盤ベースからはずしてください。
ダッシュボードに取り付けた状態で長期間放置すると、吸着力が低下して落下する原因となります。また、取り付ける際に汚れや埃などが付着しているようでしたら、毛羽立たない布などを使い、水に濡らして固く絞ってから拭き取ってください。

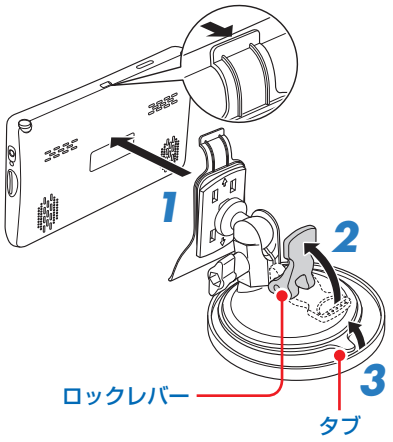
ソフトフィール仕上げまたはクッション性のある生地（スポンジが中に入っている）のダッシュボード部分に取り付けた際には、特に変形・破損にご注意ください。

ロックレバーを解除した後に、取り外す際にはタブ（吸盤部分の後方のつまみ部分）を利用し、注意深くゆっくりと取り外し作業を行ってください。

注意

吸盤ベースはテープで固定されていますので、無理に取り外すとダッシュボードに跡が残ったり、変形・破損がおきる可能性がありますので、取り付けや取り外しの際には十分注意してください。

1. ナビゲーション本体を本体固定ホルダーから取り外す
2. ロックレバーを押し上げる
3. 吸盤部分のタブを持ち、徐々に吸盤内に空気を入れる
4. ゆっくりと吸盤をはがすように外す
   - 吸盤をはがす際には、両手で作業を行って取り外してください。



電源を入れるには

警告

付属のシガー電源アダプターは、車のエンジンをスタートさせてから、接続してください。付属のシガー電源アダプターを接続させてから、車のエンジンをスタートさせると、急激な電圧変動により、本機の故障や不具合の原因となることがあります。

付属のシガー電源アダプターは12V車でご使用になれます。電圧の異なる車で使用されると、発熱や故障の原因となります。お使いになる車の電圧が分からない場合は、車をお買い上げになった販売店などにお問い合わせください。

本機の充電端子とシガー電源アダプターの接続はしっかりと行ってください。
接続がしっかり行われていないと不具合の原因となることがあります。

重要

出荷時、本機内蔵のリチウムポリマー充電池（以下、バッテリーと表記）は充電されておりません。シガー電源アダプターを接続し、充電を行ってからお使いください。

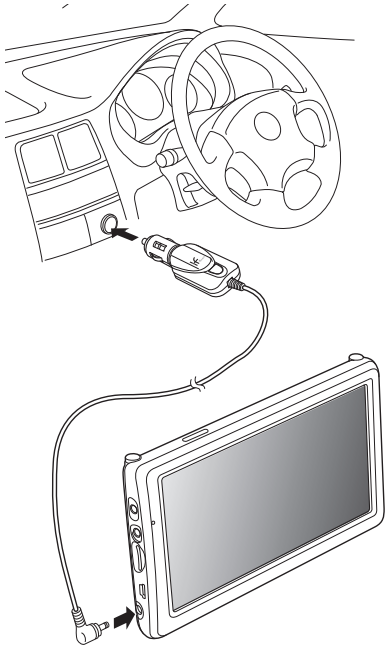
メモ

本機の電源が入っているときに、付属のシガー電源アダプターが抜けたり、車のエンジンを切ったりしますと、電源を切るメッセージが表示されます。詳しくは、P10を参照してください。

車内での使用

1 車のエンジンをかける

2 本機の充電端子と付属のシガー電源アダプターを接続する



3 付属のシガー電源アダプターを、車のシガーライターソケットに挿入する

4 本体左上の充電インジケーターが点灯することを確認する
- 充電が終了すると青色で点灯します。

充電の仕方

重要

車種により、シガー電源アダプターで充電ができない場合や充電が完了にならない場合があります。

本機の充電端子とパソコンを繋いでの充電はできません。
充電は付属のシガー電源アダプターを使って、正しく充電してください。

本機は、充電できる温度範囲（0℃～45℃）を外れると安全性のために、本機の保護動作回路が働き、充電ができなくなります。本機が充電できる温度範囲に戻してください。

メモ

本機が充電できる温度範囲に戻すには、電源を切った状態で日陰や涼しい場所などに置いておくことをお勧めいたします。
冷蔵庫内や冷房設備の直下等に置いて、急速に冷却するのは避けてください。

バッテリー残量/充電表示は、以下のようになります。

	バッテリーの残量が不足しています。直ぐに充電を行ってください。そのままにしておくとしばらくして電源が切れます。
	充電中です。バッテリー残量表示が右から左に移動します。
	十分に充電されている状態です。

- 充電完了は、本体左上の充電インジケーターが青色に点灯することでご確認ください。
- ご家庭で充電をおこなう場合は、別売のACアダプターをお買い求めください。(P2)

電池残量がわずかになると本機から警告音が鳴り、充電インジケーターが青色で点滅します。また、メインメニュー画面の電池マークも点滅します。

充電中にバッテリーの残量表示が変化しない場合は、充電できる温度範囲を超えて、本機の保護回路が働いている可能性があります。

シガー電源アダプターでの充電方法

1. 車のエンジンをかける
2. 本機の充電端子と付属のシガー電源アダプターを接続する
3. 付属のシガー電源アダプターを車のシガーライターソケットに挿入する
4. 充電インジケーターが点灯することを確認する
   - このとき、バッテリー残量表示は、充電中 に変化します。
5. 充電インジケーターが青色になったら充電プラグを本体から外す
   - 十分に充電されているとき、バッテリー残量表示は になります。
   - 初めて充電する場合や長期間ご使用にならなかった場合は、充電が完了するまで約3時間以上かかる場合があります。
6. 付属のシガー電源アダプターを車のシガーライターソケットから外す
7. 付属のシガー電源アダプターを本機の充電端子から外す

警告

シガーライターソケットのタコ足配線はしないでください。火災や加熱によるやけどの原因となります。

注意

シガーライターソケットから充電中は、長時間エンジンを停止しないでください。車のバッテリーが上がる恐れがあります。

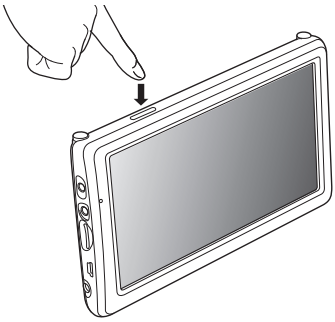
シガーライターソケットやソケット周りの形状によっては、付属シガー電源アダプターが入らない事があります。

基本の操作

電源の入れ方・切り方

1 電源を入れるには、電源スイッチを長押しする

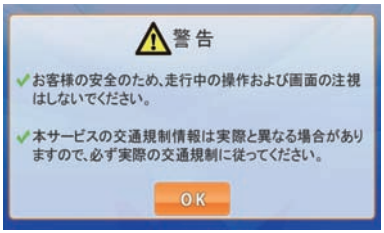
- 本機の電源が入ります。



▼

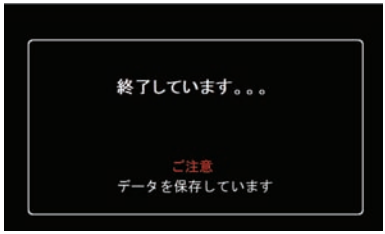
▼

- 起動画面表示後にナビゲーションが起動し、警告画面が表示されます。



▼

2 電源を切るには、[終了しています]の表示が出るまで電源スイッチを長押しする



電源オフのカウントダウンについて

本機の電源が入っているときに、付属のシガー電源アダプターが抜けたり、車のエンジンを切ったりしますと以下のメッセージが表示されます。

> 10秒後に自動で電源が切れます。そのままお使いになる時は、画面をタッチして下さい

何もせずに10秒待つと電源は切れます。
そのままお使いになるときは、電源が切れるまでの間に次のようにしてください。なお、この操作を行うとメッセージも消えます。

- 画面をタッチする
- 車のエンジンを切った場合は、再度エンジンをかける
- 付属のシガー電源アダプターが抜けた場合は、再度接続する

注意

画面へのタッチや付属のシガー電源アダプターの接続は、車を安全な場所に停車してからおこなってください。

一部車種でエンジンを切ってもシガーライターソケットの電源が切れない場合があります。
また、ACCにした場合エンジンを切っても電源が切れない場合があります。
その場合、本機の電源も切れず車のバッテリーを消耗しますので、必ずシガー電源アダプターをシガーライターソケットから抜いてください。
電源OFF状態でシガー電源アダプター接続時におきましても充電供給される為、車のバッテリーが上がる恐れがあります。ご使用にならない時は、必ずシガーライターソケットからシガー電源アダプターを抜いてください。

タッチスクリーンの操作方法

1 タッチスクリーンに表示されているアイコンや表示を軽くタッチする

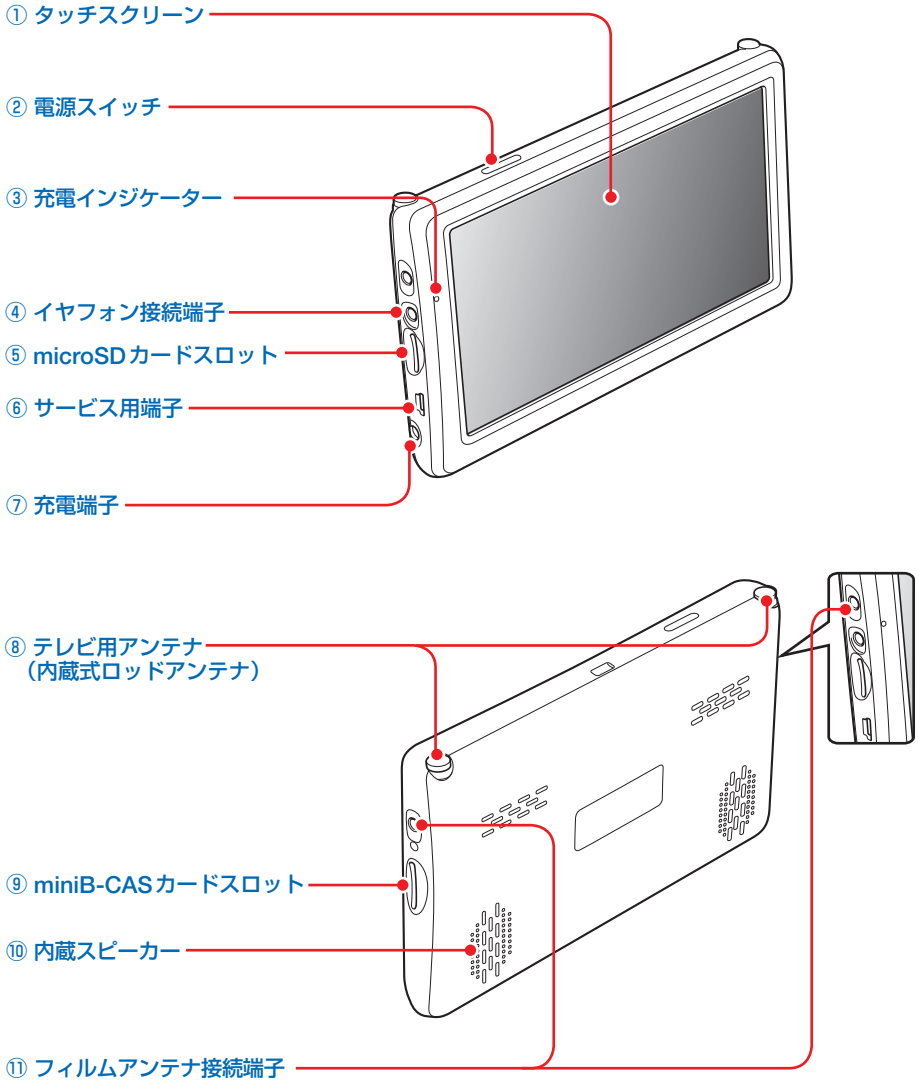
注意

タッチスクリーンは市販のスタイラスペンまたは指を使って操作してください。

ペン先が金属製のスタイラスペンやボールペン・シャープペンシルのペン先などでタッチスクリーンに触れないでください。

市販の保護シートは貼らないでください。保護シートが貼られていると、タッチスクリーンが正しく動作しない事があります。

各部の名称


① タッチスクリーン
② 電源スイッチ
③ 充電インジケーター
④ イヤフォン接続端子
⑤ microSDカードスロット
⑥ サービス用端子
⑦ 充電端子
⑧ テレビ用アンテナ
（内蔵式ロッドアンテナ）
⑨ miniB-CASカードスロット
⑩ 内蔵スピーカー
⑪ フィルムアンテナ接続端子

各部の動作

① タッチスクリーン

タッチスクリーン上の表示を市販のスタイラスペンまたは指先を使って操作します。

注意

ボールペンやシャープペンシルなどで、タッチスクリーンに触れると、タッチスクリーンを傷つけたり、正しく動作しないことがあります。

② 電源スイッチ

電源が切れた状態で、このスイッチを長押しすると電源が入ります。

本機の電源を切るには、「終了しています。。。」のメッセージが表示されるまで、このスイッチを押してください。

③ 充電インジケーター

インジケーターの色により、本機の動作状態をお知らせします。

充電中	橙色
充電完了	青色
バッテリー動作時	青色
バッテリー残量少	青色点滅

メモ

電源が切られている場合の、インジケーターは以下のようになります。

充電中	橙色
充電完了	消灯

バッテリーの残量に係らず、ナビゲーションの起動画面が表示されるまでは、充電インジケーターは青色になります。

④ イヤフォン接続端子

この端子に市販のφ3.5（ミニプラグ）ステレオイヤフォンを接続してください。この端子にイヤフォンが接続されているときは、本機の内蔵スピーカーから音は出ません。

注意

イヤフォンは本機が完全に立ち上がってから接続してください。

⑤ microSDカードスロット

ここにmicroSDを挿入します。

注意

microSDカードスロットには、microSDカード以外のものを挿入しないでください。液体類・金属類・燃えやすいものなどを挿入すると、火災・感電・故障の原因となります。

メモ

microSDは、microSDHCにも対応しております。

⑥ サービス用端子

この端子は使用しません。

⑦ 充電端子

ここに付属のシガー電源アダプターの充電プラグを接続します。

本機専用の電源アダプター以外は接続しないでください。正常に動作しなくなる可能性があります。

注意

本機の充電端子とシガー電源アダプターの接続はしっかりと行ってください。
接続がしっかり行われていないと不具合の原因となることがあります。

⑧ テレビ用アンテナ（内蔵式ロッドアンテナ）

テレビ用のロッドアンテナです。テレビを見るときは、最後まで引き出してお使いください。

注意

テレビ用アンテナは、最後まで引き出してお使いください。アンテナを引き出すのを途中で止めてお使いになると、受信感度が低下します。

テレビ用アンテナを目や顔に近づけたり、人に向けないでください。アンテナの先端に接触して、事故やけがの原因になることがあります。アンテナを伸ばして使用するときは、周囲に十分に注意してください。

⑨ miniB-CASカードスロット

付属のminiB-CASカードを挿入してください。

注意

miniB-CASカードスロットには、miniB-CASカード以外のものを挿入しないでください。液体類・金属類・燃えやすいものなどを挿入すると、火災・感電・故障の原因となります。
また、間違えてmicroSDカードを挿入しないようにしてください。火災・感電・故障の原因となります。

miniB-CASカードが入っていないと地テジ（フルセグ）を見ることができません。必ずminiB-CASカードはminiB-CASカードスロットに挿入してください。

⑩ 内蔵スピーカー

ここから音声がでます。

注意

イヤフォン接続端子が使用されている時は、内蔵スピーカーから音声は出ません。

⑪ フィルムアンテナ接続端子

別売の「フィルムアンテナ」を接続します。（→P2）
フィルムアンテナは、片方だけでなく必ず左右のフィルムアンテナをそれぞれ接続してください。

表示について

メインメニュー（検索1メニュー）について

地図画面から**[メニュー]**をタッチして呼び出します。
この画面から目的地の検索やナビゲーションの設定を変えることができます。

ルート確認（P61）
誘導の開始や再設定などを行うときここをタッチします。

名称（P32 ～ P33）
名称から場所を探すときに、ここをタッチします。

ルート消去（P62）
現在のルートを消去するときに、ここをタッチします。

住所（P33 ～ P34）
都道府県から住所を絞り込んで場所を検索するときに、ここをタッチします。

現在地（P27）
メニュー画面から現在地に戻るときに、ここをタッチします。

もどる
1つ前の画面に戻るときに、ここをタッチします。

検索2（P43 ～ P47、P49 ～ P50）
検索2の画面に移動するときに、ここをタッチします。

周辺施設（P36 ～ P37）
現在地の周辺施設を探すときに、ここをタッチします。

編集・設定（P68 ～ P87）
ルートや登録地の編集、ナビゲーションの設定、テレビ、音楽や写真の再生をするときに、ここをタッチします。

ジャンル（P37 ～ P38）
食べるものや買うものなどのジャンルで探すときに、ここをタッチします。

るるぶDATA（P38 ～ P43）
るるぶDATAから場所を探すときに、ここをタッチします。

電話番号（P35）
電話番号から場所を探すときに、ここをタッチします。

ナビゲーションの検索メニュー 2

メニュータグの **[検索2]** をタッチすると、場所を検索するための登録されている情報がメニューとして表示されます。

登録ルート（P49 ～ P50）
既に登録してあるルートから探すときに、ここをタッチします。

登録地（P43 ～ P44）
既に登録してある地点を探すときに、ここをタッチします。

現在地（P27）
メニュー画面から現在地に戻るときに、ここをタッチします。

もどる
1つ前の画面に戻るときに、ここをタッチします。

検索1（P32 ～ P43）
検索1の画面に移動するときに、ここをタッチします。

検索履歴（P45）
過去に検索した行き先（目的地）から探すときに、ここをタッチします。

マップコード（P46 ～ P47）
マップコードから場所を探すときに、ここをタッチします。

自宅（P43 ～ P44）
現在地から自宅に戻るルートを設定するときに、ここをタッチします。

編集・設定（P68 ～ P87）
ルートや登録地の編集、ナビゲーションの設定、テレビ、音楽や写真の再生をするときに、ここをタッチします。

編集・設定

メニュータグの **[編集・設定]** をタッチします。編集・設定の画面が表示されます。

設定（P79 ～ P87）
用途やお好みに応じてナビゲーションソフトの設定を変更します。

編集
（P68 ～ P72、P74 ～ P78）
登録地や登録ルートの編集や検索履歴の消去をします。

現在地（P27）
メニュー画面から現在地に戻るときに、ここをタッチします。

もどる
1つ前の画面に戻るときに、ここをタッチします。

検索1
（P32 ～ P43）
検索1の画面に移動するときに、ここをタッチします。

検索2
（P43 ～ P47、P49 ～ P50）
検索2の画面に移動するときに、ここをタッチします。

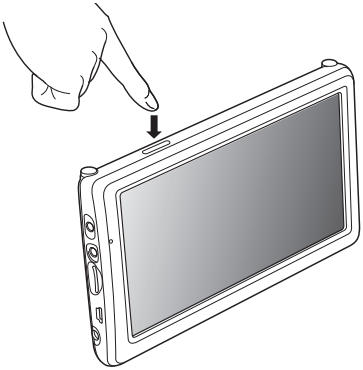
マルチメディア（P95 ～ P132）
マルチメディアメニューに移動するときに、ここをタッチします。
マルチメディアメニューでは、次のアイテムを選ぶことができます。
テレビ、音楽再生、お料理、システム設定

地図上のマルチメディアボタンにタッチしてもマルチメディアメニューを表示します。

2. ナビゲーションの基本操作

ナビゲーションの起動

1 電源スイッチを長押しする



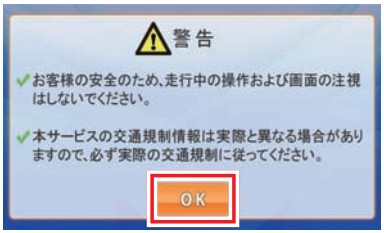
▼

● 起動画面が表示されます。

▼

● 起動画面表示後にナビゲーションが起動し、警告画面が表示されます。

2 警告画面の［OK］をタッチする



3 地図画面が表示される

始めてお使いになる時の地図画面

● ナビゲーション画面が表示されます。
● 始めてお使いになる時（工場出荷時）のナビゲーション画面は東京都駅付近が表示されます。GPS衛星を受信すれば、現在地が表示されます。（→P18）「GPS衛星の測位について」

メモ

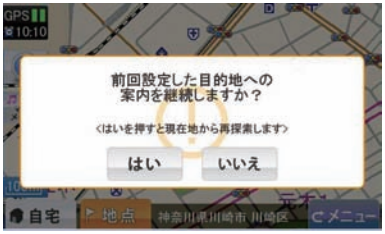
GPS信号の受信状態が悪く、自車位置を測位できないとき、前回取得した地点を表示します。

注意

通常は電源を入れてから、数分でGPS衛星の測位を行い現在地を表示します。しかし、初めてお使いになる時や、長時間ご使用にならなかったときはGPS衛星の測位を行い現在地を表示するまでに、10～20分程度かかることがあります。現在地が表示されるまで移動しないでください。
（→P18）「GPS衛星の測位について」を参照してください。

前回、ルート案内中に電源を切った時の地図画面

ルート案内中に電源を切り、再度起動させると「前回設定した目的地への案内を継続しますか？」と表示されます。



[はい] をタッチすると、現在地から目的地までのルートを再探索します。
[いいえ] をタッチすると、ルートを消去するかどうかを確認する画面が表示されます。

GPS衛星の測位について

地図画面に自分のいる位置を表示させるためにおこないます。GPSの測位状態（受信レベル、高度、緯度、方向、速度、経度）を表示します。

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] → [設定] の順でタッチする

3 [設定2] → [GPS] の順でタッチする

▼

- 「GPS画面」が表示されます。
- 画面左上の「レベル」が「測位不可」から「3次元測位」または「2次元測位」になったのを確認したら **[現在地]** をタッチして地図画面に戻ります。

GPS信号表示

- GPS信号表示は受信している信号の数を表しています。受信している電波が3つ以下の場合は測位不能、4つで「2次元測位」、5つ以上で「3次元測位」となります。

メモ

- 3次元測位....GPS衛星の電波が良好
- 2次元測位....3次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなる。
- 測位不可.....GPS衛星の電波を受信できていない。

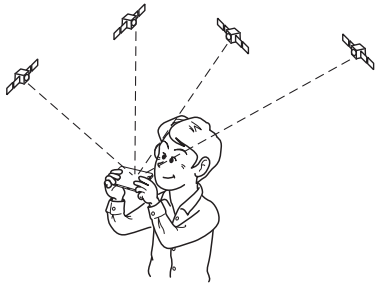
詳しくは（→P18）「GPS衛星の測位について」をご確認ください。

注意

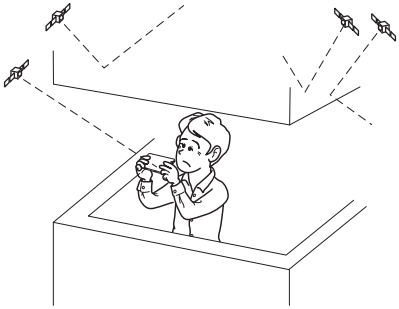
屋内ではGPS衛星を受信する事が出来ません。

初めてお使いになるとき、または長期間お使いになっていないときは、GPS衛星を測位しづらくなっています。このような時は、上空の見晴らしの良い場所でGPS受信をおこなってください。

上空の見晴らしの良い場所でGPSを受信する



- ベランダや階段の踊り場など見晴らしのよさそうな場所でも実際には建物自体が遮蔽物となって、GPS衛星からの信号を受けることが難しくなる場合があります。



注意

通常は電源を入れてから、数分でGPS衛星の測位を行い現在地を表示します。しかし、初めてお使いになる時や、長時間ご使用にならなかったときはGPS衛星の測位を行い現在地を表示するまでに、10～20分程度かかることがあります。現在地が表示されるまで移動しないでください。

メモ

GPS衛星からの位置測位用電波を受信して、現在地を測位することで地図上に現在地を表示し、行き先を案内するのがナビゲーションになります。詳しくは（→P88）「7. ナビゲーションについて」を参照してください。

現在地画面

ナビゲーションが起動すると現在地を中心とした地図画面が表示されます。ご購入後、初めて起動したときの地図画面は100mスケールで表示します。以後は前回終了時のスケールで表示します。

GPS信号測位表示
GPS信号の取得状況を表示します。
GPS：未取得
GPS：2次元測位
GPS：3次元測位

方位マーク
赤い三角が北を示します。また、地図表示の方法も表示します。アイコンをタッチすると、表示方法を切り替えられます。
：2Dヘディングアップ
：2Dノースアップ
：3D

スケール［+］［−］
地図のどこかをタッチするとアイコンが表示され、アイコンをタッチして地図のスケールを変更します。（→P22）「地図のスケールを変える」

スケール表示
地図のスケール（縮尺）を表示します。

［自宅］
自宅を目的地にルート探索します。
（→P49）「自宅までのルートを探索する」

［地点］
サブメニューを表示します。（→P27）「［地点］」

時刻表示
時刻を24時間表示します。
（未取得：＊＊：＊＊）

現在地マーク
現在地を示します。アイコンはモードによって異なり、標準モード（赤色）と方面表示モード（緑色）は、進行方向を表します。
：標準モード（赤色）
：方面表示モード（緑色）

現在地の地名表示
現在地周辺の地名を表示します。
- 地名をタッチすると表示を切り替えることができます。タッチするごとに、**地名表示→道路名称表示（誘導中のみ）→緯度経度表示**の順に切り替わります。

［メニュー］
［メニュー］をタッチすると、メニュー画面に切り替わります。（→P26）「［メニュー］」

メモ

目的地が設定されている場合は、現在地から目的地の方向を示す直線（赤色）が表示されます。

現在地マークは、実際の現在地からずれる場合があります。

本機の電源を入れた時にGPS信号の受信状態が悪く、自車位置を測位出来ないとき：
- 前回、ナビゲーションの操作中画面で電源を切った場合
  →再度、電源を入れた時には最後に記憶した位置を表示します。
- 前回、ナビゲーションを終了してから電源を切った場合
  →再度、電源を入れた時には前回終了時の地点を表示します。

道路名称の情報がない場合は、移動時に「道路名称表示」に切り替えても何も表示されません。

スケール**［+］［−］**は自動的に消えます。

地図スクロール画面

地図スクロール画面は、地図を動かすときに表示される地図画面です。

1 地図上の見たい地点を2回タッチする

- タッチした地点を中心とした地図が表示されます。
  また、画面にスケールボタンが表示している時は1回タッチでスクロールします。

センターマーク
地図上の中心点を示します。

[現在地]
現在地画面に戻ります。

[地点]
サブメニューを表示します。(→P27)「[地点]」

センターマークの地名表示
センターマーク周辺の地名を表示します。

- 地名をタッチすると表示を切り替えることができます。タッチするごとに、**地名表示→道路名称表示(誘導中のみ)→緯度経度表示**の順に切り替わります。

メモ

- 目的地が設定されている場合は、現在地から目的地の方向を示す直線(赤色)が表示されます。
- 地図上をタッチし続けると、タッチした地点の方向に地図が連続してスクロールします。
- タッチした位置にセンターマークが移動し、その地点を中心とした地図が表示されます。
- 道路名称の情報がない場合は、誘導時に「道路名称表示」に切り替えても何も表示されません。
- スクロールした状態でスケール、ビューモードを変更した場合、現在地表示へ戻ったときに変更前の状態に戻ります。
- 都道府県・市区町村の境界線に非常に接近した場所の地名表示については、まれに実際の地名とは異なる場合があります。

地図のスケールを変える

地図のスケールは10m ～ 100kmの範囲で変えることができます。

1 地図上のどこかをタッチする

▼

● 左側に[+]・[−]が表示されます。

2 [+]・[−]をタッチする

● タッチするたびに10m、25m、50m、100m、200m、500m、1km、2km、5km、10km、20km、50km、100kmで地図のスケールが変わります。

メモ

変更されたスケールは電源を切っても記憶されます。

メモ

ルート誘導画面、地図スクロール画面から**[現在地]**をタッチして現在地画面に切り替えると、切り替える前の画面のスケールで地図が表示されます。

[+]または**[−]**をタッチし続けると、地図のスケールが連続的に変わります。

[+]・[−]は、約5秒画面をタッチしないと、表示が消えます。
再度表示させるには、地図上をタッチしてください。

本書では、原則としてスケール**[+]・[−]**を表示した画面を使用しております。

地図画面の表示について

地図表示の向きについて

方位マーク をタッチすると、地図の表示方法を選ぶことができます。

ご購入時は、2Dヘディングアップに設定されています。

2Dヘディングアップ：進行方向が常に画面の上になるよう地図を回転します。

2Dノースアップ：北が常に画面の上になるよう地図を表示します。

3D：進行方向が常に画面の上になるよう地図を回転し、斜め上から見下ろしたようなイメージで表示します。

※3Dは現在地画面でのみ設定可能です。

3D表示について

3D表示は、画面上部に空を表現し、地図配色の設定に連動して表示が変化します。地図方向はヘディングアップ固定です。

地図をスクロールすると、一時的に2Dヘディングアップ地図表示に切り替わります。現在地の地図に戻ると3D地図表示に戻ります。

メモ

地図設定画面からも地図表示の向きを変更する事が出来ます。（→P80）「地図の設定を変更する」を参照してください。

地図画面の配色について

地図画面の配色を時刻連動/昼/夜/屋外で選ぶことができます。夜は夜間移動時、屋外は明るい場所を移動時に適切な配色になっています。移動する場所、時間に合わせて画面の配色を設定してください。時刻連動に設定すると、日の出時刻と日の入り時刻で自動的に配色を切り替えます。

〈昼〉

〈夜〉

〈屋外〉

メモ

ご購入時は、時刻連動に設定されています。地図画面の配色を変更するときは、(→P80)「地図の設定を変更する」を参照してください。

登録地・自宅のアイコンについて

登録地・自宅のアイコンを地図に表示することができます。

メモ

アイコンを表示するスケールは、10m、25m、50m、100mです。

地点を登録するときは、(→P65)「地点を登録する(登録地・自宅)」を参照してください。

地図にアイコンを表示するときは、(→P81)「地図のアイコン表示を変更する」を参照してください。

地図記号一覧

地図関連

- 指示点
- 山岳
- 公園
- 工場
- 発電所
- トンネル
- マンション
- サービスエリア
- パーキングエリア
- インターチェンジ
- 料金所
- 駐車場・道の駅
- ガソリンスタンド
- 銀行
- ファミリーレストラン
- ファストフード
- コンビニエンスストア
- カーディーラー
- 空港
- ヘリポート
- フェリー乗り場
- タワー・展望台
- 灯台
- 墓地
- 公共館など
- 警察署
- 消防署
- 官公庁・裁判所・大使館など
- 都道府県庁
- 市町村役場
- 自衛隊
- 米軍
- 病院
- 郵便局
- NTT
- 学校
- 小学校
- 中学校
- 大学
- 幼稚園
- 保育園
- 自動車教習所
- 温泉
- 銭湯
- 遊園地・レジャーランド
- キャンプ場
- ゴルフ場
- 野球場
- スタジアム
- 体育館
- スキー場
- スケート場
- 海水浴場・プール
- ヨットハーバー
- サーフィングエリア
- モータースポーツ
- 美術館・博物館・図書館など
- 動物園
- 植物園
- 水族館
- プラネタリウム
- ホール・劇場
- フォトポイント
- 神社
- 仏閣
- 教会
- 城・城跡
- 史跡・名勝・天然記念物など
- 陵墓・古墳
- 牧場
- 果樹園
- 倉庫
- 競馬場
- デパート
- 市場
- ショッピングセンター
- DIY
- リゾートホテル
- ホテル
- 一方通行（10~50mスケール時）

オービス

- 一般道路にて表示：青色
- 一般道路にて表示：緑色
- 高速道路にて表示：黄色
- 高速道路にて表示：赤色

ルート関連

- 目的地
- 立寄地
- 出発地
- 誘導ポイント
- 信号機
- 案内中ルート：青色（有料道）
- 案内中ルート：緑色（一般道）
- 案内中ルート：黄緑色（細街路）
- 自車位置：赤色（標準モード）
- 自車位置：緑色（方面表示モード）

※記号やマークは、スケールによって表示されない場合があります。
※実際のアイコンには、各種類により色分けされて表示されます。

地図・メニュー画面の基本操作

[メニュー]

現在地画面、地図スクロール画面、ルート誘導画面で **[メニュー]** をタッチするとメニュー画面が表示されます。(「検索1画面」が表示されます。)

メニュー画面は3つのタブがあります。「検索2画面」「編集・設定画面」を表示するときは、**[検索2]** タブまたは **[編集・設定]** タブをタッチします。

検索1画面

[名称] 名称で探す。(→P32 ～ P33)
[住所] 住所で探す。(→P33 ～ P34)
[電話番号] 電話番号で探す。(→P35)
[周辺施設] 周辺施設を探す。(→P36 ～ P37)
[ジャンル] ジャンルで探す。(→P37 ～ P38)
[るるぶDATA] るるぶDATAで探す。(→P38 ～ P43)
[ルート確認] ルートを確認する。(→P61)
[ルート消去] ルートを消去する。(→P62)

検索2画面

[登録地] 登録地から探す。(→P43 ～ P44)
[登録ルート] 登録ルートから探す。(→P49 ～ P50)
[自宅] 自宅へのルート探索を行う。(→P43 ～ P44)
[検索履歴] 検索履歴から探す。(→P45)
[マップコード] マップコードから探す。(→P46 ～ P47)

編集・設定画面

[編集] 登録地や登録ルート、検索履歴などの保存内容を編集します。(→P68 ～ P72、P74 ～ P78)
[設定] 用途やお好みに応じてナビゲーションソフトの設定を変更します。(→P79 ～ P87)
[マルチメディア] マルチメディアメニューを表示します。

メニュー画面でできる操作

[現在地] メニュー画面を閉じて、現在地画面を表示します。
[もどる] 前の画面に戻ります。

メモ

[マルチメディア] をタッチして本体のマルチメディアメニューを表示した場合、**[戻る]** をタッチすると「編集・設定」画面へ戻ります。

[地点]

[地点] をタッチするとサブメニューが表示されます。

[ここへ行く] ルート誘導モードを選んで、目的地を設定します。（→P48）

[立寄地にする] 立寄地を設定します。（→P63）

[地点登録] 地点を登録します。（→P65 ～ P67）

[周辺施設] 地点の周辺施設の検索をします。（→P36 ～ P37）

ビューモードの切替

地図画面で方位マーク をタッチすると、ビューモードが切り替わります。（→P23）「地図画面の表示について」

タッチするごとに、**2Dヘディングアップ→2Dノースアップ→3D**の順で切り替わります。

[自宅]

現在地画面では、**[自宅]** が表示されます。

▼

自宅が登録されていない場合は、**[自宅]** をタッチすると、表示している地点を自宅として登録するかのダイアログが表示されます。

自宅が登録されている場合は、自宅を目的地としてルートを探索します。（→P49）「自宅までのルートを探索する」

[現在地]

地図スクロール画面では、**[現在地]** が表示されます。

[現在地] をタッチすると現在地画面に戻ります。

[+] [−]

タッチするたびに10m ～ 100kmの範囲で地図のスケールが変わります。

[マルチメディア]

[マルチメディア] をタッチするとマルチメディアメニューが表示されます。

各設定画面の基本操作

文字の入力

登録した地点やルートの名称やメモなどを入力するとき、以下の画面（キーボード）で文字を入力できます。

文字種の切り替え

入力する文字種を切り替えるときは、文字種（例：**[カタカナ入力]**）を繰り返しタッチして選びたい文字種を選びます。文字種は、タッチするたびに**ひらがな→カタカナ→アルファベット→数字**の順に切り替わります。

メモ

名称で検索する場合は、読み仮名を入力するため、アルファベットと数字を選べません。また、漢字に変換できません。

電話番号等を入力する場合は、数字以外の文字種に切り替えられません。

ひらがな・カタカナの入力

キーボードを繰り返しタッチして、入力する文字を変更します。（例：「き」の場合は、**[か]** を2回タッチします。）

同じ行の文字を入力する場合は、**[ ]** をタッチしてから、キーボードをタッチします。

漢字で入力する場合は、**[変換]** を繰り返しタッチして漢字を選び、**[Enter]** をタッチします。

アルファベットの入力

キーボードを繰り返しタッチして、入力する文字を表示し、**[Enter]** をタッチします。小文字を入力する場合は **[小文字]** をタッチして、**[Enter]** をタッチします。

数字の入力

入力する数字をタッチし、**[Enter]** をタッチします。

入力位置の変更

カーソルを移動したい位置をタッチします。[ ]、[ ] をタッチすると、カーソルが1文字分移動します。

文字の削除

[削除] をタッチすると、カーソルの左側にある文字を削除します。

メモ

[完了] をタッチしたとき、下線（点線）が表示されている文字は登録しません。この状態は、文字がまだ未確定です。

アルファベットと数字を入力しているとき、**[変換]** をタッチすると、全角/半角/大文字/小文字/（その他関連する文字）に切り替わります。

半角カタカナを入力することはできません。

リスト表示の画面操作

リストの項目が複数のページに分かれているときは、スクロールボタンが画面に表示されます。スクロールボタンをタッチすると、リストを上下にスクロールします。
画面右上には表示中のリストのページが表示されます。

タブ表示の画面操作

メニュー画面、設定画面、編集画面などでは、タブが画面に表示されます。
タブをタッチすると、選んだタブの画面に切り替わります。

チェックボックス表示の画面操作

チェックボックスが表示される画面では、チェックボックス(□)をタッチして選択または解除の操作を行います。

[現在地]

各画面で、**[現在地]** をタッチすると、入力または選択した内容をキャンセルして現在地画面を表示します。

[もどる]

各画面で、**[もどる]** をタッチすると、入力または選択した内容をキャンセルして、前の画面に戻ります。

3. 場所（行き先）を探す

地図画面で探す

地図画面をタッチして、地図上で場所を探します。

1 地図画面で地図上をタッチする

2 地図をスクロールさせ、探したい場所をタッチして画面の中心に合わせる

3 [地点] をタッチする

4 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。（→P48）「ルートを探索する」目的地へ行く方法（ルート誘導モード）を［標準］・［方面表示］をタッチすることで選べます。

[立寄地にする]：探した地点を立寄地にします。（→P63）「立寄地を設定する」

[地点登録]：探した地点を登録します。（→P65）「地点を登録する（登録地・自宅）」

[周辺施設]：地点の周辺施設の検索をします。（→P36）「周辺の施設を探す」

名称で探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

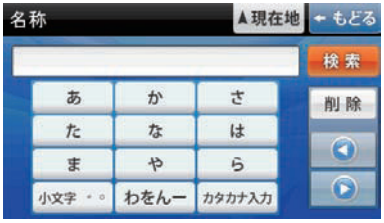
1 [メニュー]をタッチする

2 [名称]をタッチする

▼

- 入力画面が表示されます。

3 キーボードで名称を入力する



- **[あ]** ～ **[ら]** は、各行を表します。入力したい文字の行と同じキーを何度かタッチしてください。同じ行の文字を続けて入力したいときは、[▶]をタッチして文字の入力位置を移動してください。
- 小文字を入力する時は、文字を入力してから **[小文字]** をタッチしてください。[▶]をタッチして、文字の入力する位置を変更できます。

入力の例1：ろっぽんぎ
- **[ら]** 5回＝ろ
- **[た]** 3回→**[小文字]** ＝っ
- **[は]** 5回→**[゛゜]** 2回＝ぽ
- **[わをん]** 3回＝ん
- **[か]** 2回→**[゛゜]** 1回＝ぎ

入力の例2：あおやま
- **[あ]** 1回＝あ
- [▶]1回→**[あ]** 5回＝お
- **[や]** 1回＝や
- **[ま]** 1回＝ま

4 名称の入力を終了してから[検索]をタッチする

メモ

検索対象の文字数は2文字から20文字までです。入力文字数が2文字未満、または21文字以上入力された場合はエラーメッセージが表示されます。

ひらがな、カタカナ以外の入力はできません。漢字、ローマ字、数字などを含む施設を探すときも、すべてひらがな、またはカタカナで入力します。

名称はわかっている部分だけ入力して、検索することもできます。

5 「都道府県」をタッチする

▼

- 入力した名称の検索結果がリストで表示されます。

6 リストから地点をタッチする

▼

- 選んだリストの地点を中心に地点確認画面が表示されます。

7 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。(→P48)「ルートを探索する」目的地へ行く方法（ルート誘導モード）を［標準］・［方面表示］をタッチすることで選べます。

[立寄地にする]：探した地点を立寄地にします。(→P63)「立寄地を設定する」

[地点登録]：探した地点を登録します。(→P65)「地点を登録する（登録地・自宅）」

[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。(→P47)「探した場所の地図を見る」

住所で探す

住所で場所を探します。番地または号まで入力して探すことができます。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［住所］をタッチする

3 「都道府県」をタッチする

4 「市区町村」をタッチする

メモ

住所に小字があるときは、**5**の「丁目」で小字を選択します。

5 「丁目」をタッチする

▼

- 入力画面が表示されます。

6 数字とハイフンをタッチして、「番地」と「号」を入力する

7 [検索] をタッチする

▼

- 入力した住所を中心に地点確認画面が表示されます。

メモ

「番地」と「号」を入力せずに **[検索]** をタッチすることもできます。

8 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。(→P48)「ルートを探索する」目的地へ行く方法(ルート誘導モード)を[標準]・[方面表示]をタッチすることで選べます。
[立寄地にする]：探した地点を立寄地にします。(→P63)「立寄地を設定する」
[地点登録]：探した地点を登録します。(→P65)「地点を登録する(登録地・自宅)」
[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。(→P47)「探した場所の地図を見る」

メモ

探した地点に合致する住所のデータがない場合(ピンポイントデータでない場合)、代表地点の地図が表示されます。

電話番号で探す

探す場所の電話番号を入力して探すことができます。

1 [メニュー]をタッチする

2 [電話番号]をタッチする

▼

- 入力画面が表示されます。

3 「数字」をタッチして電話番号を入力し、[検索]をタッチする

[削除]：入力した数字を一文字削除します。

▼

- 入力した電話番号の検索結果が複数ある場合は、リストで表示されます。
  検索結果が1件の場合は、地点確認画面が表示されます。

4 リストから場所をタッチする

▼

- 選んだリストの地点を中心に地点確認画面が表示されます。

5 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。(→P48)「ルートを探索する」目的地へ行く方法(ルート誘導モード)を[標準]・[方面表示]をタッチすることで選べます。
[立寄地にする]：探した地点を立寄地にします。(→P63)「立寄地を設定する」
[地点登録]：探した地点を登録します。(→P65)「地点を登録する(登録地・自宅)」
[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。(→P47)「探した場所の地図を見る」

メモ

電話番号検索は法人電話帳などから検索されます。

市外局番と市内局番は必ず入力してください。

2桁から11桁まで入力できます。
2桁未満、12桁以上入力された場合は、エラーメッセージが表示されます。

登録されていない電話番号の場合(ピンポイントデータでない場合)は、住所の代表地点などが表示されます。

周辺の施設を探す

レストランやガソリンスタンドなど、現在地やスクロール先の周辺（半径10km）施設を100件まで探すことができます。

1 [メニュー]をタッチする

2 [周辺施設]をタッチする

3 検索するジャンルをタッチする

4 詳細なジャンルをタッチする

▼

▼

- 選んだジャンルの検索結果がリスト表示されます。

5 リストから周辺施設をタッチする

▼

- 選んだリストの地点を中心に地点確認画面が表示されます。

6 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。（→P48）「ルートを探索する」目的地へ行く方法（ルート誘導モード）を［標準］・［方面表示］をタッチすることで選べます。

[立寄地にする]：探した地点を立寄地にします。（→P63）「立寄地を設定する」

[地点登録]：探した地点を登録します。（→P65）「地点を登録する（登録地・自宅）」

[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。（→P47）「探した場所の地図を見る」

メモ

地図画面で【地点】をタッチし、サブメニューの【周辺施設】をタッチしても、同じように周辺施設を検索できます。

施設や店舗により周辺施設で検索できない場合があります。そのようなときは名称や電話番号等の他の方法で検索してみてください。

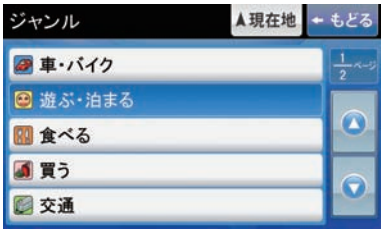
ジャンルで探す

ジャンルリストから各種施設を探すことができます。

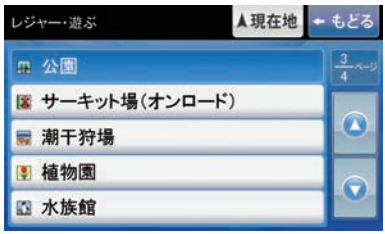
1 [メニュー]をタッチする

2 [ジャンル]をタッチする

3 探している施設のジャンルをタッチする



4 詳細なジャンルをタッチする



メモ

探すジャンルによっては、さらに詳細を絞り込むための画面が表示されます。表示される画面で探すジャンルをタッチしてください。

絞り込む必要がないジャンルは、「都道府県」を選ぶ画面に切り替わります。

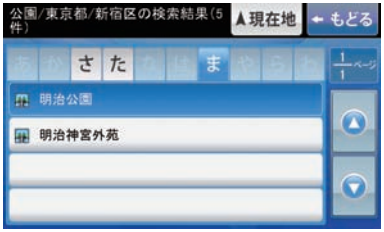
5 「都道府県」をタッチする

6 「市区町村」をタッチする

▼

- 選んだジャンルの検索結果がリスト表示されます。

7 リストから目的の施設をタッチする



▼

- 選んだリストの地点を中心に地点確認画面が表示されます。

8 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。(→P48)「ルートを探索する」目的地へ行く方法(ルート誘導モード)を[標準]・[方面表示]をタッチすることで選べます。
[立寄地にする]：探した地点を立寄地にします。(→P63)「立寄地を設定する」
[地点登録]：探した地点を登録します。(→P65)「地点を登録する(登録地・自宅)」
[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。(→P47)「探した場所の地図を見る」

メモ

施設や店舗によりジャンルで検索できない場合があります。そのようなときは名称や電話番号等の他の方法で検索してみてください。

るるぶDATAで探す

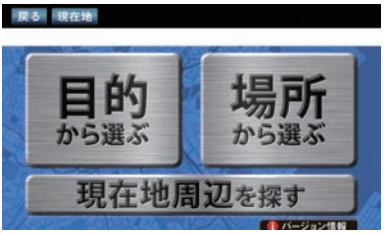
るるぶDATAから場所を探します。

1 [メニュー]をタッチする

2 [るるぶDATA]をタッチする

▼

- るるぶDATAのメニュー画面が表示されます。



メモ

画面右下の ⓘ をタッチすると、バージョン情報が表示されます。

目的から選ぶ

るるぶDATAを目的から選びます。

1 [目的から選ぶ] をタッチする

2 目的を選んで [絞り込む] をタッチする

メモ

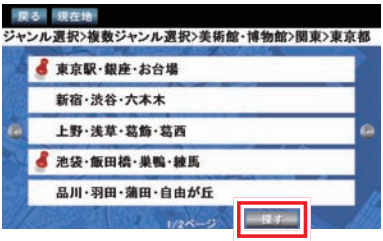
ジャンルやエリア選択では、複数選択が可能です。

[探す] をタッチすると、選択した条件に合う場所を探します。

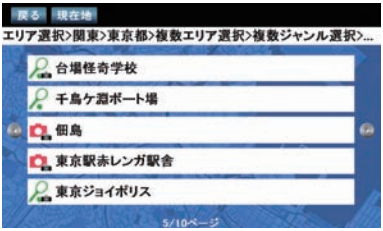
3 さらに目的を選んで [絞り込む] をタッチする

4 地域と都道府県を選んで [絞り込む] をタッチする

5 エリアを選んで [探す] をタッチする

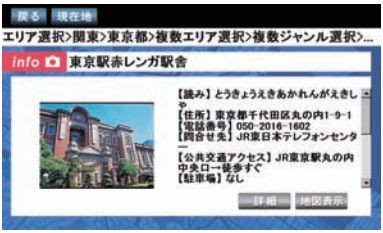


6 目的の場所をタッチする

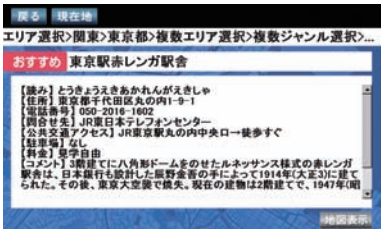


▼

● 場所の説明が表示されます。



● **[詳細]** をタッチすると、詳細内容が表示されます。



メモ

カメラマーク📷の項目は、「場所の説明」で写真が表示されることを意味しています。

7 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。(→P48)「ルートを探索する」目的地へ行く方法（ルート誘導モード）を［標準］・［方面表示］をタッチすることで選べます。

[立寄地にする]：探した地点を立寄地にします。(→P63)「立寄地を設定する」

[地点登録]：探した地点を登録します。(→P65)「地点を登録する（登録地・自宅）」

[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。(→P47)「探した場所の地図を見る」

場所から選ぶ

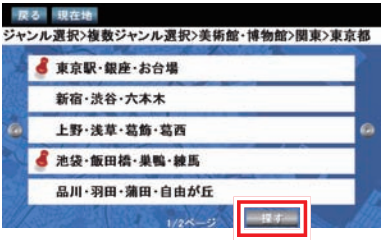
るるぶDATAを場所から選びます。

1 [場所から選ぶ] をタッチする

2 地域を選んでをタッチする

3 都道府県を選んでタップする

4 エリアを選んで [探す] をタッチする



メモ

ジャンルやエリア選択では、複数選択が可能です。

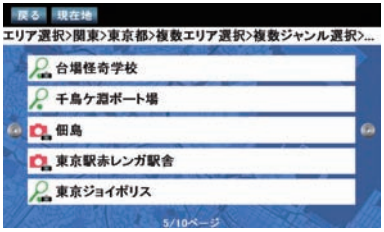
メモ

[探す] をタッチすると、選択した条件に合う場所を探します。

5 目的を選んで [絞り込む] をタッチする

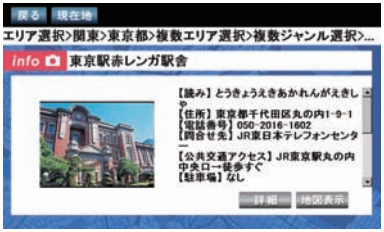
6 さらに目的を選んで [絞り込む] をタッチする

7 目的の場所ををタッチする

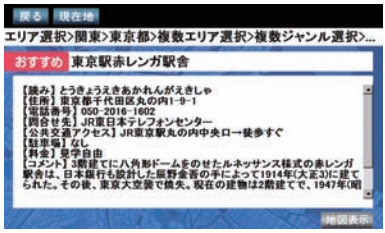


▼

- 場所の説明が表示されます。



- **[詳細]** をタッチすると、詳細内容が表示されます。



メモ

カメラマーク📷の項目は、「場所の説明」で写真が表示されることを意味しています。

8 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。(→P48)「ルートを探索する」目的地へ行く方法（ルート誘導モード）を［標準］・［方面表示］をタッチすることで選べます。

[立寄地にする]：探した地点を立寄地にします。(→P63)「立寄地を設定する」

[地点登録]：探した地点を登録します。(→P65)「地点を登録する（登録地・自宅）」

[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。(→P47)「探した場所の地図を見る」

現在地周辺を探す

るるぶDATAから現在地周辺を探します。現在地点から近い順に表示します。

1 [現在地周辺を探す] をタッチする

2 目的を選んで [絞り込む] をタッチする

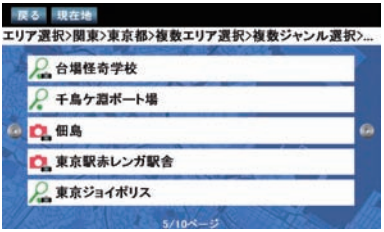
メモ

ジャンルやエリア選択では、複数選択が可能です。

[探す] をタッチすると、選択した条件に合う場所を探します。

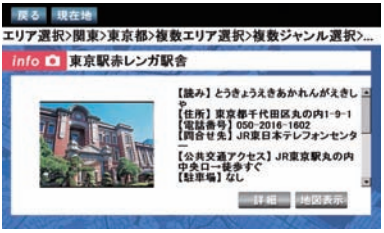
3 さらに目的を選んで [絞り込む] をタッチする

4 目的の場所ををタッチする

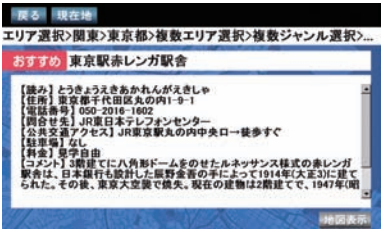


▼

- 場所の説明が表示されます。



- **[詳細]** をタッチすると、詳細内容が表示されます。



メモ

カメラマーク📷の項目は、「場所の説明」で写真が表示されることを意味しています。

5 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。(→P48)「ルートを探索する」目的地へ行く方法（ルート誘導モード）を［標準］・［方面表示］をタッチすることで選べます。

[立寄地にする]：探した地点を立寄地にします。(→P63)「立寄地を設定する」

[地点登録]：探した地点を登録します。(→P65)「地点を登録する（登録地・自宅）」

[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。(→P47)「探した場所の地図を見る」

登録した場所（登録地・自宅）から探す

登録されている場所（登録地・自宅）から探すことができます。

登録地については、(→P65)「地点を登録する（登録地・自宅）」を参照してください。

メモ

登録されている地点がない場合は、次の画面が表示されます。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［検索2］タブをタッチする

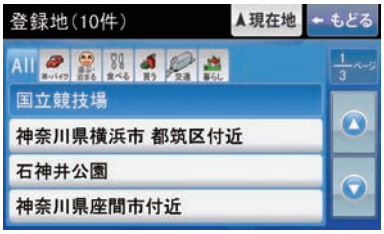
3 [登録地]をタッチする

自宅に帰るときは、[自宅]をタッチする

▼

- **[自宅]**をタッチすると、ルートを探索してルート誘導を開始します。
- 手順**4**、**5**は行いません。

4 探している「登録地」をタッチする



▼

- 選んだリストの地点を中心に地点確認画面が表示されます。

5 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]:探した地点を目的地に設定します。(→P48)「ルートを探索する」目的地へ行く方法(ルート誘導モード)を[標準]・[方面表示]をタッチすることで選べます。

[立寄地にする]:探した地点を立寄地にします。(→P63)「立寄地を設定する」

[地点登録]:探した地点を登録します。(→P65)「地点を登録する(登録地・自宅)」

[地図を見る]:探した場所の地図を表示します。(→P47)「探した場所の地図を見る」

検索履歴から探す

過去に検索した地点から探すことができます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [検索2] タブをタッチする

3 [検索履歴] をタッチする

4 検索履歴画面の「名称」をタッチする

▼

- 選んだリストの地点を中心に地点確認画面が表示されます。

5 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。(→P48)「ルートを探索する」目的地へ行く方法（ルート誘導モード）を［標準］・［方面表示］をタッチすることで選べます。

[立寄地にする]：探した地点を立寄地にします。(→P63)「立寄地を設定する」

[地点登録]：探した地点を登録します。(→P65)「地点を登録する（登録地・自宅）」

[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。(→P47)「探した場所の地図を見る」

メモ

地点確認画面まで表示させた最新の検索履歴200件までが表示されます。200件を超えた場合、最も古い検索履歴から自動的に消去されます。

「検索履歴」で探した地点で、地点確認画面までの操作を行うと、この地点が最新の履歴として追加されます。

マップコードで探す

探す場所のマップコードを入力して探すことができます。
「マップコード」とは地図上の位置を簡単に特定できるコードナンバーです。
マップコードは雑誌やウェブなどに記載されています。

1 [メニュー]をタッチする

2 [検索2]タブをタッチする

3 [マップコード]をタッチする

4 「数字」または「＊」をタッチしてマップコードを入力する

[削除]：入力した数字を一文字削除します。

5 [検索]をタッチする

▼

- 入力した地点を中心に地点確認画面が表示されます。

6 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。(→P48)「ルートを探索する」
目的地へ行く方法(ルート誘導モード)を[標準]・[方面表示]をタッチすることで選べます。
[立寄地にする]：探した地点を立寄地にします。(→P63)「立寄地を設定する」
[地点登録]：探した地点を登録します。(→P65)「地点を登録する(登録地・自宅)」
[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。(→P47)「探した場所の地図を見る」

メモ

コメント欄にはマップコードと住所が表示されます。

地図移動ができない範囲や識別できない文字が入力された場合、「該当するデータが見つかりませんでした。マップコードを変えて再度検索してください。」と表示されます。

メモ

標準マップコードまたはマップコードHR（高分解マップコード）に対応しています。
標準マップコードは、最大10桁です。マップコードHRは、最大12桁の数字と＊を用いたコードで、標準マップコードよりも分解能が上がっています。
マップコードHR例：611 875＊04

探した場所の地図を見る

1 場所を探す

地図画面で探す →P31
名称で探す →P32
住所で探す →P33
電話番号で探す →P35
周辺の施設を探す →P36
ジャンルで探す →P37
るるぶDATAで探す →P38
登録地・自宅から探す →P43
検索履歴から探す →P45
マップコードで探す →P46

2 [地図を見る]をタッチする

▼

- 地図スクロール画面が表示されます。

メモ

メモの右側にある［▼］をタッチすると、メモ欄が大きく表示されます。

ルートを探索する

探した場所を行き先（目的地）として設定すると、現在地から目的地までのルートが探索され、「探索結果画面」が表示されます。

1 行き先を探す

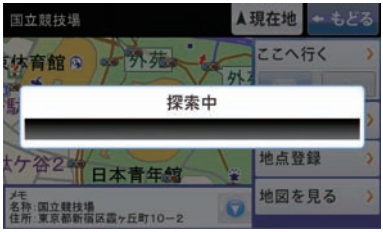
地図画面で探す →P31
名称で探す →P32
住所で探す →P33
電話番号で探す →P35
周辺の施設を探す →P36
ジャンルで探す →P37
るるぶDATAで探す →P38
登録地・自宅から探す →P43
検索履歴から探す →P45
マップコードで探す →P46

2 「モード」をタッチする

- ルート誘導のモード（**[標準]**・**[方面表示]**）を切り替えます。（すでに選びたいモードが選択されているときは、この操作は不要です。）青色で表示されているモードが選択されています。

3 [ここへ行く]をタッチする

▼



▼

- 行き先までのルートを探索し、「探索結果画面」が表示されます。

メモ

出発地・目的地周辺に有料道路がある場合は、確認ダイアログ画面が表示されます。**[有料道路]**または**[一般道路]**のどちらかを選びルートを設定します。

4 ルートを確認する

ルート情報

[誘導開始]：ルート誘導を開始します。（→P53）「ルート誘導を開始する」
[探索条件]：ルート探索条件を変更して、ルートの探索を行います。（→P50）「探索条件を変更して再探索する」
[立寄地設定]：立ち寄る場所を追加します。（→P51）「検索結果に立寄地を追加する」
[デモ走行]：探索したルートをデモ走行します。（→P52）「デモ走行する」
[ルート登録]：探索したルートを登録します。（→P61）「ルートを登録する」

ルート情報

距離：行き先（目的地）までの距離を表示します。
時間：行き先（目的地）到着までのおよその時間を表示します。
探索条件：ルート探索する条件を表示します。（→P50）「探索条件を変更して再探索する」

メモ

時間は、各案内モードの基準値から算出して表示します。誘導を開始すると、実際の移動速度で再計算し、最新の時速で一定の時間ごとに更新した時間を表示します。

自宅までのルートを探索する

現在地から自宅として登録している場所までをルート探索することができます。

メモ

登録されている地点がない場合は、次の画面が表示されます。自宅については、(→P65)「地点を登録する(登録地・自宅)」を参照してください。

1 [自宅]をタッチする

▼

- 自宅を目的地として探索するかどうかの確認ダイアログ画面が表示されます。

メモ

自宅はメニュー画面からも探索できます。

2 [OK]をタッチする

▼

- 自宅までのルートを探索し、誘導が開始されます。

メモ

出発地周辺に有料道路がある場合は、確認ダイアログ画面が表示されます。**[有料道路]**または**[一般道路]**のどちらかを選びルートを設定します。

前回探索した時のモードでルート探索します。

自宅までのルートは、メニューの「探索2」タブ内の「自宅」からも探索できます。

登録ルートを使って探索する

あらかじめ登録したルートを呼び出してルート探索します。(→P61)「ルートを登録する」

1 [メニュー]をタッチする

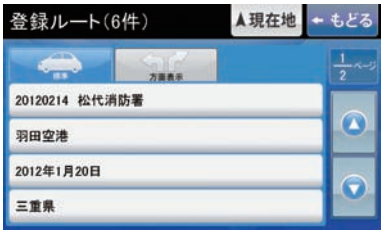
2 [検索2]タブをタッチする

3 [登録ルート]をタッチする

▼

- 「登録ルート画面」が表示されます。

4 モードタブ([標準]・[方面表示])をタッチして、使用する「登録ルート」をタッチする

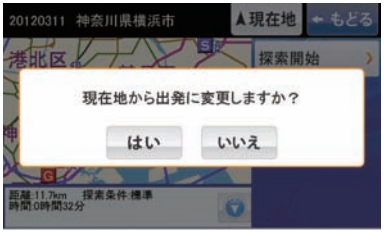


5 [探索開始]をタッチする

▼

- 確認ダイアログ画面が表示されます。

6 出発地を選ぶ



- 現在地から出発する場合は、**[はい]**をタッチします。
- 登録ルートのスタート地点から出発する場合は、**[いいえ]**をタッチします。

メモ

登録ルートを使ったルート探索結果は、登録ルート内の所要時間・総距離とすべて同じになるとは限りません。

探索条件を変更して再探索する

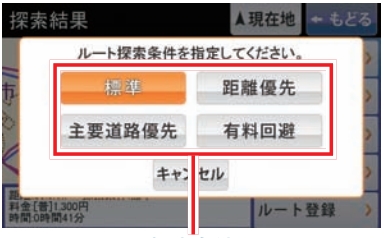
ルートの探索条件を変更してルートを再探索します。

1 「探索結果画面」で[探索条件]をタッチする

▼

- 探索条件選択画面が表示されます。

2 「探索条件」をタッチする



探索条件

[キャンセル]:探索条件設定を中止し、「探索結果画面」に戻ります。

探索条件

[標準]:標準的な探索条件でルートを探索します。
[距離優先]:距離の短さを優先してルートを探索します。
[主要道路優先]:主要道路の通行を優先してルートを探索します。
[有料回避]:有料道路を極力使用しない条件でルートを探索します。

▼

- 行き先までのルートを探索し、「探索結果画面」が表示されます。

検索結果に立寄地を追加する

探索したルートに立寄地を追加します。

1 「探索結果画面」で［立寄地設定］をタッチする

▼

- 「立寄地設定画面」が表示されます。

2 ［立寄地追加］をタッチする

▼

- メニュー画面が表示されます。

3 立寄地の地図を表示する

名称で探す　→P32
住所で探す　→P33
電話番号で探す　→P35
周辺の施設を探す　→P36
ジャンルで探す　→P37
るるぶDATAで探す　→P38
登録地・自宅から探す　→P43
検索履歴から探す　→P45
マップコードで探す　→P46

4 ［立寄地にする］をタッチする

▼

- 立寄地を設定して「探索結果画面」が表示されます。
- さらに立寄地を設定する場合は、同様の手順を繰り返します。

メモ

出発地・立寄地周辺に有料道路がある場合は、確認ダイアログ画面が表示されます。**［有料道路］**または**［一般道路］**のどちらかを選びルートを設定します。

立寄地は5件まで設定できます。

立寄地の削除または並べ替えを行った場合、**［立寄地追加］**の行はグレーになり、選択できなくなります。

［ここへ行く］をタッチすると、目的地を再設定して「探索結果画面」が表示されます。

地図画面で**［地点］**をタッチし、サブメニューの**［立寄地にする］**をタッチしても、同じように立寄地を追加できます。

検索2メニューの自宅検索から立寄地を探索した場合は立寄地ではなく目的地に設定されます。

誘導開始後でも立寄地を追加することができます。詳しくは（→P63）「立寄地を設定する」を参照してください。

登録ルートにも立寄地を追加できます。登録ルートの探索を行ってから手順 **1** から始めてください。登録ルートの探索は、（→P49）「登録ルートを使って探索する」を参照してください。

検索結果に追加した立寄地を変更・削除する

設定した立寄地の順番を変更したり、削除します。

1 「探索結果画面」で［立寄地設定］をタッチする

▼

- 「立寄地設定画面」が表示されます。

2 「立寄地設定画面」で順番を変えたい、または削除したい立寄地をタッチする

3 順番を変えるには［↑］または［↓］をタッチする

削除するには、［削除］をタッチする

4 ［再探索］をタッチする

▼

- 立寄地を変更した「探索結果画面」が表示されます。
- 立寄地の変更や削除を行っても、**［再探索］**をタッチするまで変更結果は反映されません。必ず、**［再探索］**をタッチしてください。
- さらに立寄地を変更する場合は、同様の手順を繰り返します。

メモ

出発地・立寄地周辺に有料道路がある場合は、確認ダイアログ画面が表示されます。**［有料道路］**または**［一般道路］**のどちらかを選びルートを設定します。

立寄地は5件まで設定できます。

立寄地の削除または並べ替えを行った場合、**［立寄地追加］**の行はグレーになり、選択できなくなります。

［ここへ行く］をタッチすると、目的地を再設定して「探索結果画面」が表示されます。

自宅を立寄地に選んだ場合は、立寄地ではなく目的地に設定されます。

デモ走行する

探索したルートをデモ走行し、事前に確認することができます。

1 「探索結果画面」で［デモ走行］をタッチする

▼

- デモ走行を開始します。
- デモ走行中は、GPS信号測位表示が「DEMO」に変わります。

「終了」：デモ走行を中止し、「探索結果画面」に戻ります。

▼

- デモ走行が目的地まで到達すると、デモ走行を終了し、「探索結果画面」に戻ります。

メモ

［誘導開始］をタッチしてルート誘導をはじめると、**［デモ走行］**をタッチできなくなり、デモ走行ができません。

ルートを変更する

ルート探索後に行き先を変更してルートを設定しなおすことができます。

1 「検索結果画面」でナビゲーションのメニュー画面を表示する

- ナビゲーションのメニュー画面を表示するには、ルート探索後に **[もどる]** を何度かタッチするか、**[現在地]** をタッチしてから **[メニュー]** をタッチします。

2 変更する行き先を探す

名称で探す →P32
住所で探す →P33
電話番号で探す →P35
周辺の施設を探す →P36
ジャンルで探す →P37
るるぶDATAで探す →P38
登録地・自宅から探す →P43
検索履歴から探す →P45
マップコードで探す →P46

3 [ここへ行く]をタッチする

▼

- 「探索結果画面」が表示されます。

メモ

出発地・目的地周辺に有料道路がある場合は、確認ダイアログ画面が表示されます。**[有料道路]** または **[一般道路]** のどちらかを選びルートを設定します。

ルート誘導を開始する

ルートが決まったら、ルート誘導を開始します。

1 「探索結果画面」で[誘導開始]をタッチする

2 移動を開始する

▼

- 移動を開始すると状況に応じて画面と音声でルート誘導を行います。目的地に近づくとルート誘導を終了し、ルートが削除されます。

メモ

ルート誘導後は、ルートは削除されますので、残しておきたいルートはルート登録(→P61)を行うことをお勧めします。

目的地に到着するとゴール地点の「G」のマークは消えずに次のルート設定されるまでそのまま残ります。

ルート誘導中の案内について

ルート誘導を開始すると、「ルート誘導画面」が表示され、画面と音声で目的地まで設定したルートで誘導が行われます。

標準モード一般道画面

GPS信号測位表示
GPS信号の取得状況を表示します。
GPS ▮▮ ：未取得
GPS ▮▮ ：2次元測位
GPS ▮▮ ：3次元測位

方位マーク
赤い三角が北を示します。また、地図表示の方法も表示します。
アイコンをタッチすると、表示方法を切り替えられます。
：2Dヘディングアップ
：2D ノースアップ
：3D

スケール［+］［−］
アイコンをタッチすると、地図のスケールを変更します。
- 地図をタッチするとボタンが表示されます。（→P22）「地図のスケールを変える」

スケール表示
地図のスケール（縮尺）を表示します。

「地図表示」/「案内表示」
タッチすると、「地図表示」または「案内表示」に切り替わります。
案内表示：ルート誘導画面を表示します。
地図表示：現在地画面を表示します。

［地点］
サブメニューを表示します。（→P27）「［地点］」

現在地の地名表示
現在地周辺の地名を表示します。
- 地名をタッチすると表示を切り替えることができます。タッチするごとに、**地名表示→道路名称表示（誘導中のみ）→緯度経度表示**の順に切り替わります。

時刻表示
時刻を24時間表示します。（未取得：＊＊：＊＊）

現在地マーク
現在地を示します。アイコンはモードによって異なり、標準モード（赤色）と方面表示モード（緑色）は、進行方向を表します。
：標準モード（赤色）
：方面表示モード（緑色）

2つ先の案内地までの距離
目的地までの間に案内地がなくなると表示されなくなります。

［メニュー］
［メニュー］をタッチすると、メニュー画面に切り替わります。（→P26）「［メニュー］」

方面看板
ルート上の次に接近する交差点について参考情報として方面看板と形状・進行方向を表示します。

レーン
レーン情報が表示されます。推奨するレーンは黄色で表示されます。

ルートインフォメーション
1つ先の案内地点の交差点名称、自車位置からの距離、曲がる方向を示す矢印が表示されます。

方面表示モード

案内地までの距離/交差点の進行方向/交差点名称
3つ先までの案内地点の情報を表示します。オレンジ色の情報は、300m以内にある交差点です。

メモ

- 誘導中に有料道路を走行すると、「ハイウェイモード」に切り替わります。(→P57)「ハイウェイモード」
- 交差点名称、方面看板、レーン情報はデータが収録されていない場合は表示されません。
- 方面看板、レーン情報は実際の標識と異なる場合があります。
- 走行軌跡表示を表示する設定にすることもできます。(→P81)「走行軌跡設定を変更する」を参照してください。
- ルート誘導中に地図上をタッチすると、地図スクロール画面が表示されます。音声の誘導は継続して行われます。**[現在地]** をタッチするとルート誘導画面に戻ります。
- 目的地に近づくと、「案内を終了します」の音声案内後、誘導を終了し通常の現在地画面に切り替わります。
- 画面に表示されている走行軌跡はクリア操作するまで表示されます。古い走行軌跡は上書きされます。
- アイコンを表示するスケールは、10m、25m、50m、100mのみです。
- 案内地点に交差点名称がない場合は、「案内地」と表示します。

交差点近くでは

一般道の場合

標準モードで案内地の交差点に近づくと、音声案内と共に方面看板（700m手前）、交差点拡大図（300m手前）を画面右側に表示します。案内地以外の交差点では方向看板のある場所を通過する場合、方面看板（300m手前）を表示します。

メモ

- 交差点拡大図は、50mスケール（固定）です。
- 交差点拡大図表示中は、地図をスクロールできません。
- 交差点名称のデータがない場合は、「案内地」と表示されます。
- 立体交差になる側道などに、イラストデータがあった場合、交差点拡大図の代わりにイラストが表示されます。

有料道入口または立体交差の場合

都市高速入口・有料道分岐・立体交差側道分岐で、イラストデータがある場合は、イラストを表示します。

方面表示モード

画面右側に3つ先までの案内地点の情報を表示します。左側に地図画面が表示されます。オレンジ色の情報は、300m以内にある交差点です。方面表示モードは、交差点案内情報や交差点拡大図が表示されません。

最も現在地に近い誘導矢印は、進行方向、現在地からの距離を表示します。現在地から700m以下になると、交差点名称が表示されます。300m以内になると、オレンジ色に変わります。300m以内の誘導地点が複数ある場合は、すべてオレンジ色で表示されます。

また、最も現在地に近い誘導矢印をタッチすると、交差点名称、レーン表示を全画面の地図表示で行い、案内ポイントの詳細情報を確認できます。地図表示の向きはノースアップになります。

画面をタッチすると誘導画面に戻ります。

メモ

方面表示モードで全画面に地図表示をしている場合は、700mまたは300mの誘導地点を通過する際と、案内ポイントを通過した際（0m）は、誘導画面に戻ります。

交差点名称、方面看板、レーン情報はデータが存在しない場合は表示されません。

ハイウェイモード

ルート誘導時に有料道路に入ると、自動的にハイウェイモードに切り替わります。

入口300m手前に近づくと

有料道路の入口300m手前から入口を通過するまで、左側に地図表示し、右側に入口イラストを表示して誘導します。

メモ

入口イラストのデータがない場合は、交差点拡大図が表示されます。

誘導開始時に自車位置がハイウェイモード対象路線上の場合もハイウェイモードに切り替わります。

ルート上の最後の高速施設を通過したとき、ハイウェイモードを終了します。

入口を通過すると

出口施設情報
名称と距離、到着予想時刻が表示されます。

施設情報
ルート沿いにある施設（3件分）の名称と距離、到着予想時間が表示されます。

施設送り
[△][▽]をタッチして表示する施設を切り替えます。[■]（解除）で解除します。

施設の情報を次の優先度で表示します。		
1		ガソリンスタンド
2		身障者用トイレ
3		レストラン
4		ショッピングコーナー
5		仮眠休憩所
6		インフォメーション
7		風呂（温泉浴場）
8	FAX	FAX
9		郵便ポスト
10		キャッシュディスペンサー

施設送り[△][▽]を1回タッチする度に、表示する案内地を1つ先に進めます（1つ後に戻します）。

※ルート上の案内地のみ表示できます。施設送り[△][▽]をタッチすると、[■]（解除）をタッチできるようになります。
[■]（解除）をタッチすると、案内地表示が現在地を中心とした表示に戻ります。

メモ

施設種別は名称に含まれません。
代わりに施設名称の左側に種別を示す記号が表示されます。
[IC]：インターチェンジ
[SA]：サービスエリア
[PA]：パーキングエリア
[JCT]：ジャンクション

併設施設がある場合は、優先度のもっとも高いマークのみを表示します。
(インターチェンジ>ジャンクション>料金所>サービスエリア>パーキングエリア)

施設送りをした状態で無操作のまま30秒経過した場合、施設送りを解除し、元の画面に戻ります。

目的地が自車位置の延長線上の有料道路上にある場合は、出口情報を表示しません。

ETCレーン案内

本線上の料金所や出口料金所の1.5km手前でETCレーン情報をイラストで表示します。料金所の10m手前で消去します。

有料道県境案内

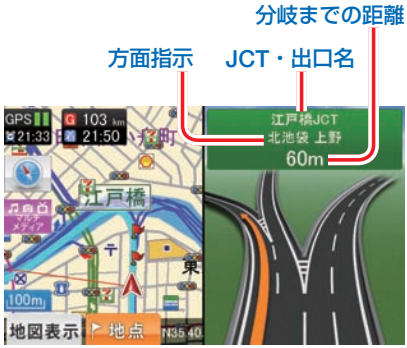
有料道路走行時に、県境の100m手前で音声案内します。
例：「○○県に入ります。」

誘導地点2km手前に近づくと

音声で案内されます。
例：「およそ2km先、○○方向です。」

誘導地点1km手前に近づくと

音声で案内され、分岐イラストが表示されます。



メモ

分岐イラストのデータがない場合は、交差点拡大図が表示されます。

分岐情報とレーン情報はデータが存在しない場合は表示されません。

有料道路の出口へ到達すると、自動的に通常の誘導画面へ切り替わり、引き続き目的地までの誘導を行います。

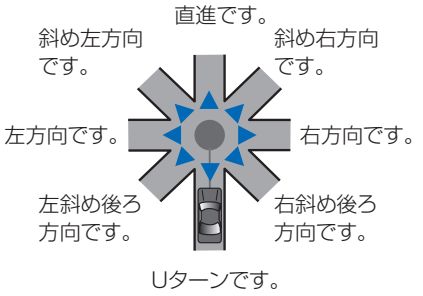
[地図表示]をタッチすると「現在地画面」に切り替わります。「現在地画面」から誘導を再開するには**[現在地]**をタッチしてください。
※誘導を再開したとき、GPSで測位した現在位置を考慮して誘導が再開されます。
※誘導再開時の現在地がルートから離れている場合はリルートを行います。

音声による誘導

ルート移動中は、移動中の状況に合わせて音声で誘導が行われます。

移動方向の誘導例

移動方向（8方向）は、音声で以下のように誘導されます。



メモ

「目的地」、「立寄地」、「有料道入口・出口」、「料金所」、「合流地点」、「側道」、「踏み切り」の手前で音声案内を行ないます。

誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。

その他音声による案内

リフレッシュ案内

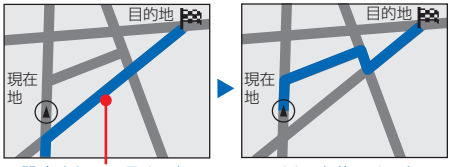
ナビゲーションを起動してから2時間経過すると、休息を勧める案内を音声により行います。

ライト点灯案内

日没の時間を自動的に判断して、ライトの点灯を勧める案内を音声により行います。

オートリルートについて

標準モードまたは方面表示モードで誘導中のルートからはずれた場合、自動的にルートを再探索します。リルートが終了すると「リルートしました」とメッセージで案内されます。



設定されているルート　　リルート後のルート

注意

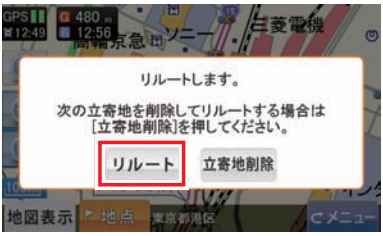
以下の道を走行した場合、オートリルートで再検索されませんのでご注意ください。

- 新規道路
- スマートIC等

立寄地が設定されている場合

リルートするときに立寄地が設定されている場合、最寄りの立寄地を削除してリルートを行うかどうかの確認ダイアログ画面が表示されます。

1 [リルート]をタッチする



[立寄地削除]：最寄りの立寄地を削除してリルートします。
[リルート]：最寄りの立寄地を経由してリルートします。

メモ

「確認ダイアログ画面」表示後10秒以上が経過すると「確認ダイアログ画面」を閉じて、リルートが行われます。

条件を変えてルートを探索する

案内中のルートで探索条件を変えて再探索させることができます。

1 [メニュー] をタッチする

▼

● **[検索1画面]** が表示されます。

2 [ルート確認] をタッチする

3 [探索条件] をタッチする

[標準]：標準的な探索条件でルートを探索します。
[距離優先]：距離の短さを優先してルートを探索します。
[主要道路優先]：主要道路の通行を優先してルートを探索します。
[有料回避]：有料道路を極力使用しない条件でルートを探索します。

4 設定する「探索条件」をタッチする

▼

● 選んだ探索条件でルートを再探索し、「探索結果画面」が表示されます。

ルートを再探索する

立寄地の削除や変更を行った後、ルートを探索し直します。

1 「立寄地設定画面」で [再探索] をタッチする

▼

● 探索された結果が表示されます。

ルートを確認する

案内中のルートを確認することができます。

1 [メニュー] をタッチする

▼

●「検索1画面」が表示されます。

2 [ルート確認] をタッチする

▼

●「ルート確認画面」が表示されます。

[探索条件]：ルート探索条件を変更して、ルートの探索を行います。(→P50)「探索条件を変更して再探索する」

[立寄地設定]：立ち寄る場所を追加・変更します。(→P63)「立寄地を設定する」

[ルート登録]：探索したルートを登録します。(→P61)「ルートを登録する」

ルートを登録する

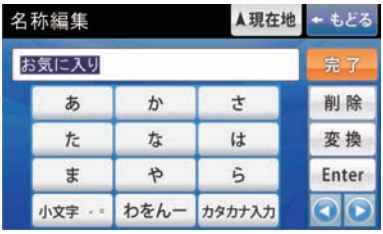
案内中のルートを100件まで登録できます。

1 「ルート確認画面」で [ルート登録] をタッチする

2 [名称編集] をタッチして、名称を入力する

▼

●「名称編集画面」が表示されます。



▼

● 文字入力の方法については、(→P28)「文字の入力」を参照してください。

3 [完了] をタッチする

4 [登録] をタッチする

● ルートが登録されます。

● 登録したルートで探索を行なう方法については、(→P49)「登録ルートを使って探索する」を参照してください。

ルートを消去する

案内中のルートを消去することができます。

1 [メニュー] をタッチする

▼

- 「検索1画面」が表示されます。

2 [ルート消去] をタッチする

▼

- 案内中のルートを消去するかどうかの確認ダイアログ画面が表示されます。

3 [OK] をタッチする

▼

- 案内中のルートが消去されます。

立寄地を設定する

立寄地を追加する

目的地までのルートが設定されているときに、ルート上に立ち寄る場所を追加することができます。立寄地を設定すると、立寄地を経由するルートを案内します。

1 [メニュー] をタッチして、検索から立寄地に設定する行き先を探す

名称で探す →P32
住所で探す →P33
電話番号で探す →P35
周辺の施設を探す →P36
ジャンルで探す →P37
るるぶDATAで探す →P38
登録地・自宅から探す →P43
検索履歴から探す →P45
マップコードで探す →P46

▼

- 選んだリストの地点を中心に **[地点確認画面]** が表示されます。
- 地図画面で立寄地を追加するには、（→P65）「地図を使って立寄地を設定する」を参照してください。

2 [立寄地にする] をタッチする

▼

- ルート探索がはじまり **[探索結果画面]** が表示されます。

メモ

出発地・立寄地周辺に有料道路がある場合は、確認ダイアログ画面が表示されます。**[有料道路]** または **[一般道路]** のどちらかを選びルートを設定します。

メモ

検索2メニューの自宅検索から立寄地を探索した場合は、立寄地ではなく目的地に設定されます。

立寄地は最大5つまで登録できます。登録した順に立寄地が追加されます。

ルート探索直後で誘導開始前に立寄地を追加することができます。詳しくは （→P51）「検索結果に立寄地を追加する」を参照してください。

立寄地を削除する

1 [メニュー] をタッチする

▼

- 「検索1画面」が表示されます。

2 [ルート確認] をタッチする

▼

- 「ルート確認画面」が表示されます。

3 [立寄地設定] をタッチする

▼

- 「立寄地設定画面」が表示されます。

4 削除する「立寄地」をタッチして選択する

- 選択した立寄地は青色で表示されます。

5 [削除] をタッチする

▼

- 選択された立寄地がリストから削除されます。

立寄地を並べ替える

設定した立寄地の順番を並べ替えることができます。

1 「立寄地設定画面」で並べ替える「立寄地」をタッチして選択する

- 選択された立寄地は青色で表示されます。

2 [↑] または [↓] をタッチする

▼

- 選択された立寄地の順番が変わります。

メモ

立寄地の削除または並べ替えを行った場合、**[立寄地追加]** の行はグレーになり、選択できなくなります。

地図を使って立寄地を設定する

ルート上に立ち寄る場所を追加して、立寄地を経由するルートを案内させることができます。立寄地の設定は、目的地までのルートが設定されているときに行うことができます。

1 地図画面で立寄地に設定する行き先を探す

2 [地点] をタッチする

3 [立寄地にする] をタッチする

▼

- ルート探索がはじまり **[探索結果画面]** が表示されます。

メモ

出発地・立寄地周辺に有料道路がある場合は、確認ダイアログ画面が表示されます。**[有料道路]** または **[一般道路]** のどちらかを選びルートを設定します。

自宅を立寄地に選んだ場合は、立寄地ではなく目的地に設定されます。

立寄地は最大5つまで登録できます。登録した順に立寄地が追加されます。

地点を登録する（登録地・自宅）

自宅やよく行く場所を（自宅1件、地点499件まで）登録しておくと、ルート設定などの操作が簡単になります。登録する地点は、名称、メモ、アイコンの情報を登録することができます。

1 登録したい地点を探す

地図画面で探す →P31
名称で探す →P32
住所で探す →P33
電話番号で探す →P35
周辺の施設を探す →P36
ジャンルで探す →P37
るるぶDATAで探す →P38
登録地から探す →P43
検索履歴から探す →P45
マップコードで探す →P46

2 [地点登録] をタッチする

- 地図画面で地点を探した場合は、地図画面の **[地点]** をタッチしてください。**[地点登録]** を含むポップアップメニューが表示されます。

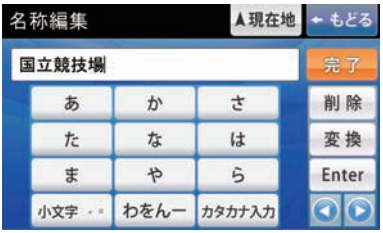
3 [名称編集] または [メモ編集] をタッチする

- 名称は全角20文字まで入力できます。メモは全角350文字まで入力できます。また、改行を入れることができます。

▼

- 入力画面が表示されます。

4 キーボードで名称またはメモを入力し、[Enter]をタッチする



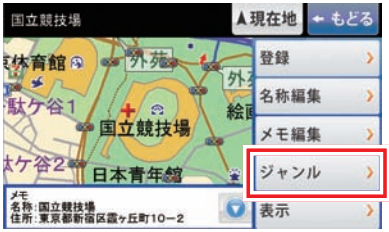
- 文字の下に点線が出ている状態で**[変換]**をタッチして、入力したい文字を表示します。文字を決定するには**[Enter]**をタッチしてください。
- キーボードの入力方法の詳細は、(→P32)「名称で探す」を参照してください。

5 [完了]をタッチする

▼

- 入力画面を閉じます。

6 [ジャンル]をタッチする



▼

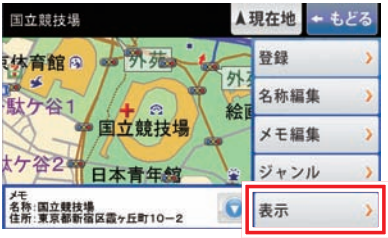
- ジャンルセレクト画面が表示されます。

7 「登録したい項目」をタッチする

▼

- ジャンルセレクト画面は、ジャンルの項目にタッチすると閉じます。
- 自宅を登録したい場合は、ここで「自宅」アイコンをタッチしてください。

8 [表示]または[非表示]をタッチする



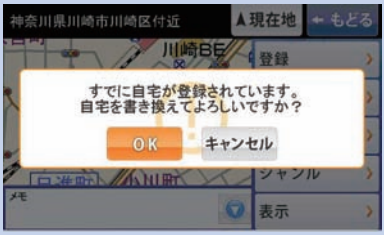
- 地図へのアイコンの表示／非表示を切り替えます。
  初回登録時は、非表示になっています。
- アイコンは、自宅1件と登録地50件まで表示できます。

9 [登録]をタッチする

- **[登録]**をタッチするまで、自宅または登録地として登録されません。登録しない場合は、「現在地」をタッチして地図に戻るか、「もどる」をタッチして前の画面に戻ってください。
- 同じ場所または近くの場所を登録しようすると「同じ名称のデータが存在します。別の名称に修正してください。」と出ることがあります。これは住所表記を名称として使っているためです。手順**4**を参照して名称を変更してください。

メモ

自宅が既に登録されている状態で自宅登録をする場合は、自宅を上書きするかの確認ダイアログ画面が表示されます。

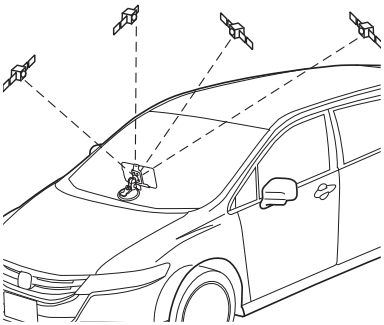


[OK]：自宅として登録します。元の自宅は、ALLジャンルに変更されます。
[キャンセル]：登録を中止し、登録地新規登録画面に戻ります。

地図を使って自宅を登録する

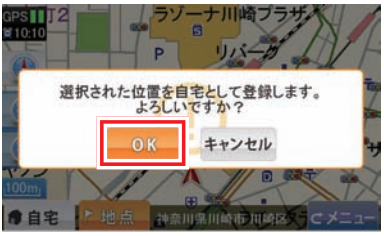
自宅を登録しておくと、自宅までのルート設定などの操作が簡単になります。以下の手順は、お買い上げ直後で、まだ自宅が登録されていない場合です。

1 上空の見晴らしの良いご自宅にできるだけ近い場所でGPSを受信する
（→P18）「GPS衛星の測位について」



2 [自宅] をタッチする

3 [OK] をタッチする



4 [登録] をタッチする

登録地を編集する

登録地を編集することができます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

3 [編集] をタッチする

4 [登録地編集] をタッチする

5 [編集] をタッチする

▼

- 「編集画面」が表示されます。

6 編集する登録地のあるジャンルタブをタッチする

- 「編集画面」を表示した直後は、[All] タブが表示されています。

7 編集する登録地をタッチする

8 編集する項目をタッチし、操作する

- 編集できる項目は、名称、メモ、ジャンルアイコン、ジャンルアイコンの地図表示／非表示です。
- 各項目の詳しい操作方法は、(→P65)「地点を登録する（登録地・自宅）」の手順 **3** から **8** を参照してください。

9 [現在地] をタッチする

▼

- 編集を終了します。

登録地を消去する

登録地を選んで消去する

不要になった登録地を消去できます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

3 [編集] をタッチする

4 [登録地編集] をタッチする

5 [消去] をタッチする

▼

- 「消去画面」が表示されます。

6 消去する登録地のあるジャンルタブをタッチする

7 消去する登録地をタッチする

- 選択された登録地は、名称の左側にチェックマークが付きます。
- 複数の登録地を選択すると、一度に複数の登録地を消去できます。

[全選択]：選択中のタブ内にある登録地をすべて選択します。
[全解除]：選択をすべて解除します。

メモ

選択中の登録地があるときに他のタブに切り替えると、選択した項目を解除しタブを切り替えるかどうかの確認ダイアログ画面が表示されます。
[OK]：選択した項目を解除して、他のタブに切り替えます。
[キャンセル]：選択した項目を解除せずに、元のタブを表示します。

8 [決定] をタッチする

▼

- 確認ダイアログ画面が表示されます。

9 [OK] をタッチする
[キャンセル]：消去を中止します。

▼

- 選択している登録地が消去されます。

登録地をすべて消去する

すべての登録地を一度に消去できます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

3 [編集] をタッチする

4 [登録地編集] をタッチする

5 [全消去] をタッチする

▼

- 確認ダイアログ画面が表示されます。

6 [OK] をタッチする
[キャンセル]：消去を中止します。

▼

- すべての登録地が消去されます。

登録ルートを編集する

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

3 [編集] をタッチする

4 [登録ルート編集] をタッチする

5 [編集] をタッチする

▼

● 「編集画面」が表示されます。

6 編集する登録ルートのあるモードタブをタッチする

7 編集する登録ルートをタッチする

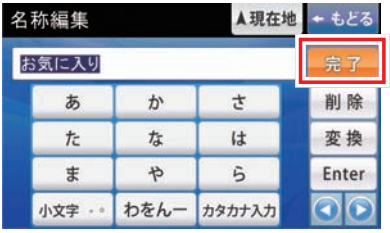
▼

● 登録ルート編集画面が表示されます。

8 [名称編集] をタッチし、入力する

● 編集できる項目は、名称のみです。

9 [完了] をタッチする



10 [現在地] をタッチする

▼

● 編集を終了します。

メモ

編集前は、登録時の年月日と目的地名称を、「年月日　目的地名称」とし、ルート登録されています。

登録ルートを消去する

登録ルートを選んで消去する

不要になった登録ルートを消去できます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

3 [編集] をタッチする

4 [登録ルート編集] をタッチする

5 [消去] をタッチする

▼

● 「消去画面」が表示されます。

6 消去する登録ルートのあるモードタブをタッチする

7 消去する登録ルートをタッチする

● 選択された登録ルートは、名称の左側にチェックマークが付きます。
● 複数の登録ルートを選択すると、一度に複数の登録ルートを消去できます。

[全選択]：選択中のタブ内にある登録ルートをすべて選択します。
[全解除]：選択をすべて解除します。

メモ

選択中の登録ルートがあるときに他のタブに切り替えると、選択した項目を解除しタブを切り替えるかどうかの確認ダイアログ画面が表示されます。
[OK]：他のタブに切り替えます。
[キャンセル]：元のタブを表示します。

8 [決定] をタッチする

▼

● 確認ダイアログ画面が表示されます。

9 [OK] をタッチする
[キャンセル]：消去を中止します。

▼

● 選択している登録ルートが消去されます。

登録ルートをすべて消去する

すべての登録ルートを一度に消去できます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

3 [編集] をタッチする

4 [登録ルート編集] をタッチする

5 [全消去] をタッチする

▼

● 確認ダイアログ画面が表示されます。

6 [OK] をタッチする
[キャンセル]：消去を中止します。

▼

● すべての登録地ルートが消去されます。

検索履歴を消去する

検索履歴を選んで消去する

不要になった検索履歴を消去できます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

3 [編集] をタッチする

4 [検索履歴消去] をタッチする

5 [消去] をタッチする

▼

- 「消去画面」が表示されます。

6 消去する検索履歴をタッチする

- 選択された検索履歴は、名称の左側にチェックマークが付きます。
- 複数の検索履歴を選択すると、一度に複数の検索履歴を消去できます。

[全選択]：検索履歴をすべて選択します。
[全解除]：選択をすべて解除します。

7 [決定] をタッチする

▼

- 確認ダイアログ画面が表示されます。

8 [OK] をタッチする
[キャンセル]：消去を中止します。

▼

- 選択している検索履歴が消去されます。

メモ

地点確認画面まで表示させた最新の検索履歴200件までを表示できます。200件を超えた場合、最も古い検索履歴から自動的に消去されます。

検索履歴をすべて消去する

すべての検索履歴を一度に消去できます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

3 [編集] をタッチする

4 [検索履歴消去] をタッチする

5 [全消去] をタッチする

▼

- 確認ダイアログ画面が表示されます。

6 [OK] をタッチする
[キャンセル]：消去を中止します。

▼

- すべての検索履歴が消去されます。

現在地を修正する

GPS衛星を受信していない場所で、事前の旅行計画などを立てる目的で、自車位置を変更できる機能です。
この機能とデモ走行を使うと旅先でルートを予め確認できます。

1 現在地に修正する場所を探し、その場所の地図を表示する

地図画面で探す →P31
名称で探す →P32
住所で探す →P33
電話番号で探す →P35
周辺の施設を探す →P36
ジャンルで探す →P37
登録地・自宅から探す →P43
検索履歴から探す →P45
マップコードで探す →P46

メモ

現在地修正に関しては、るるぶDATAからの設定はできません。

現在地を自宅に修正したい場合は、検索2メニュー[登録地]の自宅をタッチしてください。

2 [メニュー]をタッチする

3 [編集・設定]タブをタッチする

4 [設定]をタッチする

5 [現在地設定]をタッチする

▼

- 地図画面が表示されます。

6 自車位置を現在地画面に変更したい場所へカーソルを合わせる

7 [決定]をタッチする

▼

- 確認ダイアログ画面が表示されます。

8 [OK]をタッチする

[キャンセル]：現在地修正を中止します。

▼

- 現在地画面が表示されます。
  GPS信号を取得すると、現在地がその地点に移動します。

注意

室内などGPSが受信できない環境でご利用ください。GPSが受信状態になると、GPSが示す位置に自車位置が表示されます。

この機能はGPS衛星の誤作動や現在地のズレを修正する機能ではありません。

登録地を本体からmicroSDカードへコピーする

登録地の情報をmicroSDカードに送り、コピーすること（書き出し）ができます。
コピーは、本体内の登録地全件を対象とします。

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

3 [編集] をタッチする

4 [登録地編集] をタッチする

5 [SDカード書き出し] をタッチする

▼

- 「SDカード書き出し画面」が表示されます。

メモ

microSDカード内に既に登録地データがある場合はバックアップをとることをお勧めします。

6 書き出したい登録地を選んで [決定] をタッチする

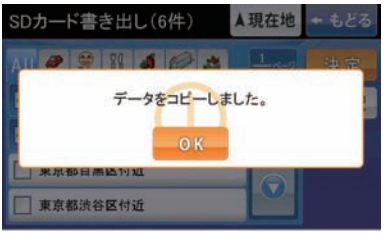
- microSDカードの中に上書きされる登録地データがある場合、確認ダイアログ画面が表示されます。
- 故障の原因となる可能性がありますので、コピー中はカードの抜き差しは行わないでください。

メモ

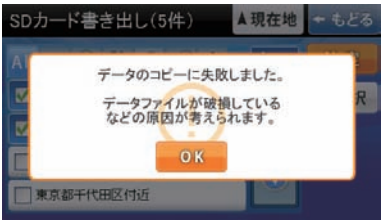
選択中の登録地があるときに他のタブに切り替えると、選択した項目を解除しタブを切り替えるかどうかの確認ダイアログ画面が表示されます。
[OK]：選択した項目を解除して、他のタブに切り替えます。
[キャンセル]：選択した項目を解除せずに、元のタブを表示します。

7 コピー結果が通知される

- microSDカードに登録地がコピーされた場合



- microSDカードに登録地がコピーされなかった場合



登録地をmicroSDカードから本体へコピーする

microSDカードに保存した登録地の情報をコピーすること（読み込み）ができます。
コピーは、microSDカード内の登録地全件を対象とします。また、本体に保存されている登録地への上書きは行いません。

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

3 [編集] をタッチする

4 [登録地編集] をタッチする

5 [SDカード読み込み] をタッチする

▼

- 「SDカード読み込み画面」が表示されます。

6 読み込みたい登録地を選んで [決定] をタッチする

- 故障の原因となる可能性がありますので、コピー中はカードの抜き差しは行わないでください。

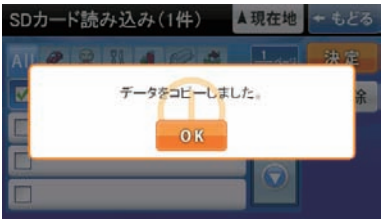
メモ

選択中の登録ルートがあるときに他のタブに切り替えると、選択した項目を解除しタブを切り替えるかどうかの確認ダイアログ画面が表示されます。
[OK]：他のタブに切り替えます。
[キャンセル]：元のタブを表示します。

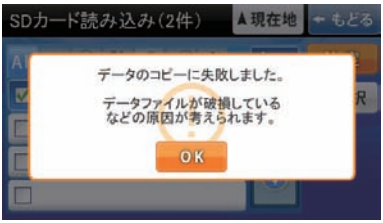
microSDカードに保存されている登録地データは1,000件までリスト上に表示し、そのうち500件（自宅含む）まで本体にコピーすることが可能です。

7 コピー結果が通知される

- 本体に登録地がコピーされた場合



- 本体に登録地がコピーされなかった場合



登録ルートを本体からmicroSDカードへコピーする

登録ルートの情報をmicroSDカードに送り、コピーすること（書き出し）ができます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

3 [編集] をタッチする

4 [登録ルート編集] をタッチする

5 [SDカード書き出し] をタッチする

▼

- 「SDカード書き出し画面」が表示されます。

6 書き出したい登録ルートを選んで [決定] をタッチする

- microSDカードの中に上書きされる登録ルートデータがある場合、確認ダイアログ画面が表示されます。

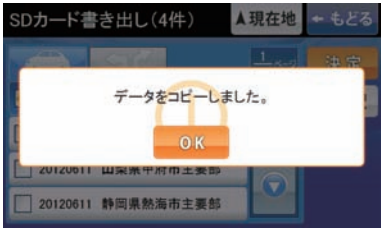
[はい]：登録ルートを上書きします。
[いいえ]：上書きをやめ、次のファイルのコピーに移ります。
[キャンセル]：コピーを中止し、「SDカード書き出し画面」に戻ります。
故障の原因となる可能性がありますので、コピー中はカードの抜き差しは行わないでください。

メモ

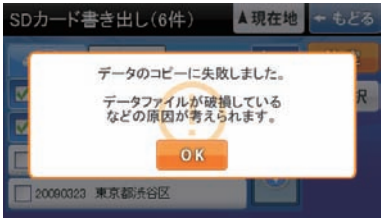
選択中の登録ルートがあるときに他のタブに切り替えると、選択した項目を解除しタブを切り替えるかどうかの確認ダイアログ画面が表示されます。
[OK]：他のタブに切り替えます。
[キャンセル]：元のタブを表示します。

7 コピー結果が通知される

- microSDカードに登録ルートがコピーされた場合



- microSDカードに登録ルートがコピーされなかった場合



メモ

microSDカード内に既に登録ルートデータがある場合はバックアップをとることをお勧めします。

登録ルートをmicroSDカードから本体へコピーする

microSDカードに保存した登録ルートの情報をコピーすること(読み込み)ができます。

1 [メニュー]をタッチする

2 [編集・設定]タブをタッチする

3 [編集]をタッチする

4 [登録ルート編集]をタッチする

5 [SDカード読み込み]をタッチする

▼

- 「SDカード読み込み画面」が表示されます。

6 読み込みたい登録地を選んで[決定]をタッチする

- 故障の原因となる可能性がありますので、コピー中はカードの抜き差しは行わないでください。

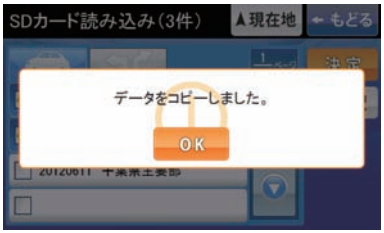
メモ

選択中の登録ルートがあるときに他のタブに切り替えると、選択した項目を解除しタブを切り替えるかどうかの確認ダイアログ画面が表示されます。
[OK]：他のタブに切り替えます。
[キャンセル]：元のタブを表示します。

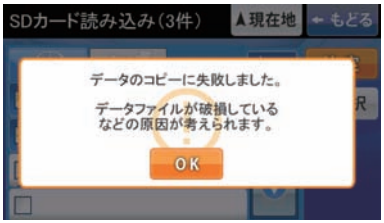
microSDカードに保存されている登録ルートデータは200件までリスト上に表示し、そのうち100件まで本体にコピーすることが可能です。

7 コピー結果が通知される

- 本体に登録ルートがコピーされた場合



- 本体に登録ルートがコピーされなかった場合



microSDカードを使ったデータの移動について

登録地

登録地データをmicroSDカードへ書き出す場合、メモ内容、案内地点緯度経度、地図表示設定などの内容は出力されません。

一度microSDカードへ書き出した登録地データを再度本体へコピーした場合、microSDカード内の登録地データの各内容がそのまま本体に上書きされます。(microSDカードへ書き出した状態のまま本体のデータを上書きすると、メモ内容などの情報が無い状態で上書きされます。)

登録ルート

登録ルートデータをmicroSDカードへ書き出す場合、案内地点緯度経度などの内容は出力されません。

一度microSDカードへ書き出した登録ルートデータを再度本体へコピーした場合、microSDカード内の登録ルートデータの各内容がそのまま本体に上書きされます。(microSDカードへ書き出した状態のまま本体のデータを上書きすると、案内地点緯度経度などの情報が無い状態で上書きされます。)

メモ

本体からmicroSDカードへ書き出したデータはいかなる場合でも商用を目的としたデータの転用は一切禁止します。

「案内地点緯度経度」とは、建物などの場所の緯度経度とは別に、実際に誘導する際に利用する緯度経度のことです。大規模な施設等に利用しています。

6. ナビ設定

ナビ設定について

メニューの「設定」を使い、用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。

メモ

ナビ設定では、項目を選んだ時点でその項目の内容で設定されます。

[現在地] をタッチすると、それまでに設定された内容で「現在地画面」に戻ります。

[もどる] をタッチすると、前の画面に戻ります。変更した設定内容は保存されます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

3 [設定] をタッチする

▼

- 「設定1画面」が表示されます。「設定2画面」に切り替えるには、**[設定2]** タブをタッチします。

設定1画面（P79 ～ P84）

設定2画面（P84 ～ P87）

ルート探索条件の設定を変更する

標準モードと方面表示モードのルート探索の設定を変更できます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [ルート設定] をタッチする

5 設定を変更するモードタブをタッチする

- 「ルート設定画面」が表示され、各項目の右端に選択中の設定が表示されます。

6 [探索条件] をタッチし、「探索条件画面」から設定する項目をタッチする

[標準]：標準的な探索条件でルートが探索されます。（※ご購入時の設定です。）
[距離優先]：距離を優先してルートが探索されます。
[主要道路優先]：主要道路を優先してルートが探索されます。
[有料回避]：有料道路を極力回避してルートが探索されます。

7 [現在地] または [もどる] をタッチする

▼

- 設定を終了します。

地図の設定を変更する

地図の配色と地図表示の向きを変更できます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

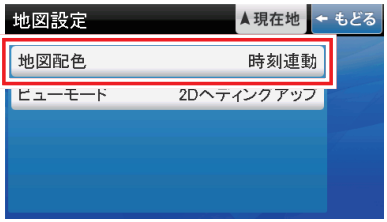
3 [設定] をタッチする

4 [地図設定] をタッチする

▼

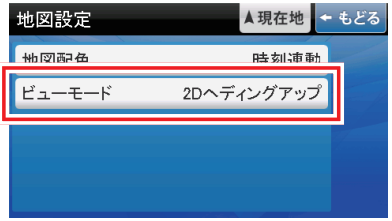
● 「地図設定画面」が表示され、各項目の右端に選択中の設定が表示されます。

5 [地図配色] をタッチし、「地図配色画面」から設定する項目をタッチする



[時刻連動]：日の出時刻と日の入り時刻で自動的に配色を切り替えて、時刻に適した配色で表示します。(※ご購入時の設定です。)
[昼]：昼の移動に適した配色で表示します。
[夜]：夜の移動に適した配色で表示します。
[屋外]：明るい屋外の移動に適した配色で表示します。

6 [ビューモード] をタッチし、「ビューモード画面」から設定する項目をタッチする



[2Dヘディングアップ]：進行方向が常に上になるように地図が自動回転します。(※ご購入時の設定です。)
[2Dノースアップ]：北が常に上になるように地図が表示されます。
[3D]：進行方向が常に上になるように地図が回転し、斜め上から見下ろしたように表示します。

7 [現在地] または [もどる] をタッチする

▼

● 設定を終了します。

メモ

「2Dヘディングアップ」の設定で、ルート誘導中に地図をスクロールした場合はスクロール開始時の表示方向で固定したままスクロールします。
[現在地] をタッチしてルート誘導画面に戻ると、ヘディングアップで表示します。

地図のアイコン表示を変更する

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

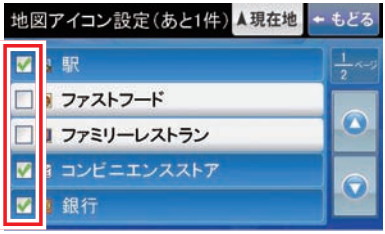
3 [設定] をタッチする

4 [地図アイコン設定] をタッチする

▼

- 「地図アイコン設定画面」が表示されます。

5 地図上に表示したいアイコンの行をタッチする



- 選択中のアイコンの行は青く表示され、チェックボックスにチェックマークが表示されます。
- 表示するアイコンを4つまで設定できます。

6 [現在地] または [もどる] をタッチする

▼

- 設定を終了します。

メモ

ご購入時、「ガソリンスタンド」と「コンビニエンスストア」が選択されています。

選択できるアイコンは4つまでです。すでにアイコンを4つ選んでいるときは、不要なアイコンのチェックをはずしてから他のアイコンを選んでください。

走行軌跡設定を変更する

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

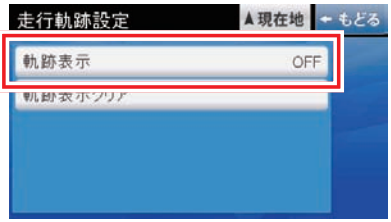
3 [設定] をタッチする

4 [走行軌跡設定] をタッチする

▼

- 「走行軌跡設定画面」が表示され、各項目の右端に選択中の設定が表示されます。

5 [軌跡表示] をタッチし、[ON] または [OFF] にする



[ON]：走行軌跡を表示します。
[OFF]：走行軌跡を表示しません。(※ご購入時の設定です。)

6 [現在地] または [もどる] をタッチする

▼

- 設定を終了します。

メモ

スケール表示が5km以上の場合、走行軌跡は表示されません。

走行軌跡を消去する

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

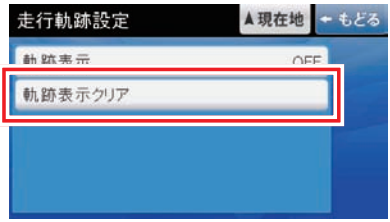
3 [設定] をタッチする

4 [走行軌跡設定] をタッチする

▼

● 「走行軌跡設定画面」が表示されます。

5 [軌跡表示クリア] をタッチする



▼

● 確認ダイアログ画面が表示されます。

6 [OK] をタッチする

[キャンセル]：消去を中止します。

▼

● 走行軌跡を消去します。

メモ

古い走行軌跡は上書きされます。

現在地を修正する

GPS衛星を受信していない場所で、事前の旅行計画などを立てる目的で、自車位置を変更できる機能です。

1 現在地に修正する場所を探し、その場所の地図を表示する

地図画面で探す →P31
名称で探す →P32
住所で探す →P33
電話番号で探す →P35
周辺の施設を探す →P36
ジャンルで探す →P37
るるぶDATAで探す →P38
登録地・自宅から探す →P43
検索履歴から探す →P45
マップコードで探す →P46

メモ

現在地修正に関しては、るるぶDATAからの設定はできません。

現在地を自宅に修正したい場合は、検索2メニュー [登録地] の自宅をタッチしてください。

2 [メニュー] をタッチする

3 [編集・設定] タブをタッチする

4 [設定] をタッチする

5 [現在地設定] をタッチする

▼

● 地図画面が表示されます。

6 自車位置を現在地画面に変更したい場所へカーソルを合わせる

7 [決定] をタッチする

▼

● 確認ダイアログ画面が表示されます。

8 [OK] をタッチする

[キャンセル]：現在地修正を中止します。

▼

● 現在地画面が表示されます。
GPS信号を取得すると、現在地がその地点に移動します。

注意

室内などGPSが受信できない環境でご利用ください。GPSが受信状態になると、GPSが示す位置に自車位置が表示されます。

この機能はGPS衛星の誤作動や現在地のズレを修正する機能ではありません。

オービス設定を変更する

地図上に自動速度違反取締装置（オービス）の設置地点を表示し、またオービス設置地点に近づくと警告音を鳴らすことができるようになります。

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [オービス設定] をタッチする

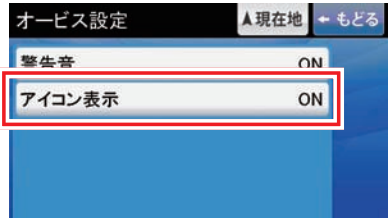
▼

● 「オービス設定画面」が表示されます。

5 [警告音] をタッチし、「警告音画面」から [ON] または [OFF] にする

[ON]：警告音が鳴ります。（※ご購入時の設定です。）
[OFF]：警告音が鳴りません。

6 [アイコン表示] をタッチし、「アイコン表示画面」から [ON] または [OFF] にする



[ON]：アイコンが表示されます。（※ご購入時の設定です。）
[OFF]：アイコンが表示されません。

7 [現在地] または [もどる] をタッチする

▼

● 設定を終了します。

メモ

本製品は2011年12月末時点でOPTION/SSR 委員会が確認したオービス情報を収録しています。

本製品には、全てのオービスポイントが収録されているわけではありません。

走行速度、音声案内のタイミング、マップマッチング等の状況により、オービスポイントを表示していても、アラーム音が全く鳴らなかったりアラーム音が3回鳴らない場合もあります。

走行する場所やマップマッチング等の状況により、走行する道路上にオービスが無くても、アラーム音がなることがあります。

本製品に収録されているオービスポイントは、2012年春時点の地図に合わせて整備されています。お使いいただいている地図のバージョンによっては、オービスの位置が正しく表示されず、アラーム音も実際の位置と違う場所で鳴る場合があります。

ねずみ捕り目撃ポイントについて

本製品には一部のねずみ捕り目撃ポイントが収録されています。
ねずみ捕り目撃ポイントのマーク表示はされませんが、一般道ではポイントの約1.5km手前で高速道路では約2km手前で、「この先、道路標識に従って走行してください。」というアナウンスが流れます。

お問い合わせ：
新規オービスの設置情報に関するお問い合わせは下記にお願いします。

株式会社三栄書房OPTION/SSR 委員会
メールアドレス：orbis@san-eishobo.co.jp

GPSの測位状態を確認する

GPSの測位状態（受信レベル、高度、緯度、方向、速度、経度）を表示します。

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

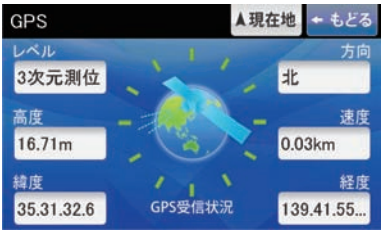
3 [設定] をタッチする

4 [設定2] タブをタッチする

5 [GPS] をタッチする

▼

●「GPS画面」が表示されます。



メモ

通常は電源を入れてから、数分でGPS衛星の測位をおこない現在地を表示します。しかし、初めてお使いになるときや長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに10～20分程度かかる事があります。現在地が表示されるまで移動しないでください。

電波状況が悪い状態では、GPS衛星の測位に時間がかかる場合があります。その場合、屋外の見晴らしのよいところに移動してください。

ソフトウェアのバージョンを確認する

収録されているアプリケーションや地図のバージョンを確認できます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [設定2] タブをタッチする

5 [バージョン情報] をタッチする

▼

●「バージョン情報画面」が表示されます。

設定をご購入時の状態に戻す

ルート設定、地図設定、地図アイコン設定、走行軌跡設定の内容を一度にご購入時の状態に戻します。

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [設定2] タブをタッチする

5 [設定初期化] をタッチする

▼

● 確認ダイアログ画面が表示されます。

6 [OK] をタッチする
[キャンセル]：初期化を中止します。

▼

● 設定を終了します。

メモ

「ナビ設定画面」で設定したすべての項目がご購入時の状態に戻ります。

デモモードでルート誘導の表示方法を確認する

デモモードで確認できるルート誘導は、あらかじめインストールされているルートのデータが使用されます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

3 [設定] をタッチする

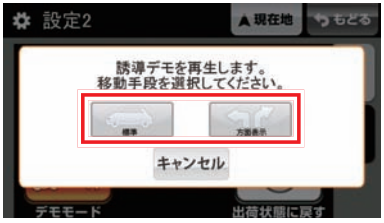
4 [設定2] タブをタッチする

5 [デモモード] をタッチする

▼

- デモンストレーションする「表示方法」を選ぶ画面が表示されます。

6 「表示方法」をタッチする



▼

- サンプルとしてあらかじめ登録された現在地と目的地でデモンストレーションを開始します。**[×終了]** をタッチするまで繰り返しデモンストレーションを行ないます。

7 [×終了] をタッチする

▼

- デモ走行を中止します。

メモ

手順 **6** で選択した移動手段は、デモモード終了後もそのまま維持されます。

設定を出荷状態に戻す

すべての登録データを消去し、各設定を初期化して出荷状態に戻します。

1 [メニュー] をタッチする

2 [編集・設定] タブをタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [設定2] タブをタッチする

5 [出荷状態に戻す] をタッチする

▼

- 確認ダイアログ画面が表示されます。

6 [OK] をタッチする

[キャンセル]：「出荷状態に戻す」を中止します。

▼

- マルチメディアメニュー画面が表示されます。

7 [戻る] をタッチする

▼

- ナビゲーションの起動画面が表示されます。

メモ

手順**6**で「OK」をタッチすると、ナビゲーションの登録データを消去します。

7. ナビゲーションについて

ナビゲーションのしくみ

GPSによる測位について

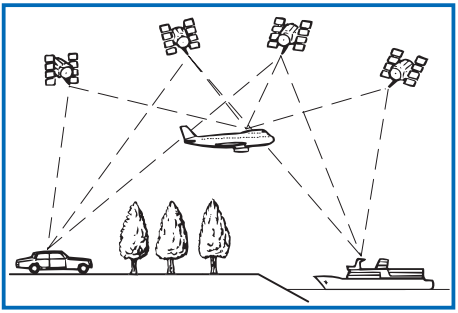
GPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）とは、GPS衛星からの位置測位用電波を受信して、現在地を測位することができるようにするシステムのことです。また、その測位した現在地データを利用して地図上に現在地を表示し、行き先を案内するのがナビゲーションになります。

GPS信号の利用について

マップマッチングや自車の移動速度の判定、GPSアンテナの表示などをするにあたり、GPSの測位情報とともにGPS信号の信頼度も利用しています。

受信状態の表記

〈GPS信号の受信状態例〉

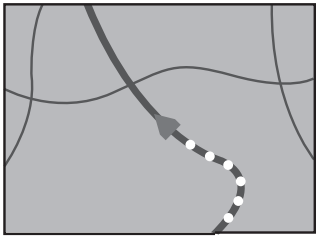


種類	内容
3次元測位 GPS	GPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度·経度·高度の3次元で測位できる。
2次元測位 GPS	GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の2次元で測位する。高度は測位できないため、3次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなる。
未取得 GPS	GPS衛星の電波を受信できていない。

マップマッチングについて

GPS衛星から受ける電波の状態や周りの遮蔽物により現在地の測位に誤差が生じることがあります。このために、自車（現在地）が道路でない場所を走行しているように見えることがあります。このようなことがおこった場合に、自車（現在地）を近くの道路に戻す機能をマップマッチングと呼びます。

マップマッチングしている場合



誤差について

次のような状況のときは、誤差が大きくなることがあります。

GPS測位不可による誤差

- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。

トンネルの中やビルの駐車場

2層構造の高速道路の下

高層ビルの群集地帯

密集した樹木の間

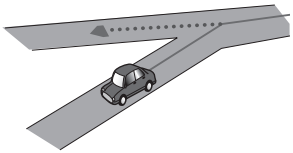
- 他の電波の影響により、GPS衛星の電波を正しく受信できなくなることがあります。
  ※高出力のUHF無線機が使われている。
  ※56ch（UHF）を車内のテレビで受信している。
  ※GPS受信アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。

GPS衛星自体による誤差

- GPS衛星はアメリカ合衆国によりGPS衛星の運用は管理されています。したがって、意図的にずれたデータを送信したり、衛星の運用が休止されることがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 捕捉（受信）できる衛星の数が少ないときは、2次元測位となり、誤差が大きくなります。

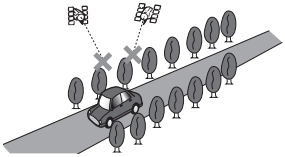
その他の誤差について

- 角度の小さなY字路を走った場合。

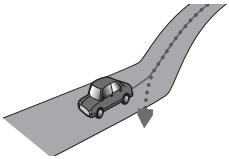


- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。

- GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合。

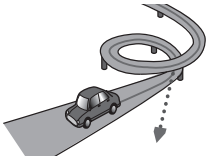


- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。

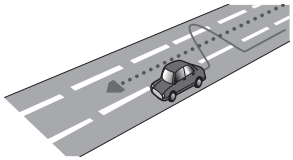


- ヘアピンカーブが続いた場合。

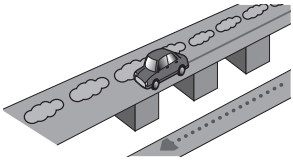
- ループ橋などを通った場合。



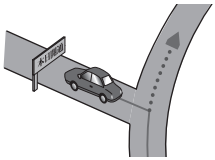
- 蛇行運転をした場合。



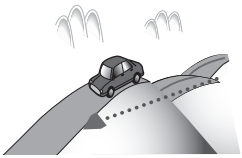
- 道路が近接している場合（有料道路と側道など）。



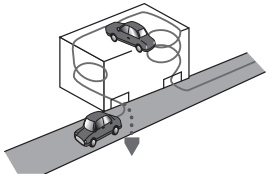
- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



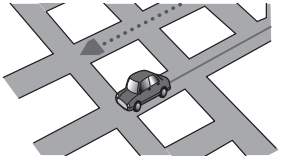
- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。



- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



- 碁盤の目状の道路を走った場合。



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。

ルート案内時のご注意事項

- 高速道路など上下線が並行している場所において、まれに自車が走行しているのとは反対の車線に表示され、進行方向とは逆方向にルートを引いてしまうことがあります。
  これは、GPS信号の受信状況により測位誤差が大きくなり、マップマッチングの結果、反対車線に自車がいるものと判断されるために発生するものです。
  受信状況が悪いまま、あるいはマップマッチング動作の状態により、この問題が継続的に発生し続けて逆方向へのリルートが連続して発生することがあります。
  こうした状況も受信状況の改善、あるいは高速道路を下りるなど、周囲環境の変化で自動的に修正されます。
  この問題はシステム上の限界で、発生を完全に抑えることは不可能です。
  万が一、このような状況に遭遇しましても、実際の交通規制、道路標識等に従い、慌てず運転をするようにしてください。

注意事項

- ナビゲーションソフト内のファイルを編集すると、保証対象外となります。

収録されている地図情報について

場所を探すベースとなっているデータによっては、表示されるポイント（位置）が実際のポイントと離れている場合があります。

検索のデータについて

- 検索のデータとして、「日本ソフト販売（株）」の「Bellemax」のデータが収録されています。
- 検索のデータとして、「株式会社JTBパブリッシング」の「るるぶDATA」のデータが収録されています。
- これらのコンテンツ等に含まれるスポット情報やイベント情報は、施設の都合などで内容が変更されている場合がございます。料金・日程・時間など、最新の情報をお知りになりたい場合には、事前に各問合わせ先にご確認されることをお薦めいたします。

アイコン表示について

- アイコンが表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

ルートに関する注意事項

ルート探索の仕様

- ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時間規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「午後」に通行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。移動するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます（本州～北海道などのフェリーが運行されている場合には、航路を使うルートが探索されます）。

- 長距離のルート探索を行う場合は、探索に時間がかかります。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。

ルート探索のしかた

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を誘導するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに設定してください。
- 有料道路回避では、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- 場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点」付近に立寄地を設定してみてください。

ルートの道塗りについて

- 道路形状によっては、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、立寄地の前後では道塗りされない場合があります。

音声案内について

- 有料道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口施設」と「料金所」は音声案内されないことがあります。

取扱説明書内の画像について

- 説明書内の画像は、イメージです。実際に本機を操作した際に表示される画像と詳細の表示が異なる場合があります。

オートリルートについて

- リルートする場合、ルートをはずれた地点を出発地とするルート探索を行います。
- 目的地、立寄地付近の時間規制がある場合は、規制を無視するルートを引く場合があります。

地図データについて

- この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第44 条に基づく成果使用承認 06 － 041)〔2011 年3 月発行データ使用〕
- この地図の作成にあたっては、測量法第44条または著作権法に基づき、各団体の承認を得て、各々の発行した都市計画図を使用しました。
- この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の1/2,500国土基本図を使用したものである。(承認番号) 小田原市指令第52号 平成10年4月2日承認
- この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2500分の1都市計画図を使用したものである。平成12年 養建第1902号
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画基本図を使用したものである。(測量法第44条に基づく成果使用承認 平成12年度 知都発第170号)
- この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の1/2,500 全図を使用し、調製したものである。(承認番号)平10. 近公. 第34 号
- この地図は大木町長の承認を得て、同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調製したものです。(承認番号 15大木建第734号)
- この地図は、堀金村長の承認を得て1/2,500の都市計画図を参照して作成したものです。(承認番号 16堀第5417号)
- この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図1/2,500を使用し、調製したものである。(承認番号 東開第111号 平成18年2月28日承認)
- この地図は、伊香保町長の承認を得て平成7年度作成の10,000分の1の白図を使用し、調製したものです。(承認番号 伊建農発229号 平成17年7月14日承認)
- この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものである。(承認番号:18東デ共041号)
- この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものである。(承認番号) 18都市基交第478号

- この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画（1/2,500）を使用して調製したものです。（承認番号 平成17年津山市使用承認第5号）
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。（承認番号 指令宇都第13号 平成18年5月15日承認）
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。（承認番号 指令宇都第14号 平成18年5月31日承認）
- この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものである。（承認番号 周防建設第56号 平成18年5月12日承認）
- この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図1/10,000及び東かがわ市都市計画図1/2,500を使用して調製したものである。（承認番号平成18年5月2日18建第107号）
- この測量の成果は、東温市長の承認により、平成17年3月作成の東温市都市計画図を使用して得たものである。（承認番号 H18東温都第174号）
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。（承認番号 林振第350号 平成18年9月19日承認）
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。（承認番号 林振第611号 平成19年2月28日承認）
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。承認番号 平成19年3月7日 指令水緑-1258
- この地図は、山形県の森林基本図を複製したものである。承認番号森第18-10号
- この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図1/10,000を使用して調製したものである。（長都政第477号 平成18年3月28日承認）
- この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。使用承認 平成19年3月1日 森整第1561号
- この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものである。（承認番号 18森政第5-5号）
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。（承認番号 平成18年11月24日付け森第1286号）
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。（承認番号 平成19年2月27日付け森第1736号）
- この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。（広島県使用承認林振第115号 平成19年2月15日承認）
- この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。（承認番号 林振第484号 平成19年1月30日承認）
- この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。（承認番号 森整第010634号 平成18年10月4日承認）
- この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図（1/5,000）を使用し調製したものである。{承認番号 18林第492号（平成18年10月6日）
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。（承認番号 森整第993号・平成19年2月14日）
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。（承認番号 森整第1079号・平成19年3月7日）
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。（承認番号林18-1 平成18年12月5日）
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。（承認番号林18-2 平成19年3月7日）
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。（承認番号 使18-1号 平成18年12月8日）
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。（承認番号 使18-3号 平成19年3月8日）
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。（承認番号 平18 林振第360号）
- この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の1/5,000全図を使用し、調製したものである。（承認番号）平成18年5月26日知耕第590号

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用した。(承認番号　平23情使、第43号-14号)
- この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の5千分の1森林基本図を使用しました。(測量法第44条第3項の規定に基づく成果使用承認　平成19年8月8日付、承認番号林政19-482号、茨城県林政課長)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。(承認番号 平成18年11月30日 指令水緑-947)
- この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の10000分の1の全図を使用し、作成したものである。(承認番号 笛まち第12-25号 平成19年12月13日承認)
- この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ(18国地部公発第334号)を使用したものである。(承認番号 情企第590号 平成20年3月24日承認)
- この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものである。(承認番号 平成19年2月14日付け18高森推第568号)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平19 林振第404号)
- この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成19年度臨港道路竣工平面図を複製したものである。(承認番号) 平21樽港事第33号
- この地図は、森林計画室長の承認を得て静岡県作成の5000分の1の森林基本図を複製したものである。(承認番号) 平成21年森計第477号
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平18 林振第497号)
- この地図は、東根市長の承諾を得て同市保管の東根市道路台帳図を使用し、調製したものである。(承認番号 東建収第8号 平成21年5月27日承認)
- この地図は幕別町長の承認を得て、同町発行の2千5百分の1幕別町現況図を使用し、調整したものである。(承認番号) H22　幕都計第185号
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。(承認番号　国地企調第180号 平成22年9月28日)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号　平19　林振第246号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用した。(承認番号　平23情使、第283号-14号)
- この地図は、田原市長の承認を得て、同市発行の都市計画図を使用して作成したものである。(承認番号) 23田街第55号

注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、2011年9月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。
- 本品に使用している交通規制データを無断で複写・複製・加工・改変する事は出来ません。

注意事項

- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車、歩行者等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

その他©記載

©2012.（財団法人）日本デジタル道路地図協会
©2012. INCREMENT P CORP.
©2012. JTB Publishing.

本製品には、AGG 2.4 Licenses が適用されるソフトウェアが含まれています。

当該ソフトウェアを、以下の条件により使用しております。

AGG 2.4 Licenses
Anti-Grain Geometry Public License
Anti-Grain Geometry - Version 2.4
Copyright ©2002-2004 Maxim
Shemanarev（McSeem）

Permission to copy, use, modify, sell and distribute this software is granted provided this copyright notice appears in all copies. This software is provided “as is” without express or implied warranty, and with no claim as to its suitability for any purpose.

Modifi ed BSD License
Anti-Grain Geometry - Version 2.4
Copyright ©2002-2005 Maxim
Shemanarev（McSeem）
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modifi cation, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specifi c prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPL IED WARRANTIES,INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES（INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PR OFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION）HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIAB ILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT（INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE）ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- libjpeg
  this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

9. テレビを視聴する

緊急警報放送について

緊急警報放送とは

大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。
本機能は、地上デジタル放送視聴時のみ有効な機能です。

緊急警報放送受信時の動作

本機は、視聴中の放送局で緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送のチャンネルに切り換わります。
緊急警報放送終了後は、視聴中のチャンネルに戻ります。

メモ

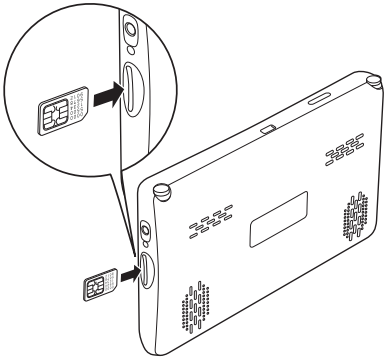
受信状態により視聴中のチャンネルに戻らない場合があります。

視聴するための準備

本機にて地デジまたはワンセグのテレビを見る前には、以下の準備を行ってください。
なお、これらの作業は本機を吸盤付きステーに取り付ける前におこなうことをお勧めします。

1 付属miniB-CASカードを挿入する

- miniB-CASカードは切れ込みが下側になるように挿入してください。



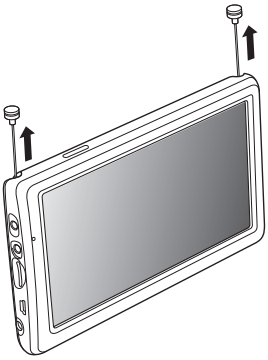
- miniB-CASの装着方法については、（→P112）「miniB-CASカードの取り付け」を参照してください。

メモ

miniB-CASを正しく装着していないと、本機で地デジテレビは見られません。ワンセグテレビのみの表示となります。

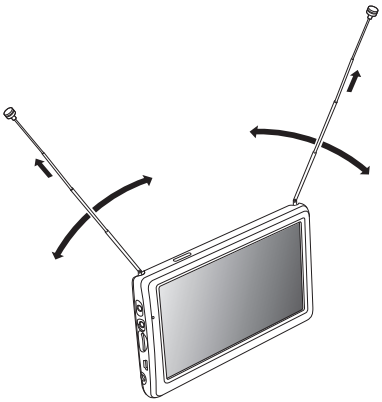
本機は、安全上の配慮から本機が走行中と判断すると警告が表示され、テレビは見られません。走行中は音声のみとなります。走行中に助手席の方がテレビを視聴される際には、システム設定の（→P131）「ユーザーモードを設定する」を参照して、ユーザーモードを「助手席」に設定してください。

2 テレビ用アンテナを伸ばす



- アンテナを引き出す時は、無理な力を加えないでください。アンテナが折れたり、曲がったりします。

▼



- テレビ用アンテナは最後まで確実に引き出してください。

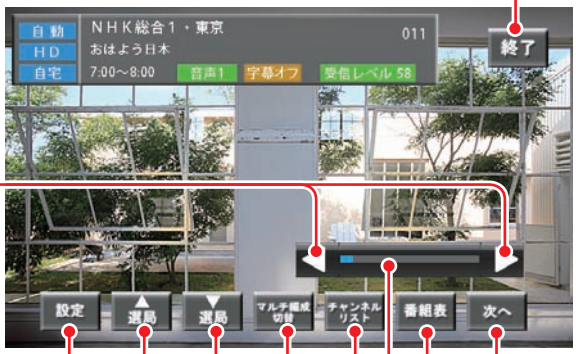
注意

テレビ用アンテナを目や顔に近づけたり、人に向けないでください。アンテナの先端に接触して、事故やけがの原因になることがあります。
アンテナを伸ばして使用するときは、周囲に十分に注意してください。

テレビ操作メニューについて

タッチパネルのどこかをタッチするとテレビ操作メニューが表示されます。
テレビの操作は全てこのテレビ操作メニューをタッチして行います。テレビの各メニューや警告画面もこのテレビ操作メニューをタッチして設定してください。

テレビ操作メニュー1



終了
テレビを終了し、マルチメディアメニューに戻るには、ここをタッチします。

音量▼/音量▲
音量を変更するときには、ここをタッチします。

設定
テレビ設定メニューを表示するには、ここをタッチします。

選局▲/選局▼
チャンネルを変更するときには、ここをタッチします。

マルチ編成切替
マルチチャンネルの、番組を切り替えるときにはここをタッチします。

チャンネルリスト
チャンネルリストを表示するときは、ここをタッチします。

次へ
「テレビ操作メニュー2」を表示するときには、ここをタッチします。

番組表
受信している局の番組表を見るときは、ここをタッチします。

音量表示
設定した音量が表示されます。また、ここをタッチしても音量の変更ができます。

テレビ操作メニュー 2

字幕表示
字幕がオンかオフかを表示します。

音声表示
放送番組の音声の状態を表示します。

放送局名表示
受信している放送局の名前と番組名を表示します。

受信モード表示
受信モードを表示します。

HD表示
HD放送を受信すると表示します。

移動先表示
移動先として「自宅」または「お出かけ」を表示します。

受信モード
地デジまたはワンセグにテレビの受信モードを変更するときに、ここをタッチします。

字幕
字幕を変更するときに、ここをタッチします。

受信レベル表示
受信している放送のレベルを表示します。

終了
テレビを終了し、マルチメディアメニューに戻るには、ここをタッチします。

前へ
「テレビ操作メニュー1」に戻るときに、ここをタッチします。

音声
番組で設定されている音声の中から選択したい音声に切り替えるときに、ここをタッチします。

テレビ設定メニュー

テレビ操作メニュー1の「設定」にタッチすると、テレビ設定メニュー画面が表示されます。

設定項目	設定内容
移動先設定	自宅/お出かけ
受信設定	地域設定/初期スキャン/再スキャン
機器設定	字幕/中継局サーチ
情報	B-CASテスト/バージョン情報/初期化

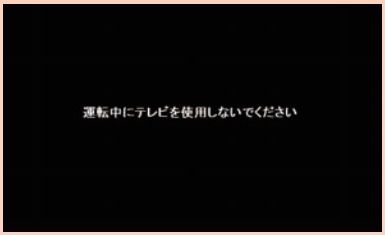
初めてテレビを視聴する

ご購入後最初に放送を受信するときは、お住まいの地域を指定して放送局を登録する必要があります。

注意

運転中にテレビの視聴や操作をしないでください。交通事故の原因となることがあります。

ユーザーモードが運転席に設定されていると、走行中は下記の表示が出てテレビは音声のみとなります。(P131)



メモ

テレビの操作や設定をする場合は、必ず画面のどこかをタッチして「テレビ操作メニュー」を表示させてからおこなってください。
また「テレビ操作メニュー」は表示させてから約10秒間で消えます。再度、表示させたい場合は、画面のどこかをタッチすれば表示します。

1 移動先の設定

[設定] をタッチする

2 [移動先設定] をタッチする

3 「自宅」または「お出かけ」をタッチし、[戻る] をタッチする

自宅： 普段使用する地域のチャンネルリストを保存設定できます。

お出かけ： 別の地域のチャンネルリストを「自宅」とは別に保存設定できます。

- 初めてテレビを視聴されるときは、「自宅」が選択されています。
- 選択されている移動先 (自宅またはお出かけ) を変更した場合、チャンネルリストを変更する確認画面が表示されます。

4 テレビを見る地域の設定

テレビ設定の [受信設定] をタッチする

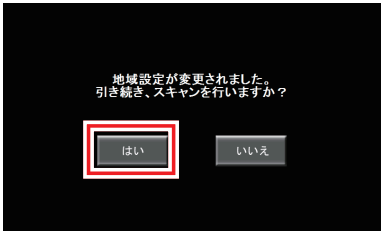
5 [地域設定] をタッチする

6 お住まいの「県域」→「地方」をタッチする

▼

- 初めてテレビを視聴されるときは、「東京」が選択されています。「東京」のままお使いの場合は、初期スキャンを行ってください。(→P109)

7 「はい」をタッチする

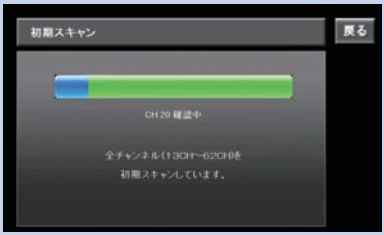


- 初期スキャンが始まります。
- スキャン終了後は、チャンネルリストにて一番上の局の放送が表示されます。

メモ

地域を設定していると、同じ放送局でも地域が違う複数の放送局がチャンネルリストに登録されているときに、地域に合った放送局がチャンネルリストの上位に表示されます。

設定したチャンネルを消去して新たにチャンネルを設定するには、「チャンネル設定」の「初期スキャン」で再度チャンネルを設定してください。



初期スキャンを行うと設定していたチャンネルは全て消去されます。設定したチャンネルを残したい場合は再スキャンを行ってください。(→P108)

設定した移動先は、「テレビの応用操作」の(→P108)「移動先を設定する」で変更ができます。

テレビを視聴する

1 地図画面の場合

画面左側に表示されている［マルチメディア］をタッチする

▼

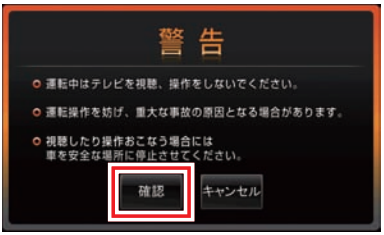
- マルチメディアメニューが表示されます。

2 ［テレビ］をタッチする

▼

- テレビ視聴の確認画面が表示されます。

3 ［確認］をタッチする



- テレビを視聴しないときは、**［キャンセル］**をタッチしてください。マルチメディアメニューに戻ります。
- ご購入後最初に放送を受信するときは、お住まいの地域を指定し、その後受信できる放送局をスキャンし、チャンネルリストに登録していきます。
- 前回受信した放送局がある場合は、その局を表示します。

テレビの終了方法

1 ［終了］をタッチする

▼

- マルチメディアメニューが表示されます。

音量を設定する

1 ［◀］/［▶］をタッチして音量を変更する

2 消音にするには、音量部分を最小にする

テレビ放送を見るには

テレビ視聴について

本機は、安全上の配慮からユーザーモード設定を**[運転席]**に設定してあります。(→P131)
※本機が走行中と判断すると警告が表示され、テレビは見られません。走行中は音声のみとなります。

チャンネルを選ぶ

1 [選局▲]/[選局▼]をタッチしてチャンネルを選ぶ

- タッチするごとに登録された放送局を順に受信します。

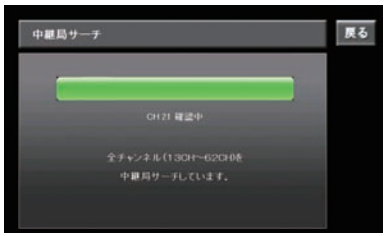
受信できなくなったときに自動で中継局を探す

視聴中のチャンネルが受信できなくなったとき、受信感度の強い中継局を自動で探して受信する「中継局サーチ」を行うことができます。

自動で中継局サーチ

本機能は、テレビ設定画面の「機器設定」で中継局サーチ(→P110)を「自動」に設定しているときに行われます。

しばらくすると自動で中継局をサーチ



- 中継局サーチは、受信できる中継局が見つかるまで繰り返し実行されます。
- 中継局サーチを「手動」に設定すると自動で中継サーチはおこなわれません。

マルチ編成の番組を切り替える

1つのチャンネルで複数の番組を放送しているマルチチャンネルにおいて、番組を切り替えることができます。

1 [マルチ編成切替] をタッチする

- [マルチ編成切替] をタッチするたびに番組が切り替わっていきます。

チャンネルリストを使ってチャンネルを切り替える

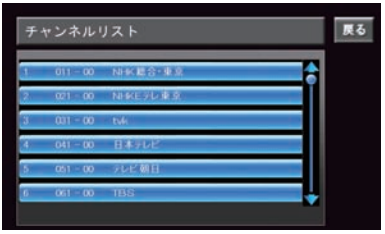
移動先設定の「自宅」または「お出かけ」に登録されているチャンネルを一覧表示して、チャンネルを切り替えます。

1 [チャンネルリスト] をタッチする

▼

- チャンネルリスト画面が表示されます。

2 チャンネルリストの視聴したい放送局名をタッチする



- 選んだ局の放送が表示されます。
- チャンネルを変更しない場合は、[戻る] をタッチしてください。
- チャンネルリストの表示中でも放送の音声は聴くことができます。

番組表を表示する

放送局から送られてくる番組表を見ることができます。

1 [番組表] をタッチする

▼

- 番組表が表示されます。

2 番組の詳細を表示するには番組名をタッチする

- 番組表は、視聴している時間帯の番組から表示されます。番組表が表示されている間は、定期的に更新されます。
- 初めて視聴するチャンネルでは表示されない場合があります。
  しばらく視聴を続けると、番組表が放送局よりダウンロードされ表示されるようになります。

3 放送の表示に戻るには、[戻る] をタッチする

テレビ操作メニューを切り替える

1 テレビ操作メニュー1の [次] をタッチする

▼

- テレビ操作メニュー2が表示されます。

2 テレビ操作メニュー2の [前] をタッチする

▼

- テレビ操作メニュー1が表示されます。

受信モードを切り替える

受信する放送を地上デジタル放送またはワンセグ放送に切り替えることができます。

1 [受信モード] をタッチする

- 受信モード表示にて、受信しているモードをお知らせします。

受信モード表示

▼

- 押すごとに受信モードが切り換わります。

自動：　電波の受信状態に応じて、地上デジタル放送（フルセグ）とワンセグ放送を切り換えます。
フルセグ：地上デジタル放送（フルセグ）のみを受信します。
ワンセグ：ワンセグ放送のみを受信します。

字幕の表示／非表示を切り替える

字幕放送をしている場合、字幕の表示／非表示を切り替えることができます。

1 [字幕] をタッチする

▼

- 押すごとに字幕の言語、表示／非表示を切り替えます。

字幕オン：字幕を表示します。
字幕オフ：字幕を表示しません。

メモ

視聴中の番組に設定した言語の字幕が無かった場合、字幕は表示されません。

音声を切り替える

視聴中の番組に複数の音声がある場合、音声を切り替えることができます。

1 [音声] をタッチする

▼

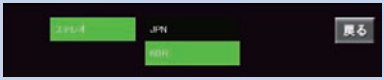
- **[音声]** をタッチするごとに、視聴している番組で設定されている音声が切り替わります。
- 画面上に選択した音声が表示されます。

メモ

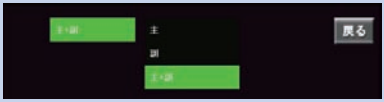
ワンセグおよびフルセグで放送番組の音声構成が異なる場合があります。ワンセグおよびフルセグそれぞれ受信中に音声設定をおこなってください。

■音声切り替え時の表示例：

フルセグ時：
複数の音声データが有る場合。

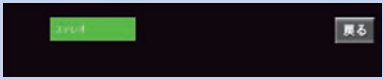


ワンセグ時：
複数の音声データが有る場合。



フルセグ時：
解説の音声データが有る場合。

ワンセグ・フルセグ共通：
複数の音声データが無い場合



上記は表示例ですので、実際の表示は受信している放送番組の音声構成で変わってきます。

テレビの応用操作

本機の設定を行う

テレビ操作メニューの **[設定]** をタッチするとテレビ設定の画面が表示されます。

1 タッチスクリーンのどこかをタッチする

- テレビ操作メニューが表示されます。

2 [設定] をタッチする

▼

- テレビ設定画面が表示されます。

3 設定種別（移動先設定・受信設定・機器設定・情報）を選択し、タッチする

- 設定種別に応じた設定項目が表示されます。

4 [戻る] で設定種別の変更やメニュー画面の表示を消す

- テレビ設定メニューは、一定時間操作を行わなかった場合、表示が消えます。

移動先を設定する

本機は、チャンネルリストを自宅（ご自宅周辺）、お出かけ（ご旅行先など）の2つに設定することができます。

1 [設定] をタッチする

- テレビ設定画面が表示されます。

2 [移動先設定] をタッチする

3 [自宅] または [お出かけ] をタッチする

自宅： ご自宅周辺
お出かけ： ご旅行先など

- 移動先（自宅またはお出かけ）を変更した場合、チャンネルリストを変更する確認画面が表示されます。
- 電源を入れ直したり、テレビを再選択すると、設定した「移動先（自宅またはお出かけ）」で最後に視聴していたチャンネルが選局されます。

メモ

選択した「移動先（自宅またはお出かけ）」で再スキャンまたは中継局サーチを行い、新しい放送局を受信した場合、選択した「移動先」のチャンネルリストにそれらの放送局は追加されます。

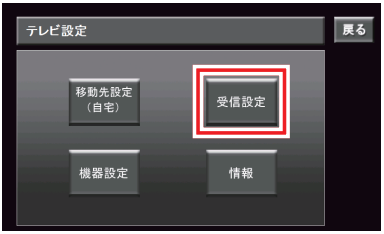
再スキャンを行う

新たに受信できた放送局を追加します。

1 [設定] をタッチする

- テレビ設定画面が表示されます。

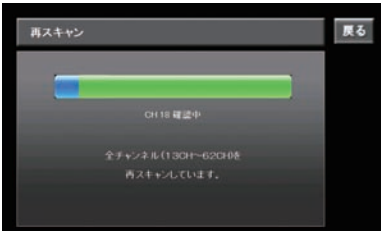
2 [受信設定] をタッチする



3 [再スキャン] をタッチする

- 再スキャンが開始されます。

▼



▼

- 再スキャン終了後は、チャンネルリストにて一番上の局の放送が表示されます。

● 再スキャンを行うと、既に登録してあったチャンネルは消去されず、新たにスキャンされたチャンネルが追加されます。

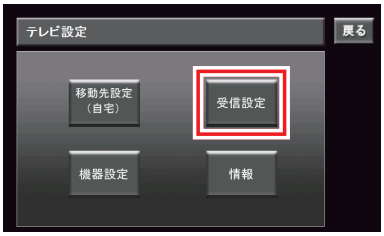
初期スキャンを行う

新たにチャンネルリストを作成します。

1 [設定] をタッチする

● テレビ設定画面が表示されます。

2 [受信設定] をタッチする



3 [初期スキャン] をタッチする

● 初期スキャンが開始されます

メモ

すでにチャンネルリストがある場合、初期スキャンを行うと、チャンネルリストは初期スキャン時に受信したチャンネルのみになります。既存のチャンネルリストを消したくない場合は、再スキャンを行ってください。

字幕の表示／非表示、言語設定をする

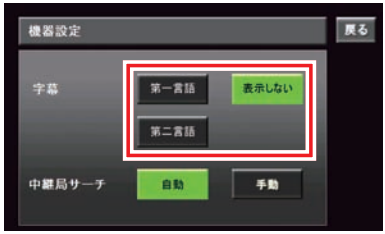
字幕の表示／非表示の設定を行うことができます。

1 [設定] をタッチする

● テレビ設定画面が表示されます。

2 [機器設定] をタッチする

3 「字幕」の項目を選択しタッチする



表示しない：字幕を表示しません。
第一言語：放送されている番組で設定されている第一言語を表示します。
第二言語：放送されている番組で設定されている第一言語を表示します。

● 視聴中の番組で設定した言語の字幕が無かった場合、字幕は表示されません。

中継局サーチの設定をする

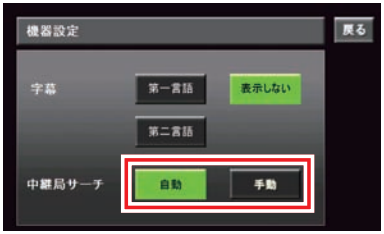
受信状況に応じて、最適な中継局を自動的にサーチする、しないを設定することができます。中継局サーチの操作方法は（→P103）「受信できなくなったときに自動で中継局を探す」を参照してください。

1 [設定] をタッチする

● テレビ設定画面が表示されます。

2 [機器設定] をタッチする

3 「中継局サーチ」の項目を選択しタッチする



自動：自動で中継局サーチを実行します。
手動：中継局サーチを実行しません。

メモ

[手動] を選択して信号が受信できなくなると、「中継局サーチを実行しますか？」と中継局サーチの確認画面が表示されます。

テレビのバージョンを表示する

テレビのバージョンを表示します。

1 [設定] をタッチする

● テレビ設定画面が表示されます。

2 [情報] をタッチする

▼

● 情報画面が表示されます。

miniB-CASカードの情報を表示する

本機に挿入されているminiB-CASカードの情報を表示します。

1 [設定] をタッチする

- テレビ設定画面が表示されます。

2 [情報] をタッチする

▼

- 情報画面が表示されます。

3 「B-CASテスト」の [実行] をタッチする

▼

- [実行] の下部にminiB-CASカードの情報が表示されます。

テレビの設定内容を初期化する

テレビの設定を工場出荷状態に戻します。

1 [メニュー] をタッチする

- テレビ設定画面が表示されます。

2 [情報] をタッチする

▼

- 情報画面が表示されます。

3 「初期化」の [工場出荷状態に戻す] をタッチする

▼

- 初期化最終確認画面が表示されます。

4 [はい] をタッチする

- テレビの設定内容が初期化されます。
- 初期化をしない場合は [いいえ] をタッチします。
- 設定初期化後は放送局を登録する画面になります。
- 放送局の登録のしかたは、（→P100）「初めてテレビを視聴する」を参照してください。

miniB-CASカードの取り付け

miniB-CASカード取扱上のご注意

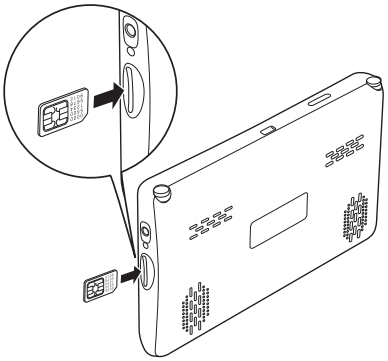
- ご使用中または保管中のminiB-CASカードは、紛失や盗難等に充分注意してください。もしも、他の人がお客様のminiB-CASカードを使用して有料番組を視聴すると、視聴料がお客様に請求されることがあります。
- miniB-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたり、熱を加えたり、水に浸けたりしないでください。
- miniB-CASカードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- miniB-CASカードの金属部分（集積回路）には手を触れ、水等で濡らさないでください。
- miniB-CASカードは、分解、加工しないでください。
- miniB-CASカード挿入口には、本機に付属しているminiB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- 本機ご使用中は、miniB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。万一、miniB-CASカードを抜く差し必要がある場合は、車のエンジンを切り、ACCもオフにした状態で、ゆっくりと抜いてください。
- miniB-CASカードにはIC（集積回路）が組み込まれているため、画面にminiB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、miniB-CASカードの抜き差しをしないでください。

miniB-CASカードの取り付けについて

付属のminiB-CASカードは地上デジタル放送の受信に必要です。常に本機に挿入してお使いください。
破損等によりminiB-CASカードの再発行が必要になった場合は（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにまでご連絡ください。（カスタマーセンター連絡先はB-CASカードにも記載されております。）
miniB-CASカードについてのお問い合わせは、以下の窓口にお願いします。

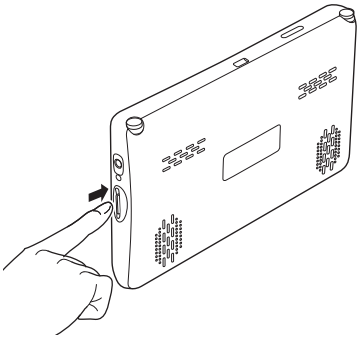
（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
カスタマーセンター　TEL：0570-000-250

1 miniB-CASカードは切れ込みが下側になるように挿入してください。



2 miniB-CASカードが固定されるまでカードを押す

- 無理にminiB-CASカードを押し込むと、本機またはminiB-CASカードを破損する恐れがあります。



注意

変形したり、傷ついたminiB-CASカードを本機に入れないでください。

miniB-CASカードにシールやテープなどを貼りつけないでください。

miniB-CASカードを押し込んだあと、指をすぐに離さないでください。
強く押し込んだ状態で指を離すと、miniB-CASカードが勢いよく飛び出す恐れがあり、破損や紛失の原因となることがあります。

3 miniB-CASカードを抜くには、mminiB-CASカードを奥までゆっくりと押し込み、出てきたminiB-CASカードを抜く

注意

miniB-CASカードが正しく挿入されていないと地デジテレビを見ることができません。したがって、一度挿入したminiB-CASカードは必要があるときのみ、取り出してください。

万一、miniB-CASカードが取り出せなくなったときは、無理に取り出そうとせずに、サポートセンターにお問い合わせください。

8. データ再生と設定

データの再生と本機の設定

バッテリー残量/充電表示

バッテリーの残量を表示します。

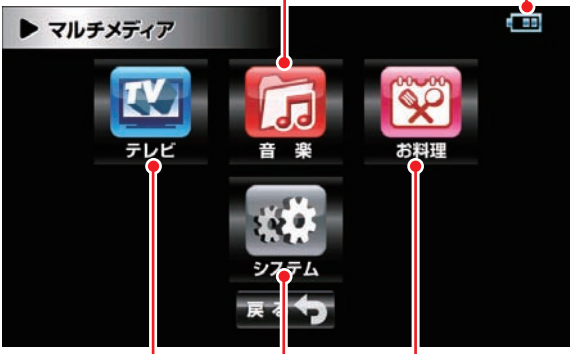
	電池の残量が不足しています。直ぐに充電を行ってください。
	充電中です。バッテリー残量表示が右から左に移動します。
	十分に充電されている状態です。

メモ

充電完了は、本体左上の充電インジケーターが青色に点灯することでご確認ください。

音楽再生（P118 ～ P121）

音楽を再生するには、ここをタッチします。



テレビ（P95 ～ P111）

ナビゲーションを使うには、ここをタッチします。

お料理（P122 ～ P125）

本機に内蔵されているお料理のレシピを見るときはここをタッチします。

システム（P126 ～ P132）

システム設定の変更をするには、ここをタッチします。設定メニューが表示されます。

microSDカードの取り扱い

注意

microSDカードを挿入してから電源を入れてください。また、microSDカードは音楽データをダウンロードするときを除いて、本機から取り外さないでください。microSDカードまたはデータの破損や不具合の原因となることがあります。

ごくまれに、正常にお使いになっていてもmicroSDカード内のデータの一部または全てが読み取れなくなってしまうことがあります。この様な場合に備えて、microSDカード内のデータはバックアップを取っておくようにお願いします。

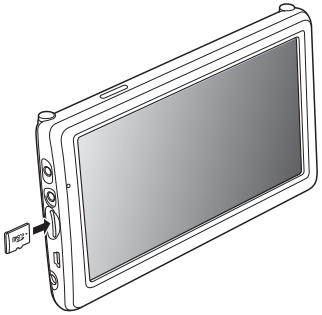
メモ

新しいmicroSDカードをお買い求めになるときは、下記推奨メーカーのものをお買いになる事をお勧めいたします。
推奨メーカー：Panasonic、東芝、SanDisk、HAGIWARA、TRANSCEND

microSDカードの取り付け

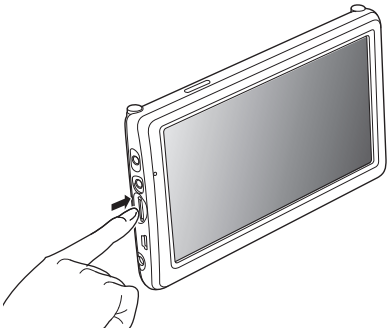
1 本機の電源が切れていること、また充電中でないことを確かめる

2 microSDカードは向きに注意しながら、しっかりと本機に挿入する



3 microSDカードが固定されるまでmicroSDカードを押す

- 無理にmicroSDカードを押し込むと、本機またはmicroSDカードを破損する恐れがあります。



注意

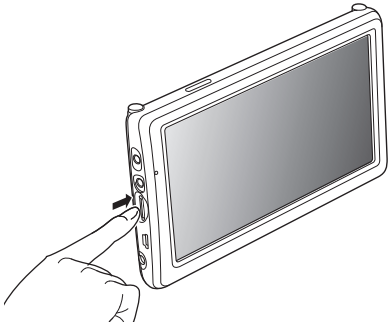
変形したり、傷ついたmicroSDカードを本機に入れないでください。

microSDカードにシールやテープなどを貼りつけないでください。

microSDカードの取り外し

1 本機の電源が切れていること、また充電中でないことを確かめる

2 microSDカードを奥までゆっくりと押し込む



- microSDカードに指を添えながら手前に戻してください。

注意

microSDカードを押し込んだあと、指をすぐに離さないでください。
強く押し込んだ状態で指を離すと、microSDカードが勢いよく飛び出す恐れがあり、破損や紛失の原因となることがあります。

3 microSDカードをゆっくり引き抜く

- microSDカードが出てきますので、microSDカードをまっすぐにゆっくりと引き抜いてください。

注意

万一、microSDカードが取り出せなくなったときは、無理に取り出そうとせずに、サポートセンターにお問い合わせください。

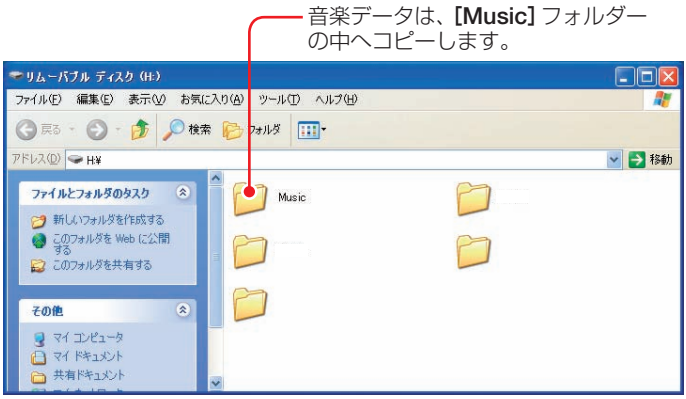
再生するデータのダウンロードについて

用意した音楽データをmicroSDカードへコピーして、本機にて再生させることができます。
microSDカードへのコピーはパソコンにて以下の方法で行ってください。

1 データを入れるために次のフォルダーを作る

- Music：音楽データ用
- データは上記名称のフォルダに入れなくても再生はできます。しかし、データを上記名称のフォルダにいれておくと、簡単にデータを探し出せます。

2 作成したデータを本機のmicroSDカードの各フォルダーの中へコピーする



再生できる音楽データ	
コーデック	MP3、WMA

注意

著作権保護されたWMAファイルには対応していません。

MP3のID3タグバージョン2には対応していません。

データにより正常に再生できない場合があります。

メモ

MP3、WMAはサンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbpsを推奨します。

音楽を聴く

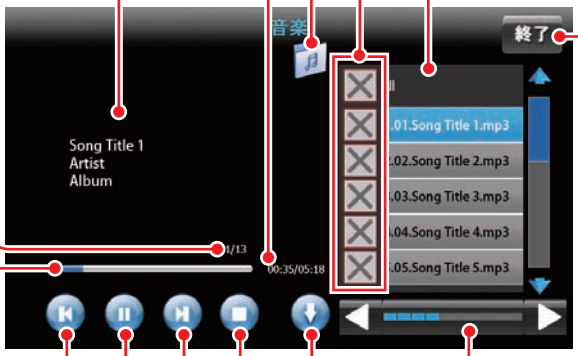
音楽ファイル選択
ここをタッチして、音楽ファイル選択画面を開いて、お聴きになりたい曲を選択します。

再生時間表示/再生総時間表示
現在再生している音楽の再生時間と再生中の曲の演奏時間を表示します。

音楽情報表示
現在再生中の曲名、アーティスト名、アルバム名を音楽ファイル名で表示します。

曲の順番表示/総曲数表示
現在再生中の曲の順番/総曲数を表示します。

プログレスバー
曲の進行状況を表示します。



削除ボタン
ここをタッチすると音楽ファイルリストから音楽ファイルを削除します。「All」をタッチすると、音楽ファイルリストから全ての音楽ファイルを削除します。

音楽ファイルリスト表示
音楽ファイルをリスト表示します。

終了ボタン
音楽を終了し、マルチメディアメニューに戻るには、ここをタッチします。

音量調整バー
ここをタッチすると、音量が調整できます。

|◀ボタン
このボタンをタッチすると、前曲に戻り再生します。

▶ または II ボタン

▶ ボタン
このボタンは、停止中または一時停止中に表示されます。このボタンをタッチすると、再生を行います。

IIボタン
このボタンは、再生中に表示されます。このボタンをタッチすると音楽の再生を一時停止します。

▶|ボタン
このボタンをタッチすると、1つ先の曲に移ります。続けて押すと、タッチするたびに、1つ先の曲に移っていきます。

■ボタン
このボタンをタッチすると、再生を停止します。

再生切換表示（P121）
このボタンをタッチすると、音楽ファイルリスト内の音楽ファイルを次のように再生します。

	順次再生： 同じ音楽ファイルリスト内の曲を1回のみ順次再生します。
	オールリピート： 全曲を繰り返し再生します。
	1曲リピート： 再生中の曲を繰り返し再生します。
	ランダム再生： 同じ音楽ファイルリスト内の曲を任意に繰り返し再生します。

再生する音楽を選ぶ

音楽を再生するため、音楽ファイルリストより再生したい音楽ファイルを選択します。

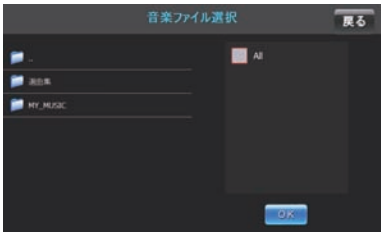
1 マルチメディアを表示させて[音楽]をタッチする

2 [MISC]をタッチする

- フォルダが多く、画面に表示されていない場合は、画面をなぞるように上下にすると、フォルダのリストも移動します。

▼

- microSDカード内にフォルダがある場合は画面左側にフォルダが表示されますので、音楽を入れたフォルダを順次選択して行きます。



3 再生したい音楽ファイルの赤枠にタッチして✔を入れる

▼

- 全ての音楽ファイルを選ぶときは、Allの赤枠をタッチして✔を入れてください。
- 音楽ファイルが多く、画面に表示されない場合は、右側のリストバーの[▲]または[▼]をタッチしてください。

4 音楽再生画面に戻るには、[OK]をタッチする

▼

- 音楽が再生されます。
  また、音楽を再生した状態で、音楽ファイルを確認できる画面（音楽ファイルリスト画面）に戻る事もできます。

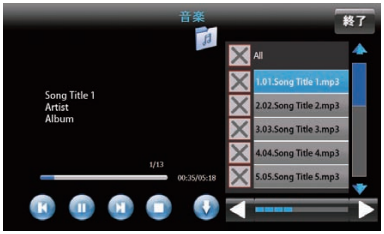
注意

本機の電源が入っているときに、microSDカードを抜き差ししないでください。本機の故障や誤動作の原因となることがあります。また、microSDカード内のデータを破損や損失する恐れがあります。

ごくまれに、正常にお使いになっていてもmicroSDカード内のデータの一部または全てが読み取れなくなってしまうことがあります。この様な場合に備えて、microSDカード内のデータはバックアップを取っておくようにお願いします。

曲の再生・停止

1 再生するには、[▶]をタッチする



- アイコンが[▶]から[❚❚]に変わります。[▶]をタッチすると、一時停止したところより再生が始まります。

2 曲を停止するには、[■]をタッチする
- 再生を停止し、曲の始めに戻ります。

3 お好み曲から再生を始めるには、再生したいファイル名を２回続けてタッチします。
- 曲の再生が始まります。

4 未選択の曲を聴きたい場合は、[♫]をタッチして音楽ファイルリストを表示し、(→P119)「再生する音楽を選ぶ」の手順 **1** をおこなう

メモ

再生可能なファイルに関しては、P117を参照してください。
※但し、ファイルにより再生できない場合があります。

ランダム再生を選ぶと、順不同で音楽ファイルを再生します。ただし、再生される曲は選択した音楽ファイルリスト内の曲です。繰り返し同じ曲を再生する場合は、再生切換ボタンをタッチし、🔁を選択にしてください。

音楽再生時に音量を調整する

1 音量を上げるには音楽調整バーのポイントより右側をタッチする

音量を下げるには音楽調整バーのポイントより左側をタッチする

メモ

ここでの音量設定は、設定メニューの音量設定にも反映されます。

曲の早送り・早戻し・選曲

1 曲の早送りをするには、プログレスバーのポイントより右側をタッチする

2 １つ先の曲に移るには、[▶❙]をタッチする
- 続けて押すと、押すたびに、１つ先の曲に移っていきます。

3 １つ前の曲に移るには、[❙◀]をタッチする

色々な再生方法

再生方法の変更

音楽再生画面内の再生方法を切り替えられます。

1 再生切り替えボタンをタッチして、再生方法を変更する

	順次再生： 同じ音楽ファイルリスト内の曲を1回のみ順次再生します。
	オールリピート： 全曲を繰り返し再生します。
	1曲リピート： 再生中の曲を繰り返し再生します。
	ランダム再生： 同じ音楽ファイルリスト内の曲を任意に繰り返し再生します。

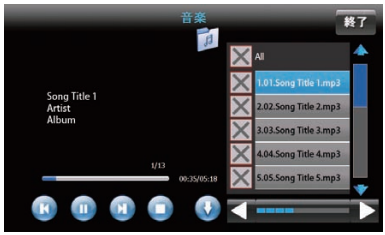
注意

音楽再生中にmicroSDカードの抜き差しを絶対にしないでください。正しく動作しなくなります。

曲の削除

音楽ファイルリストより音楽ファイルを削除することができます。

1 削除したい音楽ファイルの［X］にタッチする



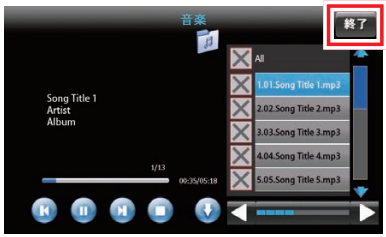
- ［×］にタッチした音楽ファイルは音楽ファイルリストから削除されます。
- 「All」の前の［×］にタッチすると音楽ファイルリストから全ての音楽ファイルが削除されます。

メモ

削除した音楽ファイルを復活させることはできません。お聞きになりたい音楽ファイルを再度音楽ファイルリストに追加するには「再生する音楽を選ぶ」を参照してください。

音楽の終了

1 ［終了］をタッチする



- マルチメディアメニューに戻ります。

メモ

作成した音楽ファイルリストは保存されません。再度、音楽を選んだ際には、音楽ファイルリストを作成してください。

お料理を表示する

ベターホームのお料理教室が監修したお料理レシピを、材料から作り方まで丁寧にガイド。約1,000件のレシピの中から、調理時間やカロリー、旬の季節を比較しながら作りたいお料理を選ぶことができます。レシピの一覧は写真付きで表示されているので、どんなお料理か一目でわかり、よく見るレシピや気になるレシピはお気に入りに登録することもできます。「今晩のおかずは何にしようかしら？」と悩んだときに強い味方になる、かんたん便利なアプリケーションです。

終了ボタン
お料理レシピ画面を終了しマルチメディア画面に戻ります。

レシピリストボタン
このボタンをタッチすると他のレシピを「すべてのレシピ」「お気に入りレシピ」「最近見たレシピ」からレシピを検索することができます。

◀ボタン
このボタンをタッチすると、1つ前のレシピに戻ります。続けてタッチすると、押すたびに、1つ前のレシピに戻っていきます。

▶ボタン
このボタンをタッチすると、1つ先のレシピに移ります。続けてタッチすると、押すたびに、1つ先のレシピに移っていきます。

表示アイコン
表示されているアイコンで調理方法と季節がわかります。

揚	揚げ物	煮	煮物	春	3～5月
焼	焼き物	蒸	蒸し物	夏	6～8月
炒	炒め物	他	その他	秋	9月～11月
				冬	12月～2月

このレシピを見るボタン
このボタンをタッチすると、料理の材料や手順が表示されます。

注意

［お料理］モードは初期化する事が出来ません。

メモ

カロリー表示は1人分になります。

レシピを表示する

1 マルチメディアメニューを表示させて［お料理］をタッチする

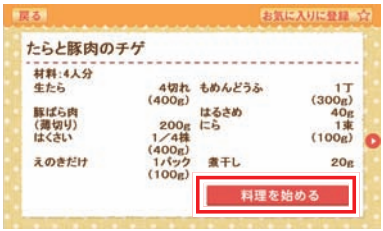
▼

- 本日のオススメレシピ画面が表示されます。

2 ［このレシピを見る］をタッチする

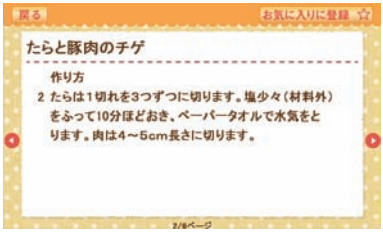
- 料理に必要な材料が表示されます。

3 ［料理を始める］をタッチする



- 作り方の手順が表示されます。

▼



- ［▶］をタッチして最後のページまで順に見ていきます。

- 最後のページで［▶］をタッチすると、メイン画面に戻るかどうかの確認画面が表示されます。

［はい］にタッチすると、本日のオススメレシピ画面が表示されます。
［いいえ］をタッチすると、直前のレシピに戻ります。

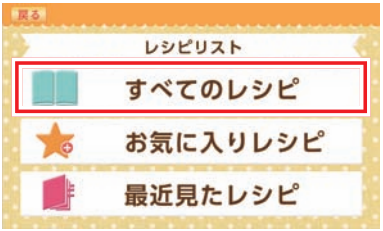
レシピを探す

レシピリストからレシピを探します。すべてのレシピから調理方法と季節にあわせたレシピを検索することができます。

1 [レシピリスト] をタッチする

- レシピリストメニューが表示されます。

2 [すべてのレシピ] をタッチする



- 検索画面が表示されます。

3 「調理方法」と「季節」をタッチする

- すべてのレシピから、調理方法と季節にあったレシピを検索し表示します。

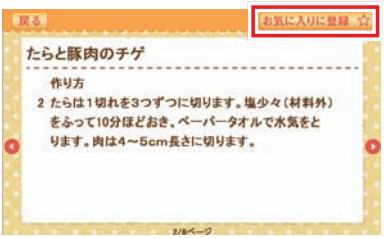
4 見たいレシピをタッチする

- 見たいレシピが表示されていない場合は、[◀] または [▶] をタッチして次のページを表示できます。

お気に入りのレシピを見る

お気に入りのレシピを登録して、そのレシピを見ることができます。

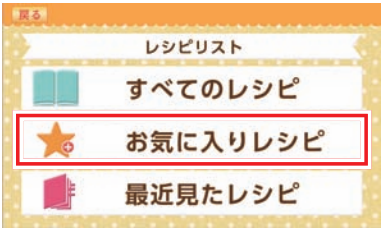
1 お気に入りとして登録するには、レシピ画面の [お気に入りに登録] をタッチする



2 お気に入りのレシピを見るには、[レシピリスト] にタッチする

- 検索画面が表示されます。

3 [お気に入りレシピ] にタッチする

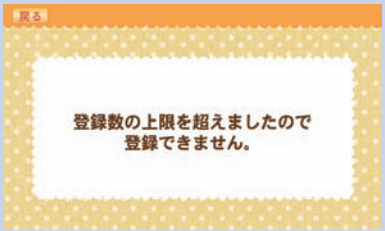


▼

- お気に入りのレシピが表示されます。
- 見たいレシピが表示されていない場合は、【◀】または【▶】をタッチして次のページを表示できます。

4 お気に入りの登録から外すには、レシピ画面の［お気に入りから外す］をタッチする

メモ



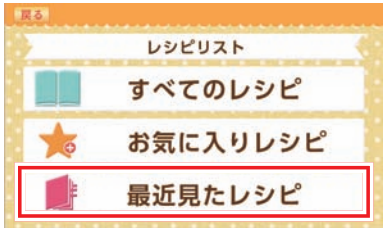
「お気に入りレシピ」として登録できるのは50件までです。これ以上は登録できませんので、追加で登録したい場合は、既に登録されているレシピの**【お気に入りから外す】**をタッチして、登録を解除してください。

最近みたレシピを見る

最近見たレシピを15件まで記憶しています。それらのレシピを見ることができます。

1 最近見たレシピを見るには、［レシピリスト］にタッチする

2 ［最近見たレシピ］にタッチする



▼

- 最近見たレシピが表示されます。
- 見たいレシピが表示されていない場合は、【◀】または【▶】をタッチして次のページを表示できます。

メモ

最近見たレシピは15件まで記憶されます。15件を超えると古い順に削除されていきます。

設定を変更する

バッテリー残量/充電表示

バッテリーの残量を表示します。

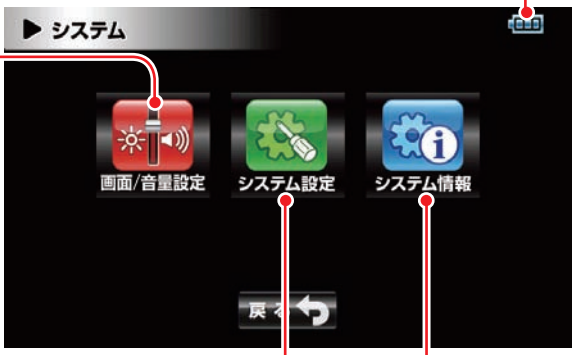
	電池の残量が不足しています。直ぐに充電を行ってください。
	充電中です。バッテリー残量表示が右から左に移動します。
	十分に充電されている状態です。

メモ

充電完了は、本体左上の充電インジケーターが青色に点灯することでご確認ください。

画面/音量設定

画面の明るさを設定または音量設定するときに、ここをタッチします。



システム設定

システムを設定するときに、ここをタッチします。設定する画面が表示されます。

システム情報

ここをタッチすると、システム情報の表示をします。

画面の明るさを変更する

画面の明るさの設定を行うことができます。

1 マルチメディアメニューを表示させて [システム] をタッチする

- システムメニューが表示されます。

2 システムメニューの [画面/音量設定] をタッチする

▼

- 画面明るさ/音量設定メニューが表示されます。

3 画面の明るさを設定するには、[明るさ調整] の [◀] または [▶] をタッチする

またはバーの上をタッチする

4 システムメニューに戻るには、[戻る] をタッチする

音量を変更する

ナビゲーションおよびシステムの音量、またタッチパネルの操作音を変更することができます。

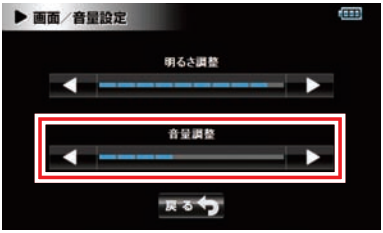
1 マルチメディアメニューを表示させて [システム] をタッチする

- システムメニューが表示されます。

2 システムメニューの [画面/音量設定] をタッチする

▼

- 画面明るさ/音量設定メニューが表示されます。



3 音量を設定するには、[音量調整] の [◀] または [▶] をタッチする

またはバーの上をタッチする

4 システムメニューに戻るには、[戻る] をタッチする

メモ

操作音の音量を調整するために、**[音量]** を変更すると、他の音量も変更されます。

タッチパネル補正

実際にタッチした箇所と違う箇所が動作するようなときに、画面の調整をするために使います。

1 マルチメディアメニューを表示させて［システム］をタッチする

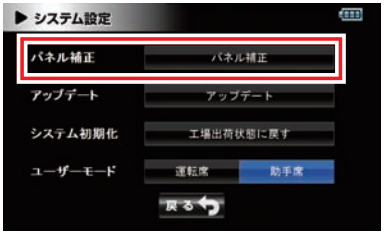
- システムメニューが表示されます。

2 システムメニューの［システム設定］をタッチする

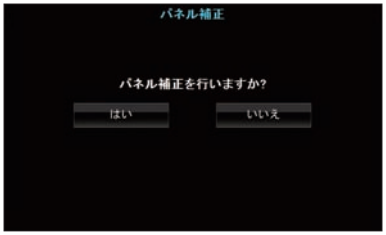
▼

- システム設定メニューが表示されます。

3 ［タッチパネル補正］をタッチする

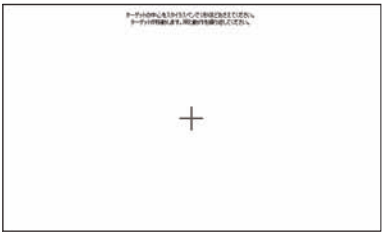


▼



▼

- タッチパネル補正の画面が表示されます。



4 画面中央のターゲット（＋）をタッチする

- ターゲットをタッチすると、ターゲットは中央→左上→左下→右下→右上の順に4隅を移動しますので、順次タッチしていってください。

5 画整が完了すると、メッセージが出ますので、タッチスクリーンのどこかをタッチすると新しい設定が登録されます

- 何もしないで30秒たつと元の設定になります。
- 設定画面に戻ります。
- 調整に失敗すると、再度ターゲットが中央に表示されますので、再度調整を行ってください。

6 システムメニューに戻るには、［戻る］をタッチする

注意

ペン先が金属製のスタイラスペンやボールペン・シャープペンシルのペン先などでタッチスクリーンに触れないでください。

メモ

調整が完了しても、実際にお使いになるときに、タッチする箇所と動作する箇所がずれる。または、何度やっても調整に失敗するような場合は弊社のサポートセンターにお問い合わせください。

ターゲットの中心部分（＋）をタッチするときには、指先または市販のスタイラスペンで行ってください。

本機のシステムをアップデートする

本機のソフトウェアは、アップデートすることができます。
※アップデートに関する情報については、弊社のホームページ上に公開されます。

トライウインホームページ
www.trywin.co.jp

1 必要なファイルが入ったmicroSDカードを本機に挿入する

2 マルチメディアメニューを表示させて[システム]をタッチする

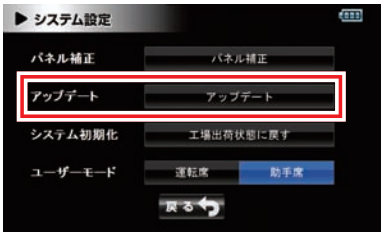
- 設定メニューが表示されます。

3 設定メニューの[システム設定]をタッチする

▼

- システム設定メニューが表示されます。

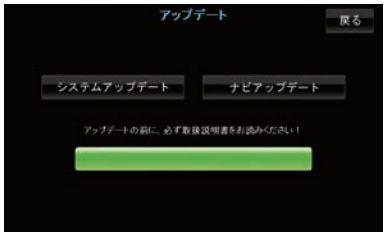
4 [アップデート]をタッチする



注意

アップデート中にエンジンを止めたり、シガー電源アダプターを抜いたり、電源を切らないでください。

5 [システムアップデート]または[ナビアップデート]をタッチする



システムアップデートの場合

- 「システム設定」と「テレビ」のアップデートをおこないます。

ナビアップデートの場合

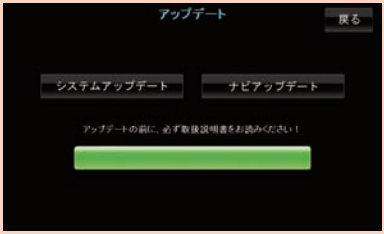
- 「ナビゲーション」と「るるぶ」のアップデートをおこないます。

※どちらもアップデート後は「システムを再起動します。」のメッセージが表示され、再起動をおこないます。

注意

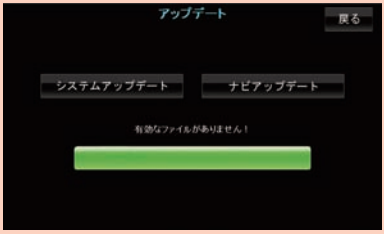
microSDカードが入っていない場合、またはmicroSDカードにアップデートのデータが入っていない場合はアップデートが出来ません。
以下のエラーメッセージが表示されます。

システムアップデートの場合



ナビアップデートの場合

画面中央にエラーメッセージが表示されます。



注意

アップデート中に電源を切らないでください。また、microSDカードは抜き出さないでください。接続されているシガー電源アダプターを抜かないでください。アップデートが正しく行われず、本機が動かなくなる場合があります。

アップデートの情報はトライウインのホームページを参照してください。
また、アップデートの方法もホームページの情報を元に行ってください。

間違った操作などでアップデートを失敗した場合、動作しなくなる事がありますので、確実に行ってください。
ご質問はサポートセンターにお問い合わせお願いします。

メモ

アップデートを行った場合、初期化を行っても一部お買い上げになったときと同じ状態にならない機能や設定があります。

本機のシステムを初期化する

画面設定や音量設定などシステムで設定した内容を初期化します。

1 マルチメディアメニューを表示させて［システム］をタッチする

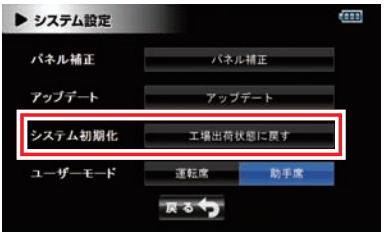
- システムメニューが表示されます。

2 システムメニューの［システム設定］をタッチする

▼

- システム設定メニューが表示されます。

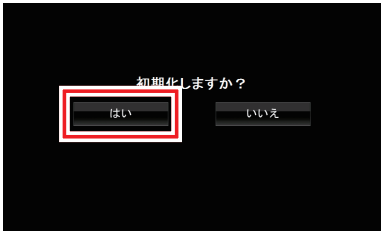
3 システム初期化の［工場出荷状態に戻す］をタッチする



▼

- ［初期化しますか？］の確認画面が表示されます。

4 [はい] をタッチする



●「はい」をタッチすると、初期化を行い、システム設定画面に戻ります。
「いいえ」をタッチすると、初期化を行わず、システム設定画面に戻ります。

注意

初期化中に電源を切らないでください。

ナビゲーションとテレビ、お料理は、初期化されません。

ナビゲーションを初期化したい場合は、（→P87）「設定を出荷状態に戻す」を参照してください。

テレビを初期化する場合は、（→P111）「テレビの設定内容を初期化する」を参照してください。

お料理を初期化する事はできません。

ユーザーモードを設定する

GPS信号を受けているときに、その信号を解析して、運転していると判断するとテレビは安全のため見る事ができません。
助手席の方など、運転手以外の方が見る場合にユーザーモードの設定で切り換えます。

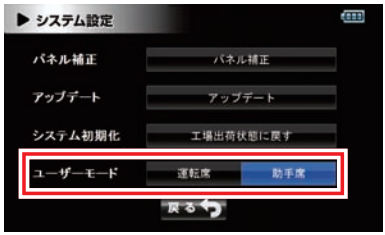
1 マルチメディアメニューを表示させて [システム] をタッチする

● システムメニューが表示されます。

2 システムメニューの [システム設定] をタッチする

▼

● システム設定メニューが表示されます。



3 ユーザーモードの [運転席] をタッチする

● 走行中にテレビを見る事ができません。

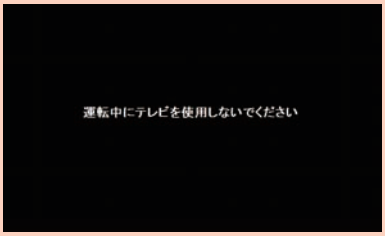
ユーザーモードの [助手席] をタッチする

● 走行中にテレビを見ることができます。

4 システムメニューに戻るには、[戻る] をタッチする

注意

運転席モードに設定した場合、本機が走行中と判断すると、テレビを見る事ができません。視聴したい場合は、安全な場所に車を停車させてください。



助手席モードに設定した場合は、走行中に助手席の方や後部座席の方がテレビの視聴をする事ができるモードになります。

本機のシステム情報を確認する

本機のシステム情報を表示してバージョン情報を確認する事ができます。

1 マルチメディアメニューを表示させて [システム] をタッチする

- システムメニューが表示されます。

2 システムメニューの [システム情報] をタッチする

▼

- バージョン情報の画面が表示されます。

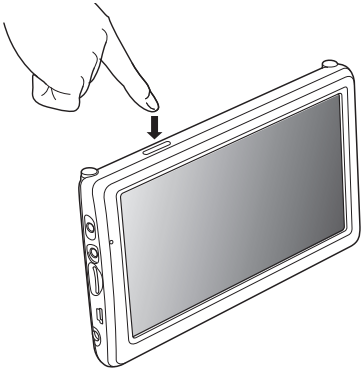
3 システムメニューに戻るには、[戻る] をタッチする

9. その他

本機の電源を強制的に切る

本機の電源を強制的に切るのは、本機が正しく動作しない場合やフリーズした場合におこないます。

1 本機の電源スイッチを電源が切れるまで押す



メモ

本機の電源を強制的に切っても問題が解決されない場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

こんなメッセージが表示されたときは

画面に以下のエラーメッセージが表示された場合は、放送を視聴できません。

メッセージ	原　因	処　置
信号が受信できません アンテナ線および設定を確認してください。	フィルムアンテナが正しく接続されていない。	フィルムアンテナの接続を確認してください。
	受信レベルが低下して放送が受信できない。	受信可能な場所に移動してください。 送信所から近くても建物の陰など受信できない場合があります。
	チャンネル設定がされていない。	チャンネル設定を行ってください。 (P100)
休止中 放送時間を確認してください。	選局しているチャンネルの放送が終了しています。	番組表などで放送時間を確認し、放送中のチャンネルへ選局するか放送が開始されるまでお待ちください。
B-CASカードが挿入されていません。 B-CASカードを正しく挿入してください。	miniB-CASカードが装着されていません。	miniB-CASカードを正しく挿入してください。
B-CASカードが使用できません。	miniB-CASカードが逆に挿入されています。	miniB-CASカード (P112) を参考に表裏、前後を確認して正しく挿入してください。
B-CASカードが使用できません。 カード裏に書かれたカスタマーセンターに連絡してください。	miniB-CASカードが故障しています。	カスタマーセンターにご連絡ください。 (株)ビーエス・コンディショナル アクセスシステムズ カスタマーセンター ☎0570-000-250

故障かなと思ったら

製品が正常に作動しない場合には、まず以下の内容をご確認ください。

症　状	処　置
電源が入りません。	バッテリーが放電している可能性があります。十分に充電し（P8）、その後電源スイッチを長押ししてください。 問題が解決されない場合には、サポートセンターへ連絡してください。☎0570-030-100
動作しません。	安全性のために、本機の温度保護回路が働き、本機が動作しなくなることがあります。本機が動作できる温度範囲（0℃～55℃）に戻してください。（P140）
電源を入れてから、ナビゲーションの確認画面が表示されるまで時間がかかります。	電源を入れると、通常のパソコンのようにOSが立ち上がります。オープニング画面表示が出ている間はOSが起動している最中です。（P7）
充電できません。	安全性のために、本機の温度保護回路が働き、充電を停止します。本機が充電できる温度範囲（0℃～45℃）に戻してください。（P140）
	シガー電源アダプターが正しく接続されていない場合があります。シガー電源アダプターの接続を確認してください。（P7）
パソコンと接続出来ますか？	サービス用端子からパソコンに繋いでご利用する事は出来ません。不具合の原因になりますので、接続しないでください。
充電後本機が暖かくなります。	充電後本機は暖かくなりますが、不具合ではありません。
画面がフリーズした（動かなくなった）。	本機の電源が切れるまで、本機の電源スイッチを押し続けてください。（P133） 問題が解決されない場合には、サポートセンターへ連絡してください。☎0570-030-100
タッチスクリーンの反応が悪いです。	市販の保護シートは貼らないでください。タッチスクリーンが正しく動作しないことがあります。
タッチした箇所と違う箇所が動作します。	パネル補正をおこなってください。（P128）
ルート誘導が始まりません。	ルート誘導を始めるには、GPS信号の受信状態が1本以上感知されている状態でなければなりません。GPS情報画面をご確認ください。特に周りに高いビルや木などがあり、GPS衛星からの信号が妨害されていることがあります。（P88～P90）

症　状	処　置
ナビゲーションで現在地が正しく表示されません。	GPS衛星からの信号（GPS信号）が正しく受信できていない場合があります。GPS信号を受信できる場所に移動してみてください。また、GPS信号を正しく受けるまでに、少し時間がかかる場合があります。（P18） GPS衛星からの信号は屋内では受信できません。 かならず屋外の見晴らしのよい場所で受信させてください。
	タッチスクリーンに触れて地図画面がずれておりませんか？ 位置がずれた場合は **[現在地]** をタッチしてください。
音が出ません。	音量が最小になっている場合があります。音量調整を確認してください。 ナビゲーションの場合（P127） テレビの場合（P102） 音楽の場合（P120） システム音量の場合（P127）
	イヤフォン接続端子にイヤフォンまたはヘッドフォンが接続されていませんか。イヤフォン等が接続されていると本機のスピーカーから音は出ません。（P12）
音楽が再生ができません。	再生できる条件に合っていないことがあります。条件に合ったデータを入れてください。（P117）
操作音が聞こえません。	音量が最小になっていませんか？ 音量を上げてください。（P127）
地デジ、ワンセグ放送が受信できません。	移動したために受信環境が変化したと推測されます。 ①放送局の再スキャンを実施してみてください。 ②良好に受信できそうな、見通しの良い場所に移動してみてください。
テレビの画像が停止することがあります。	電波状態が悪くなると、画像が停止します。電波状態の良い場所に移動してください。
映像がギザギザに表示されます。	デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。
ワンセグしか受信できません。	miniB-CASカードが正しく挿入されていますか？（P112）
データ放送が受信できない。	本機ではデータ放送を受信できません。
お料理を初期化する事ができません。	仕様になります。 初期化する機能はございません。
工場出荷（初期化）状態に戻したい。	ナビゲーションの場合（P87） テレビの場合（P111） システム※の場合（P130） ※テレビの設定も初期化されます。

サポートセンターへのお問い合わせ方法

ご使用の製品とご使用環境に関する「サポートに必要な情報」が必要となります。全ての情報をご用意いただいた上でお問い合わせいただきますと、より早い対応が可能となります。

サポートに必要な情報

- ご使用の製品名「DTN-6700」
- 本体裏面シールに記載されているシリアル番号（S/N）
- 再生したデータ形式（MP3、WMAなど）
- データを作成する際に使用したソフトウェアの名称
- 具体的なお問い合わせの内容
  行なった操作、手順、発生した不具合の状況について詳細にお知らせください。また、エラーメッセージなどが表示されている場合は、メモをとってお知らせください。

お問い合わせ先：トライウインサポートセンター

電話：
0570-030-100

電子メール：
support@trywin.co.jp

受付時間：
月曜日～金曜日（祝日および弊社の休日を除く）
午前10:00 ～午後6:00

ホームページアドレス：
http://www.trywin.co.jp/

無償修理規定

取扱説明書（本書）、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には無償修理をさせていただきます。原則的に持込修理となります。

無償修理をご依頼になる場合には、商品に本書を添えていただき、お買い上げの販売店または、トライウイン・サポートセンターまでお申し付けください。

保証期間内でも次の場合には原則として有償とさせていただきます。

（イ）使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の取り扱いの不備、落下などによる故障、および損傷。
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変および公害、塩害、ガス害、異常電圧、指定以外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
（ニ）保証書のご添付がない場合。
（ホ）保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句などを書き替えられた場合。
（ヘ）船舶または業務用に使用された場合の故障および損傷。
（ト）持込修理の対象商品を直接窓口へ送付した場合の送料などは、お客様のご負担となります。

保証書は国内においてのみ有効です。
（The warranty is valid only in Japan.）
保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無償修理対応および、その後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、トライウイン・サポートセンターまでお問い合わせください。

使用許諾契約書

重要 — 以下の使用許諾契約書を注意してお読みください。

本使用許諾契約書（以下、「本契約書」といいます。）は、ポータブルナビゲーションDTN-6700（以下、「本製品」といいます。）用のアプリケーションソフトウェア、地図データ、検索情報データその他コンテンツ情報データ等（以下、「本ソフト」といいます）の使用権をお買い上げいただいたお客様（以下、「お客様」といいます。）とインクリメントP株式会社（以下、「弊社」といいます。）との間に締結される法的な契約書です。本ソフトをインストールまたは使用することによって、お客様は本契約書の条項に拘束されることに同意されたものとします。本契約書の条項に同意されない場合、弊社は、お客様に本ソフトのインストールまたは使用のいずれも許諾できません。

1. 本ソフトの使用許諾

(1) 本ソフトは、著作権法をはじめ、その他の産業財産権に関する法律および条約によって保護されています。本ソフトの著作権その他産業財産権は、弊社または弊社に権利を許諾した第三者に帰属します。
(2) 弊社は、お客様が、本ソフトを一時点において1台の本製品でのみ使用することができる非独占的な権利をお客様に許諾します。

2. 制限事項

(1) お客様は、本契約書に明記されている場合を除き、本ソフトの一部または全部をインストール、複製、使用または改変等することはできません。
(2) お客様は、本ソフトの一部でも複製、抽出、転記、改変、公衆送信することまたは同時に2台以上の本製品で同時に使用することはできません。
(3) お客様は、有償・無償を問わず、本ソフトの一部または全部を第三者に譲渡、再使用許諾、貸与等することはできません。
(4) お客様は、本ソフトに関し、本契約書において許諾された以外の使用をすることはできません。
(5) お客様は、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルその他これらに準ずる行為を行うことはできません。

3. 保証

法律上の請求原因の種類を問わず、弊社は、本契約書または本ソフトに含まれるマニュアル等の文書に明記されている場合を除き、本ソフトを現状有姿のまま瑕疵を問わない条件で提供するものとします。本ソフトの正確性、完全性、有用性、特定の目的に対する適合性、応答の的確性、使用結果、権利侵害の不存在および過失の不存在について、明示または黙示、あるいは法律上のものであることを問わず、一切保証できません。

4. 免責

弊社は、本ソフトの使用もしくは使用不能により、お客様または第三者に生じた特別損害、付随的損害、間接損害、派生的損害またはその他の一切の損害（逸失利益、機密情報もしくはその他の情報の喪失、事業の中断、プライバシーの喪失、誠実または合理的な注意義務を含めた義務の不履行、人身傷害またはその他の金銭的損失を含みますがこれらに限定されません。）に関して一切責任を負いません。

5. 責任の制限

本ソフトに関する弊社のお客様に対する損害賠償責任の範囲は、本ソフトの使用もしくは使用不能により、お客様に直接かつ生ずべき損害（弊社が予見しまたは予見できた場合を含みます。）に限られるものとし、その賠償額は、本ソフトと同等の機能を有する弊社製品の標準的価格を限度とします。

6. 輸出規制

お客様は、すべての輸出入関連適用法令（関連する禁輸措置および制裁措置を含みます）を遵守することに同意されたものとします。

7. 契約の終了

(1) お客様が本契約中のいずれかの条項の一つに違反した場合、弊社からの通知を要することなく、自動的に本契約は終了します。
(2) 本契約が終了した場合には、お客様は、自己が保存した本ソフト（本契約に違反して作成された複製物等を含みます。）の全てを消去するものとします。
(3) お客様は、理由の如何を問わず、本契約の終了について、弊社および弊社が使用許諾を受けている権利者に対して補償金その他如何なる目的での支払いも請求できないものとします。

8. 管轄裁判所

お客様と弊社との間で紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

9. 準拠法

本契約は、日本国法に準拠するものとします。

10. 協議

本契約書に定めのない事項または本契約書の各条項の解釈について疑議が生じた場合は、お客様および弊社は、信義に従い誠意をもって協議し解決するものとします。

以上

仕様

寸法	(W) 158×(H) 96×(D) 20(突起物を含まず)
質量(重量)	約280 g
モニターサイズ	6V型WVGA(800×480)
操作方法	タッチパネル
メモリーカード	microSDカード(最大32GB)
電源	1150mAhリチウムポリマー充電池
CPU	Telechips　TCC8901
GPSモジュール	U-BLOX6
Operating System	Windows® CE 6.0
動作温度保証範囲	0℃～+55℃
充電動作範囲	0℃～+45℃

収録地図ソフトの情報

地図会社	インクリメントP株式会社
地図年度(※1)	2012年度版 (全国デジタル道路地図：2011年3月) (交通規制データ：2011年9月)
住所検索	2011年9月
電話番号検索(※2)	2011年9月
るるぶDATA	2010年10月
オービス情報(※3)	2011年12月　OPTION SSR委員会監修データ

※1、3　対象によっては収録年月が前後し反映していない事があります。
※2　個人情報保護の観点から個人様の電話番号データは収録しておりません。

新東名高速道路の施設、道路データについて

(2011年9月の調査時点でのデータになります)
■一部収録されているデータ
- IC、JCT、SA、PAのレーン表示。
- SA、PA施設案内表示。

■未収録のデータ
- IC、JCTイラストデータ。
- ETCレーンガイド等の案内。
- 高速道方面情報。

動作時間

モード	動作時間
ナビゲーション	約1時間
テレビ	約30分間
音楽再生	約1時間

※ご使用になる環境により、動作時間は異なる事があります。
※明るさ設定が6目盛り、音量設定が4目盛りの時

充電時間

電源	充電時間	備　考
シガー電源アダプター	約3時間	電源OFF状態

※ご使用になる環境により、充電時間は異なる事があります。

メモ

電池は累積の使用時間により少しずつ消耗（劣化）していきます。
そのため、動作時間が短くなったり、充電時間が長くなることがあります。

MEMO

Trywin

Printed in China

DTN6700-001-A